資料3

第4回

（兼　第3期デジタル田園都市構想総合戦略）

王寺町総合計画後期基本計画効果検証のための

成果指標進捗状況

（数値目標・KPI）

令和8年8月

王　寺　町

目次

１．王寺町総合計画後期基本計画
（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）について・・・・・・・・・・・１

２．王寺町総合計画後期基本計画
（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）におけるＰＤＣＡサイクル・・１

３．評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

４．王寺町総合計画後期基本計画
（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）の体系と
重要業績評価指標（ＫＰＩ）数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

５．数値目標の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

６．重要業績評価指標（ＫＰＩ）の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

７．成果指標（数値目標・ＫＰＩ）の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

◎成果指標（数値目標・ＫＰＩ）

１　住民に開かれ自立するまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

２　快適で暮らしやすいまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

３　安全で安心に暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

４　健やかに暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

５　人を育みみんなが学べるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

６　活力とにぎわいのあるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・６５

１．王寺町総合計画後期基本計画
（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）について

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）では、王寺町人口ビジョンにおける人口の将来見込みを達成するために必要な６つの基本目標を設定しています。基本目標それぞれに**数値目標**を設定し、基本目標を達成するため基本的方向及び具体的施策を定め、具体的施策には**重要業績評価指標（ＫＰＩ）**を定めています。

王寺町人口ビジョン
人口の将来見込み
令和 42（2060）年　20,257 人

王寺町総合計画後期基本計画
（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）

基本目標

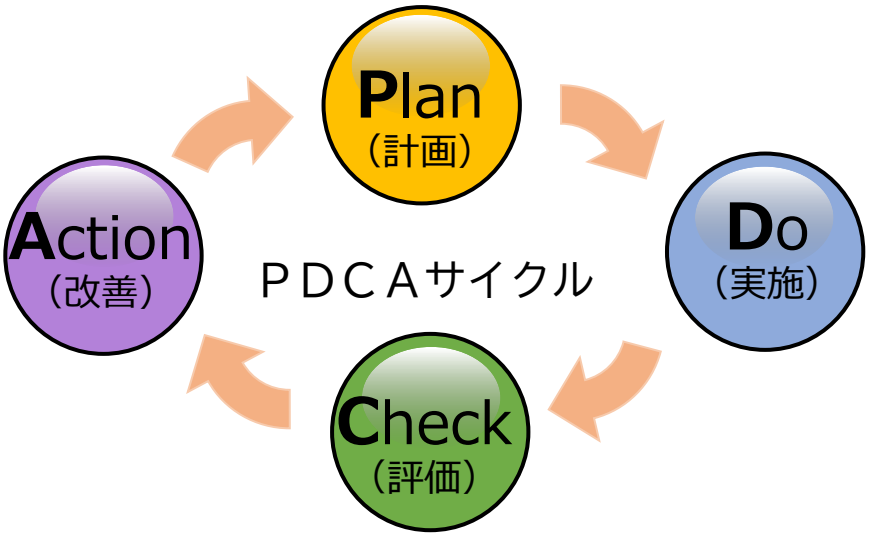
1	住民に開かれ自立するまちづくり	2	快適で暮らしやすいまちづくり
3	安全で安心に暮らせるまちづくり	4	健やかに暮らせるまちづくり
5	人を育みみんなが学べるまちづくり	6	活力とにぎわいのあるまちづくり

基本目標ごとに**数値目標**を設定

基本目標達成のための具体的施策とその効果を検証するため、ＫＰＩを設定

２．ＰＤＣＡサイクル

王寺町総合計画後期基本計画（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）に位置づける施策（取組）を実効性のあるものとするため、毎年度、施策の効果検証を行います。

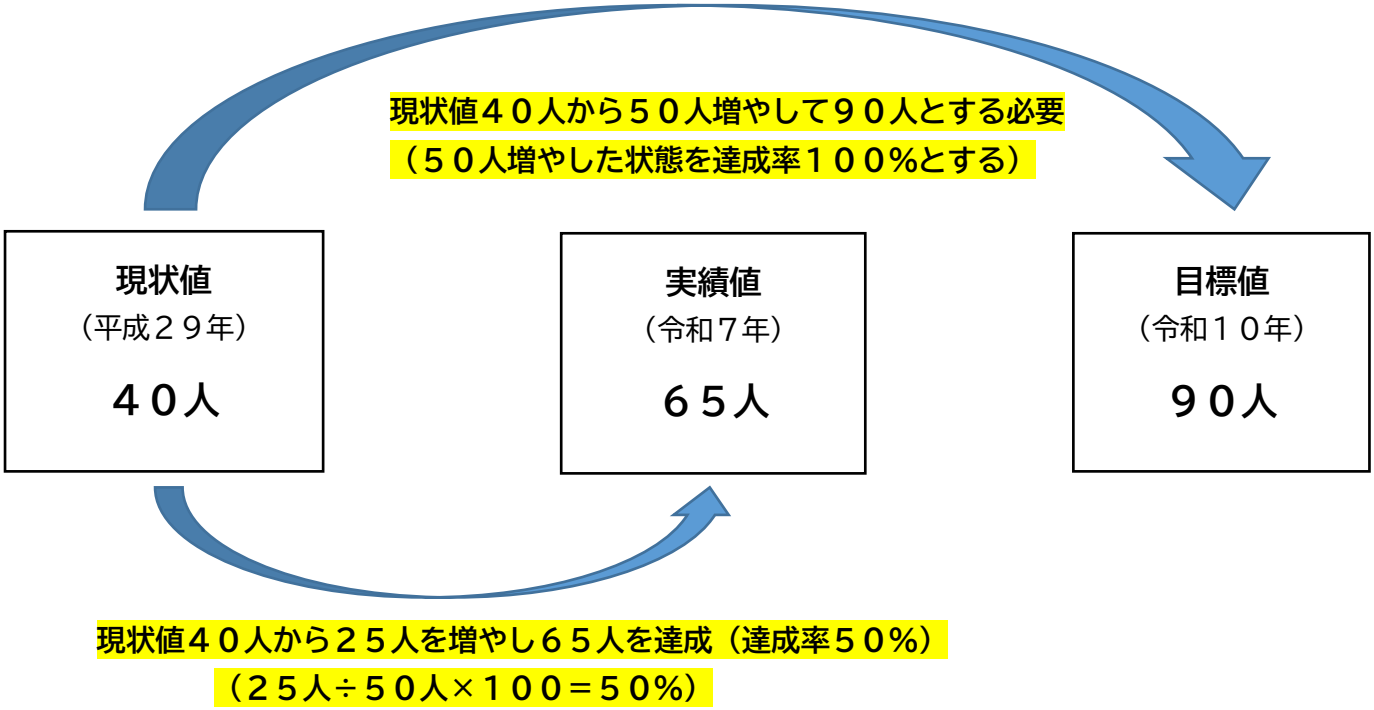


Ｐ（Plan:計画）	総合戦略の策定
Ｄ（Do:実施）	施策（取組）の着実な実施
Ｃ（Check:評価）	実施した施策（取組）の効果をＫＰＩ等により検証
Ａ（Action:改善）	必要に応じた総合戦略の改定

３．評価について

（１）数値目標・重要業績評価指標（ＫＰＩ）達成率の考え方

例:平成29年の現状値が40人、令和10年の目標値が90人(50人増加させる必要)というKPIにおいて、効果検証の対象である令和7年の実績値が65人(実績が25人の増加)であった場合、達成率は50%と表します。



（２）評価の視点について

「具体的施策」ごとに区切ってＫＰＩの達成率の状況を説明させていただきますので下記の視点でＡＢＣＤの４段階評価をお願いします。

評価につきましては、コメントとともに「王寺町総合計画後期基本計画（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）効果検証の評価・意見」シートにご記入をお願いします。

〇評価の視点　施策が目標の達成に寄与したか。
長期的な効果が見込めるか。
事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。

〇評　　価　Ａ：高い効果が得られた。
Ｂ：一定の効果が得られた。
Ｃ：やや不十分な効果にとどまった。
Ｄ：効果は不十分もしくは見られなかった。

４．王寺町総合計画後期基本計画（兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略）の体系と重要業績評価指標（ＫＰＩ）数

基本目標【６項目】	基本的方向【１９項目】	具体的施策【３８項目】	ＫＰＩ数【８５個】※()内は補助指標
１　住民に開かれ自立するまちづくり	１　協働の仕組みの構築	１　参画・協働	１(１)
		２　広報広聴・情報公開	３
	２　お互いを尊重するまちづくり	３　人権	２(１)
		４　男女共同参画	２(３)
	３　健全で効率的な行財政運営	５　行政サービスの提供	３
		６　行政経営	２(１)
		７　広域連携	１
２　快適で暮らしやすいまちづくり	４　都市基盤の充実	８　土地利用	２
		９　住宅環境	２
		１０　上下水道	２
	５　交通ネットワークの整備	１１　道路	２(１)
		１２　公共交通	２(１)
	６　環境への配慮	１３　環境保全	２
		１４　循環型社会	２
	７　水と緑の保全と創出	１５　都市景観	２(１)
３　安全で安心に暮らせるまちづくり	８　地域防災の充実	１６　防災体制	１
		１７　避難行動支援	１
		１８　消防・救急体制	２
	９　日常生活の安全確保	１９　防犯・交通安全	２
４　健やかに暮らせるまちづくり	１０　高齢者支援の充実	２０　高齢者福祉	２
		２１　介護保険	２
	１１　障がい者支援の充実	２２　障がい者福祉	３
	１２　健康づくりの推進	２３　健康づくり	７(２)
	１３　地域で支え合うまちづくり	２４　地域福祉	２(１)
		２５　国民健康保険	２
５　人を育みみんなが学べるまちづくり	１４　子ども・子育て支援の充実	２６　子育て支援	３(１)
		２７　母子保健	３
		２８　保育環境	２(１)
	１５　学校教育の充実	２９　就学前教育	２
		３０　学校教育	６(１)
	１６　生涯学習の充実	３１　生涯学習	２
		３２　青少年健全育成	３
	１７　歴史文化・スポーツ活動の振興	３３　文化財	２
		３４　文化・芸術活動	２
		３５　スポーツ・レクリエーション	２
６　活力とにぎわいのあるまちづくり	１８　活力の創出	３６　産業・雇用	２(２)
		３７　定住促進	１(２)
	１９　交流の促進	３８　観光・交流	２

5．数値目標の状況

基本目標	数値目標名	達成状況		進捗率
		達成	未達成	
1　住民に開かれ自立するまちづくり（P7）	(1)月に一回以上地域活動に参加する人の割合		○	−80.2%
	(1)補助指標　自治会加入率		○	93.6%
2　快適で暮らしやすいまちづくり（P19）	(1)人口の社会増[累計]		○	−822.2%
3　安全で安心に暮らせるまちづくり（P31）	(1)防災訓練を実施している自主防災組織の数		○	6.5%
	(2)防災士資格者数	○		144.7%
4　健やかに暮らせるまちづくり（P36）	(1)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位〔男性〕		○	−
	(2)健康寿命(65歳の平均自立期間)の県内市町村における順位〔女性〕		○	−
5　人を育みみんなが学べるまちづくり(P49)	(1)合計特殊出生率		○	−133.3%
6　活力とにぎわいのあるまちづくり（P66～P67）	(1)王寺町内での新規起業件数(累計)		○	84.4%
	(2)人口の社会増[累計]【再掲】			−822.2%
	(3)町の観光入込客数		○	74.9%
	(4)王寺町周辺宿泊者数		○	91.2%
合　計		1	10	達成項目割合 9.1%

6．重要業績評価指標（KPI）の状況

基本目標	達成状況				達成項目割合
	達成	未達成	その他	計	
1　住民に開かれ自立するまちづくり　（P8～P17）	**5**	15	0	20	**25.0%**
2　快適で暮らしやすいまちづくり　（P20～P29）	**3**	14	1	18	**16.7%**
3　安全で安心に暮らせるまちづくり　（P32～P34）	**0**	6	0	6	**0.0%**
4　健やかに暮らせるまちづくり　（P37～P47）	**5**	16	0	21	**23.8%**
5　人を育みみんなが学べるまちづくり（P50～P64）	**4**	26	0	30	**13.3%**
6　活力とにぎわいのあるまちづくり　（P67～P72）	**1**	8	0	9	**11.1%**
合　計	**18**	85	1	104	**17.3%**

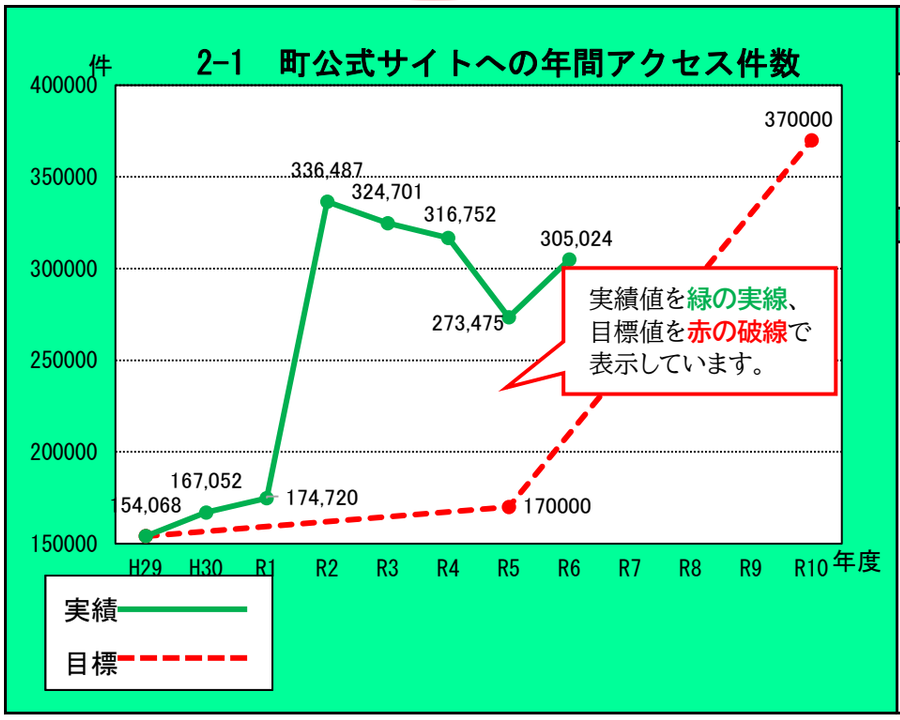
7. 成果指標(数値目標・KPI)の見方

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第３期デジタル田園都市構想総合戦略)各施策の「成果指標(数値目標・KPI)」、担当部署・指標管理責任者（担当者）、「成果指標」達成に向けた進捗状況を記載しています。

各成果指標の置かれている「基本目標」「基本的方向」「具体的施策」を記載しています。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

各成果指標について、基準値、実績値、目標値、基準値と実績値の差、目標値に対する実績値の進捗率(傾向)、計画期間の経過年数を記載しています。目標を達成した項目については、実績値を橙色に塗りつぶしています。



実績値を緑の実線、目標値を赤の破線で表示しています。

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
154, 068		305, 024	69. 9%	370, 000
H29年度(2017)	15 6	R6年度(2024)	6/10 年目	R10年度(2028)

基準値と実績値の増減を矢印で表しています。実績値が基準値より良くなっているものは「赤色」、悪くなっているものは「青色」で記しています。

進捗状況

閲覧者 リーのデ サ ついて サイトの掲載情報の充実を図るとともに、情報整理を継続的に行うことで、住民が必要な情報を町公式サイトから簡単に取得できる環境を確立する。
　また、町制施行100周年の特設ページや子育て関連記事など、魅力ある情報を充実させ、住民だけでなく町外からも注目されるサイトを目指す。

「成果指標(数値目標・KPI)」達成に向けて、現在の進捗状況を、成果(取り組んだこと)や指標の動き(グラフ)との関連性を分析し、記載しています。

（注）進捗率の計算方法について
　進捗率＝（実績値－基準値）／（目標値－基準値）

※数値が低い方が良くなる指標の場合
　進捗率＝（基準値－実績値）／（基準値－目標値）

１　住民に開かれ自立するまちづくり

数値目標

１(1)　月に一回以上地域活動に参加する人の割合

１(1)補助指標　自治会加入率

ＫＰＩ

具体的施策１　参画・協働

1-1　協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合

1-1 補助指標　まちづくり協議会設立数[累計]

具体的施策２　広報広聴・情報公開

2-1　町公式サイトへの年間アクセス件数

2-2　町公式ＳＮＳのフォロワー数[累計]

2-3　行政の透明性に関する満足度

具体的施策３　人権

3-1　人権学習懇談会の参加者数[3 か年計]

3-2　人権啓発・人権教育に関する重要度

3-2 補助指標　差別をなくす町民集会参加人数

具体的施策４　男女共同参画

4-1 25～44 歳女性の就業率

4-1 補助指標①　女性デジタル人材育成講座受講者数[累計]

4-1 補助指標②　女性デジタル人材育成講座による就業・起業者数[累計]

4-1 補助指標③　「まっち☆ジョブ王寺」女性の就業件数[累計]

4-2　町が設置する審議会等における女性委員の割合

具体的施策５　行政サービスの提供

5-1　電子申請利用率

5-2　電子申請が可能な行政サービス数

5-3　デジタルデバイド対策事業参加者数[累計]

具体的施策６　行政経営

6-1　行財政運営に関する満足度

6-1 補助指標　将来負担比率

6-2　経常収支比率

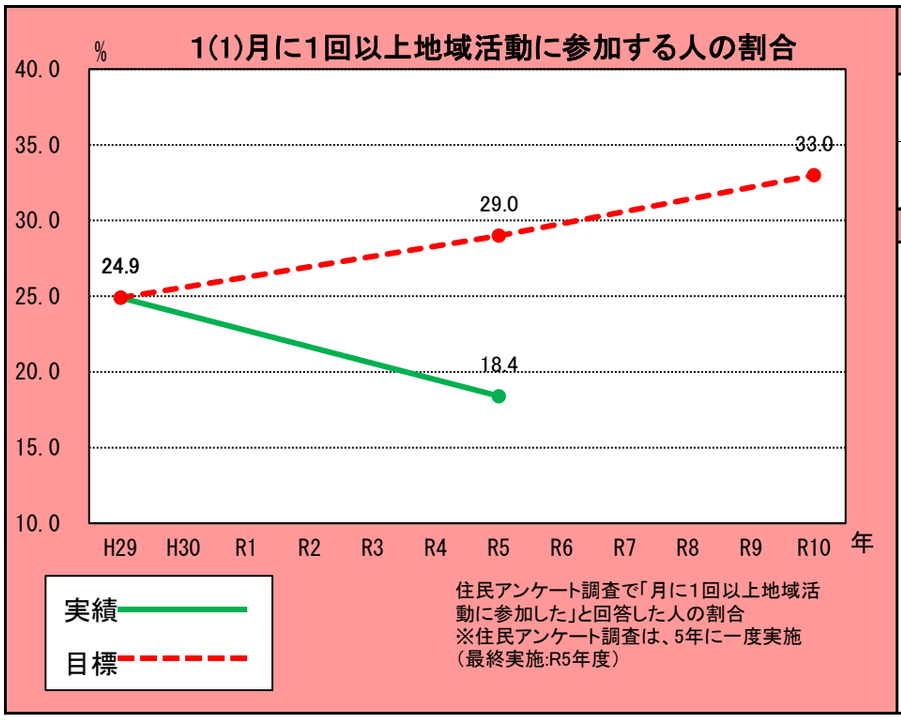
具体的施策７　広域連携

7-1　市町村間の広域連携によって進めた事業数[累計]

数値目標

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
	協働による仕組みづくりや効率的な行政運営により、行政サービスの充実を図る

担当部署・指標管理責任者
総務部 部長　南　昌邦



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
24.9	↘	18.4	-80.2%	33.0
H29年（2017）	-6.5 %	R5年（2023）	5/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

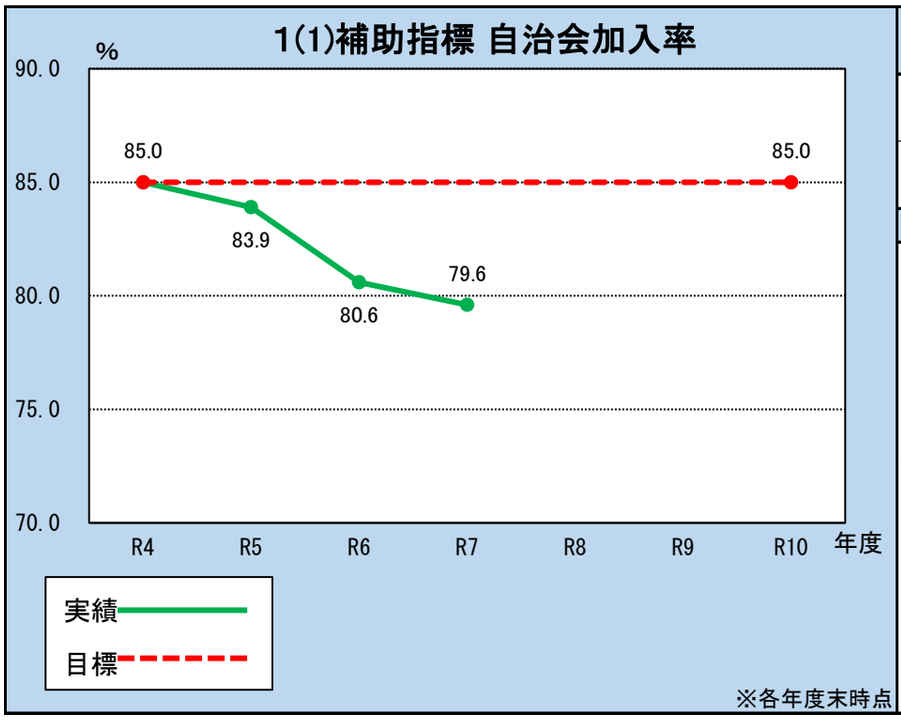
R3年4月に、町民・議会・行政が協働して豊かで暮らしやすい地域社会の実現を図るため、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「王寺町まちづくり基本条例」を施行。

一時期はコロナ禍により地域活動が減少したものの、R4年4月開校の義務教育学校の通学路では、多くの町民の皆様に「見守りボランティア」に参加していただいている。

現在、自治会・住民活動団体・事業者等の多様な主体で構成する地域の課題解決を図るための組織「まちづくり協議会」の設立に向けて、本町エリア及び南義務教育学校区エリアにおいて設立準備会を立ち上げられており、行政も準備会の会議等に参加しながら、設立に向けた支援を行っていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
	協働による仕組みづくりや効率的な行政運営により、行政サービスの充実を図る

担当部署・指標管理責任者
総務部 部長　南　昌邦



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
85.0	↘	79.6	93.6%	85.0
R4年度（2022）	-5.4 %	R7年度（2025）	2/5 年目	R10年（2028）

進捗状況

高齢化や転入者の非加入等によって、自治会加入率は減少傾向にあり、その傾向に歯止めをかけるため、R6年度から、広報紙に自治会活動を紹介する記事を掲載するほか、自治連合会作成の加入促進チラシを、転入者に配布及び町ＨＰに掲載する啓発を行っている。

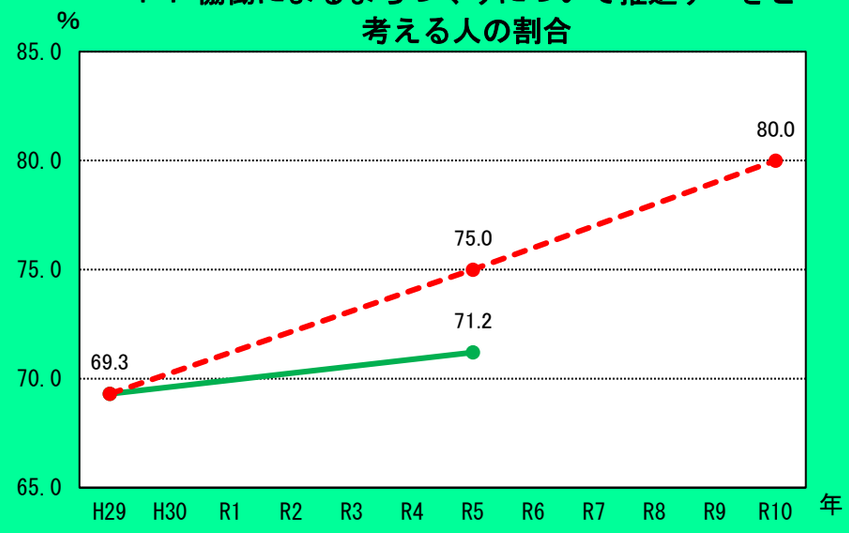
また、自治会・住民活動団体・事業者等の多様な主体で構成する地域の課題解決を図るための組織「まちづくり協議会」の設立に向けた準備会の活動及び設立後にあってはその活動を通じて、自治会未加入の方に対する自治会活動の重要性の再認識につなげていく。

※自治会加入率＝自治会加入世帯数／全世帯数
　人口減少傾向にあっても、核家族化によって世帯数は増え続けており、このことも自治会加入率が減少する一要因となっている。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1)協働の仕組みの構築
具体的施策	(1)参画・協働

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

1-1 協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合



実績
目標

住民アンケート調査で「協働によるまちづくり」について「推進すべき」、「ある程度推進すべき」と回答した人の割合
※住民アンケート調査は、5年に一度実施（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
69.3	↗	71.2	17.8%	80.0
H29年度（2017）	1.9 %	R5年度（2023）	5/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

R3年4月に、町民・議会・行政が協働して豊かで暮らしやすい地域社会の実現を図るため、まちづくりに関する基本的な事項を定めた「王寺町まちづくり基本条例」を施行。その施行後から、自治会・住民活動団体・事業者等の多様な主体で構成する地域の課題解決を図るための組織「まちづくり協議会」の設立に向け、町民ワークショップを開催。

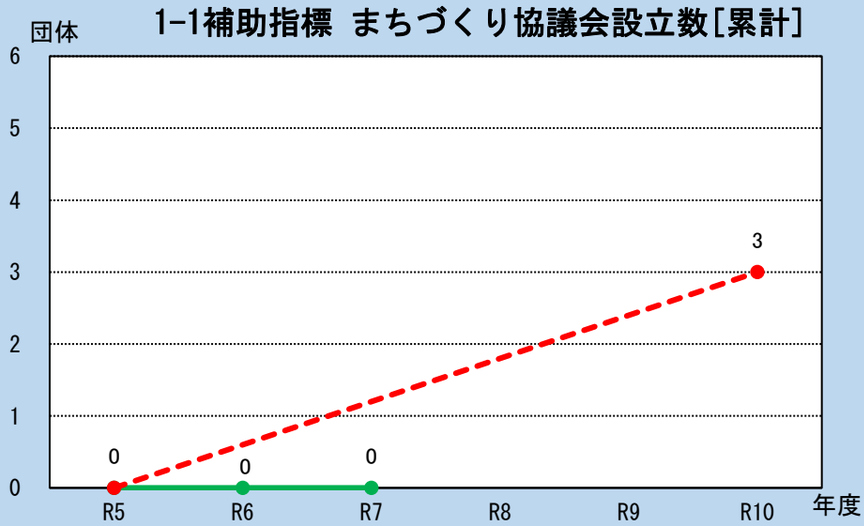
R7年6月には本町エリアで、R8年2月には南義務教育学校区エリアでまちづくり協議会設立準備会が発足され、現在その活動を支援しているところ。

R8年3月には「王寺町まちづくり協議会指定等に関する条例」を制定。町が指定するまちづくり協議会の条件整備を行っている。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1)協働の仕組みの構築
具体的施策	(1)参画・協働

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

1-1補助指標　まちづくり協議会設立数[累計]



実績
目標

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
0	→	0	0.0%	3
R5年度（2023）	0 団体	R7年度（2025）	2/5 年目	R10年度（2028）

進捗状況

R3年4月の「王寺町まちづくり基本条例」施行後、「まちづくり協議会」の設立に向けた町民ワークショップを開催。

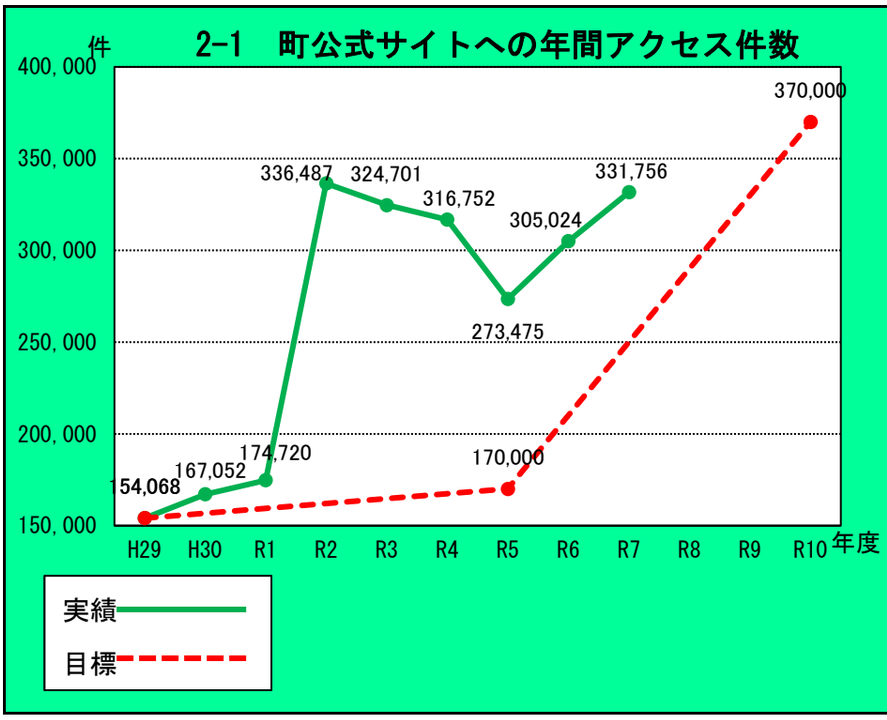
R6年度から自治会長と各種住民活動団体との意見交換会等開催の支援を行い、R7年6月には本町エリアにおいて、またR8年2月には南義務教育学校区エリアにおいて、それぞれまちづくり協議会設立準備会が発足された。

R8年3月には「王寺町まちづくり協議会指定等に関する条例」を制定し、町が指定するまちづくり協議会の条件整備を行っており、町指定のまちづくり協議会が地方自治法に規定される「指定地域共同活動団体」に該当するような内容としている。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1)協働の仕組みの構築
具体的施策	(2)広報広聴・情報公開

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

2-1　町公式サイトへの年間アクセス件数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
154,068	↗	331,756	82.3%	370,000
H29年度(2017)	177,688件	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

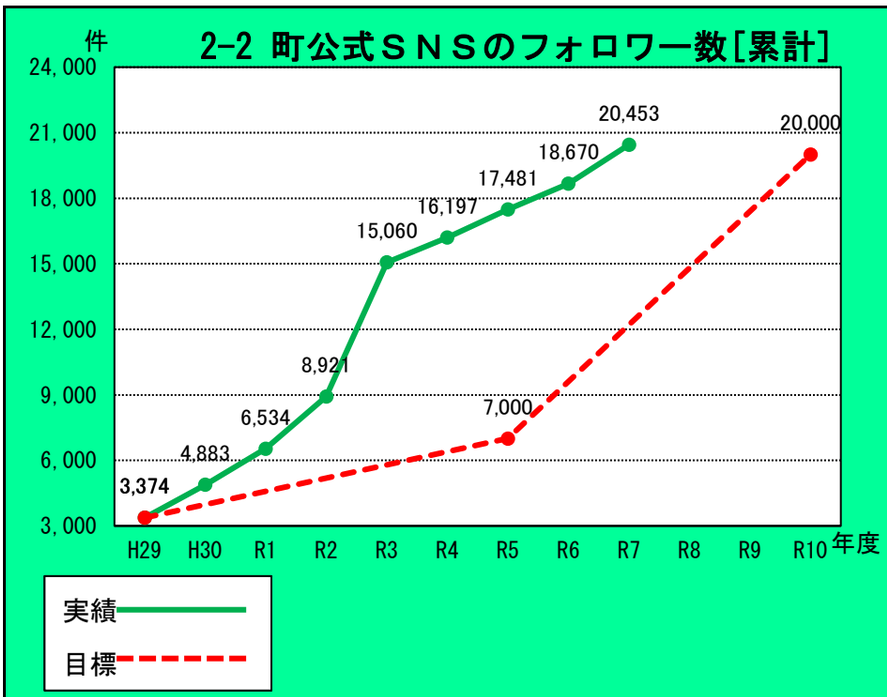
進捗状況

R2年度にはコロナ禍によりアクセス数が急増した後は、R5年度まで減少傾向にあった。
R6年度から広報紙やSNSとを連動させた情報発信に取り組んでおり、紙面に限りのある広報紙と詳細な情報を掲載できるホームページのそれぞれの特性を活かした情報提供を行ったことで、アクセス数が上昇傾向に転じている。
R7年度には町制施行100周年記念サイトや子育て特設ページをつくるなど、情報の充実に努めている。
また、ホームページについては、さらに見やすくしてWebアクセシビリティをクリアできるようなリニューアルを行う予定である。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1)協働の仕組みの構築
具体的施策	(2)広報広聴・情報公開

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

2-2 町公式ＳＮＳのフォロワー数[累計]



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
3,374	↗	**20,453**	102.7%	20,000
H29年度(2017)	17,079件	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

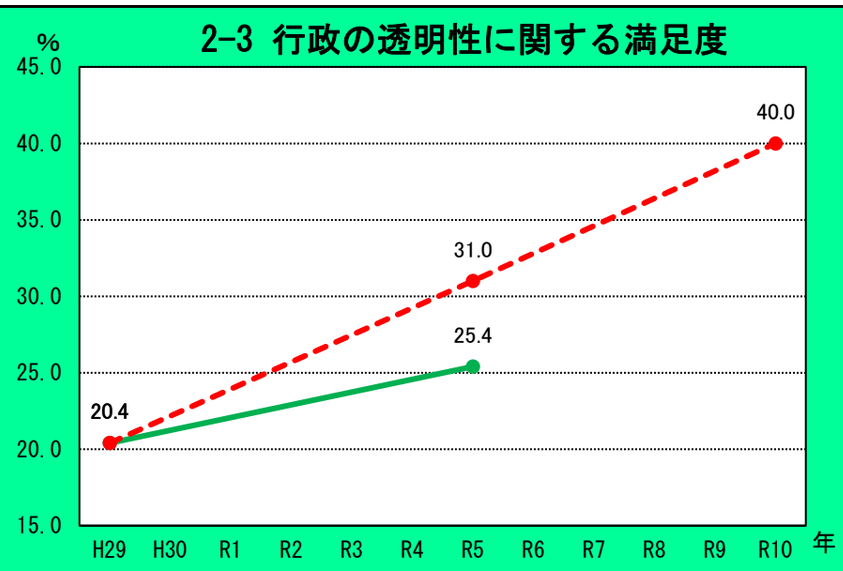
現在、Facebook、LINE、Instagram、noteの4種のSNSを運用している。
最も登録者数の多いLINEについては、R4年7月にゴミ収集日等の配信希望を選択できる機能を設けたほか、R6年10月からはオンライン申請手続システムを導入した。また、画像を用いて視覚に訴えるような情報発信の手法も取り入れている。
今後もターゲット別のSNSによる情報発信を効果的に行い、住民の利便性を高めてさらなるフォロワーの増加を図る。

○R7年度末時点のSNS別フォロワー数
・Facebook　4,568件
・LINE　13,584件
・Instagram　1,809件
・note　492件

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(1) 協働の仕組みの構築
具体的施策	(2) 広報広聴・情報公開

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

2-3 行政の透明性に関する満足度



実績
目標

住民アンケート調査で「行政の透明性」について「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合
※住民アンケート調査は、5年に一度実施（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
20.4	↗	25.4	25.5%	40.0
H29年（2017）	5.0 %	R5年（2023）	5/10 年目	R10年（2028）

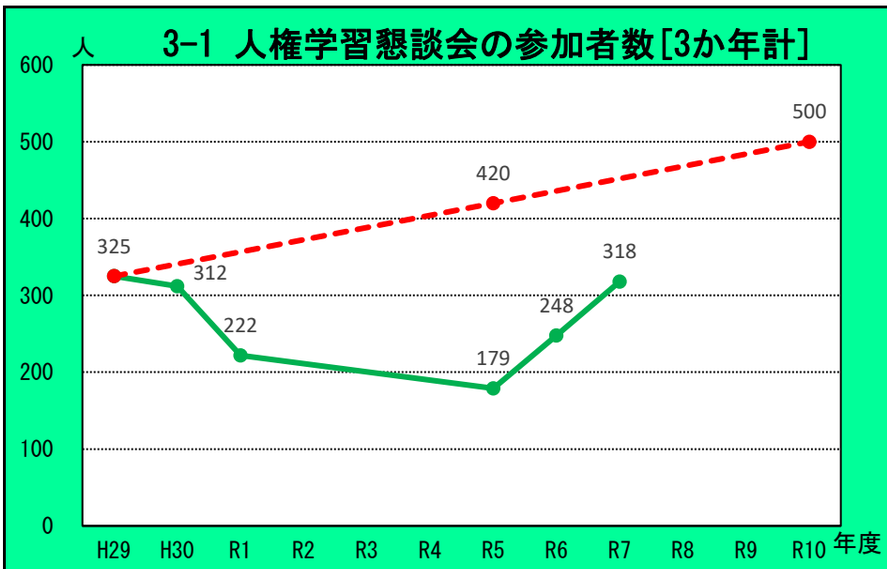
進捗状況

行政の透明性の向上と民間によるデータの二次利用に資するため、町ホームページに「オープンデータ」を公開している。
また、R6年度から情報のバリアフリー化を目的に、音声読上げや多言語翻訳ができる広報紙閲覧アプリを導入している。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人

3-1 人権学習懇談会の参加者数[3か年計]



実績
目標

3年間で町内を一巡する人権学習懇談会の参加者数

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
325	↘	318	-4.0%	500
H29年度（2017）	-7 人	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

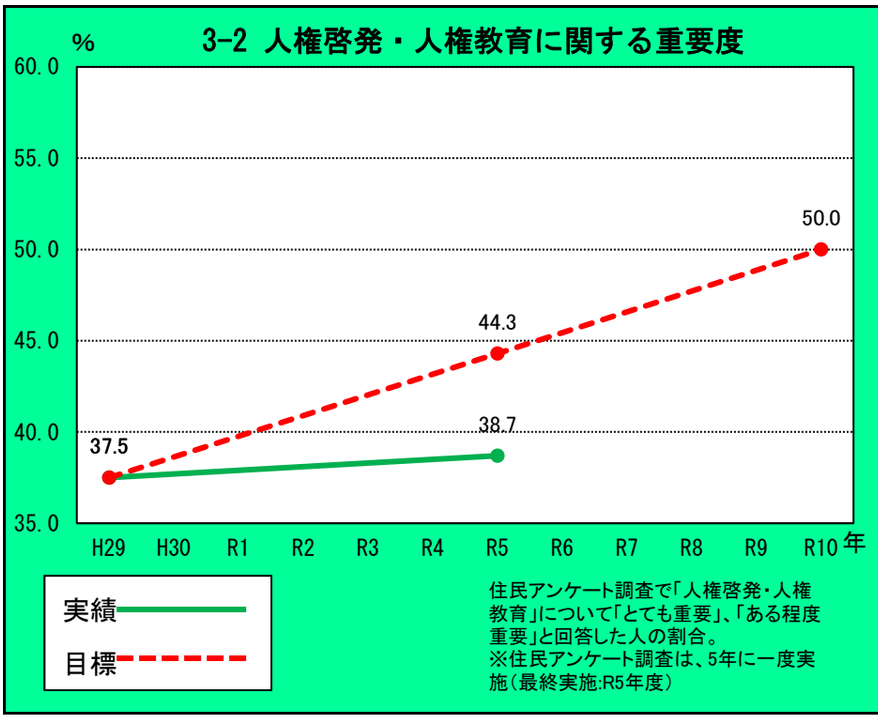
進捗状況

人権学習懇談会の開催方法について、R5年度までは地区毎に3年周期で実施する地区別懇談会形式で開催していたが、参加者数は年々減少していたことから、地域の方が集まりにくい社会情勢を踏まえ、R6年度より各種団体が集まる場（総会や研修会等）に職員が出向いて人権について考える時間を持っていただく出前講座形式に見直した。R7年度の3か年計は318人（令和7年度単年は111人）となり、改善傾向にあるため、今後更なる周知を行い、多くの住民が人権課題に触れることができる機会を確保していく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　住民課 課長　成田　光大 教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人

3-2 人権啓発・人権教育に関する重要度



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
37.5	↗	38.7	9.6%	50.0
H29年（2017）	1.2 %	R5年（2023）	5/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

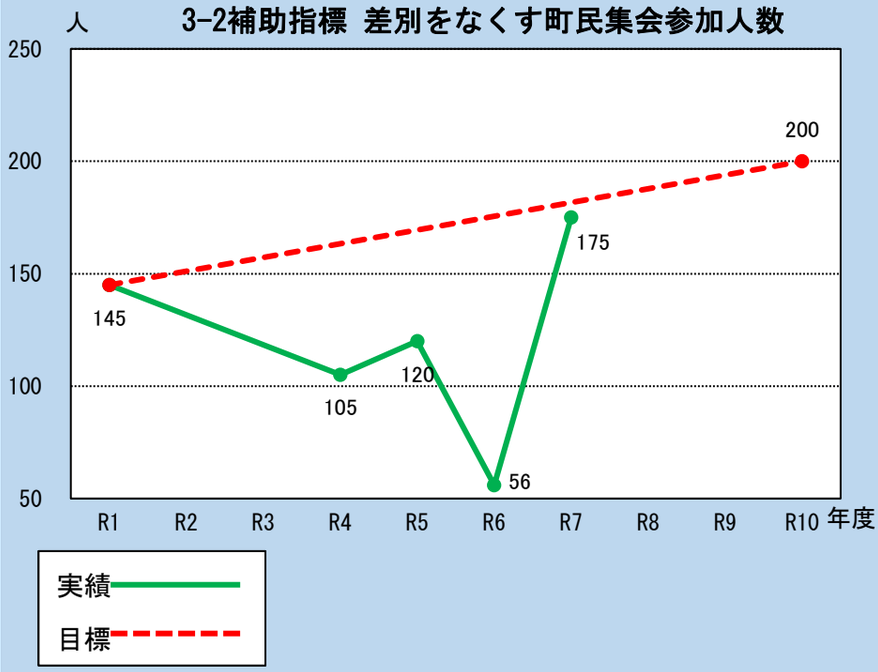
人権啓発・人権教育の推進においては、住民一人ひとりが「差別は理由を問わず許されるものではなく、人権を尊重することが大切」という認識を深める必要があり、「家庭教育」「地域社会」「学校教育」のそれぞれにおいて、取組を実施する必要がある。

人権学習懇談会は、従来の地区別懇談会形式から参加しやすい出前講座形式に見直したことで、より多くの方に人権について考えていただく機会を確保することができている。今後も人権尊重の意識高揚のため、出前講座をより多くの方に活用していただけるよう広報していく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(3) 人権

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　住民課 課長　成田　光大

3-2補助指標 差別をなくす町民集会参加人数



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
145	↗	175	54.5%	200
R1年度（2019）	30 人	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

「差別をなくす強調月間」の取組のひとつとして、あらゆる差別をなくすこと、人権を尊重する意識の向上を図ることを目的に、現代における差別をテーマとした講演を開催している。

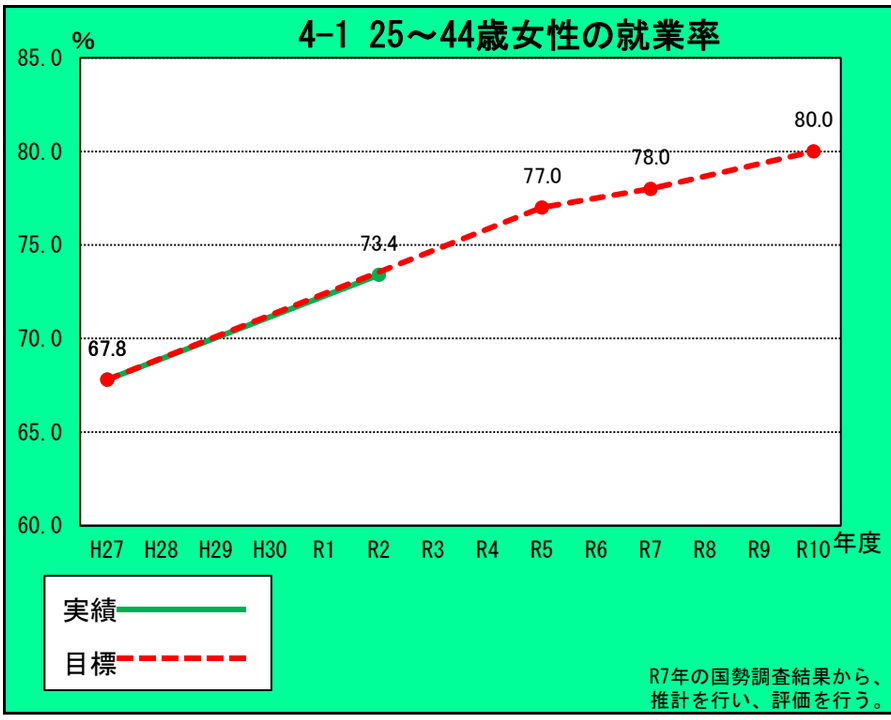
講演のテーマにより、参加者人数は影響を受けるが、広報紙やホームページ以外にも町公式ＬＩＮＥで告知するとともに、テーマに関連する各種団体にも早期に案内を行うことで、参加人数の増加を図る。

〇講演内容
・R7：平和の祈りコンサート（広島被爆80年）
・R6：子どもの貧困問題（経験談等）
・R5：障がい福祉（当事者体験談等）

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

4-1 25～44歳女性の就業率



R7年の国勢調査結果から、推計を行い、評価を行う。

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
67.8	↗	73.4	45.9%	80.0
H27年度（2015）	5.6 %	R2年度（2020）	2/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

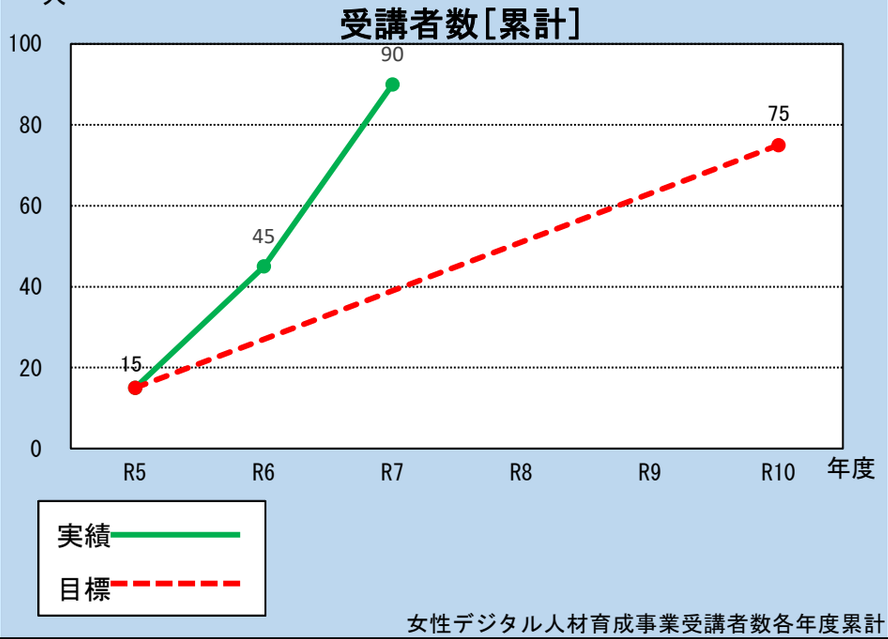
就職や起業に直結するITスキルの習得促進を目的とした「女性デジタル人材の育成事業」を実施しているほか、女性活躍支援センター（リーベル王寺東館4階）内に託児施設付ワーキングスペース「ママスクエア」を誘致し、民間活力による女性の就業、起業支援の拠点づくりに取り組んでいる。

また、国、県の機関である「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク～」や「奈良県高田しごとｉセンター」と連携し、地域交流センターで「就職支援セミナー」「就職面接会」「仕事相談窓口」などの取組も行っている。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

4-1補助指標① 女性デジタル人材育成講座受講者数[累計]



女性デジタル人材育成事業受講者数各年度累計

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
15	↗	90	125.0%	75
R5年度（2023）	75 人	R7年度（2025）	2/5 年目	R10年度（2028）

進捗状況

就職や起業に直結するITスキルの習得促進を目的とした「女性デジタル人材の育成事業」を実施。

実際の就業・起業につながるよう、インターン（職業体験）や起業成功者との情報交換会のほか、企業とのビジネスマッチングなども行っている。

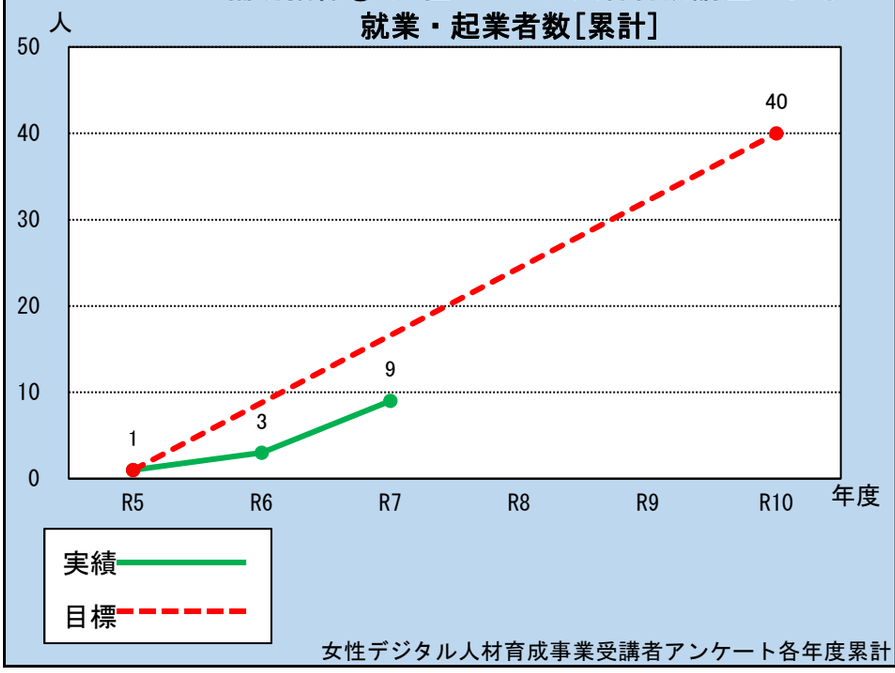
当初より想定を上回る応募があり、クラス数を増設し実施していることから、受講者数も増加している。

R7年度はスキル習熟度に応じ、3コース（初心者・中級者・EC初級）を設定。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

4-1補助指標② 女性デジタル人材育成講座による就業・起業者数[累計]



女性デジタル人材育成事業受講者アンケート各年度累計

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
1	↗	9	20.5%	40
R5年度(2023)	8人	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

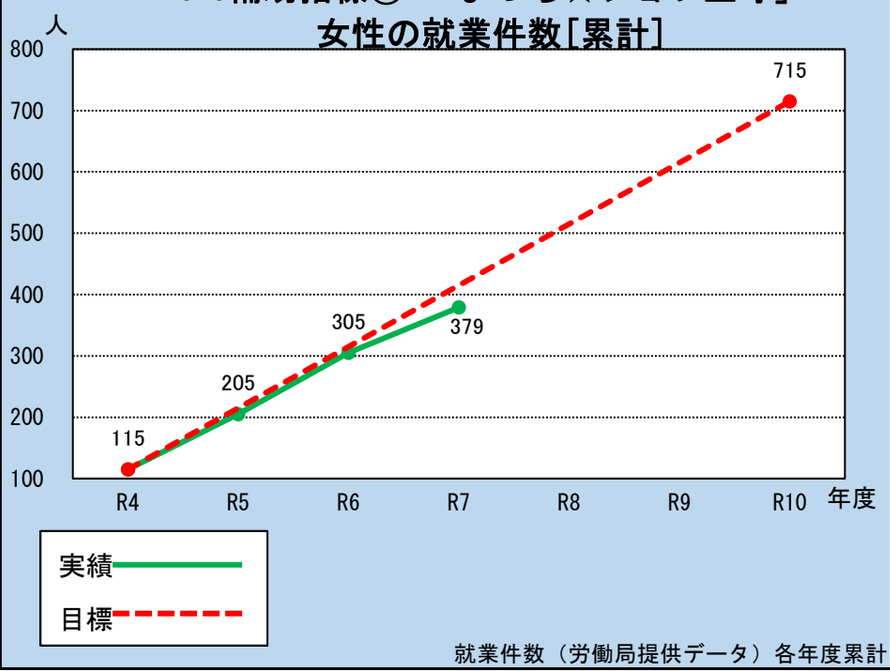
進捗状況

就職や起業に直結するITスキルの習得促進を目的とした「女性デジタル人材の育成事業」を実施。
実際の就業・起業につながるよう、インターン(職業体験)や起業成功者との情報交換会のほか、企業とのビジネスマッチングなども行っている。
受講者へのアンケート結果では、講座で習得したスキルが実務において役に立っているなど、肯定的な内容の回答が多い。
受講者の就業・起業実績を伸ばしていくための工夫を行っていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

4-1補助指標③ 「まっち☆ジョブ王寺」女性の就業件数[累計]



就業件数（労働局提供データ）各年度累計

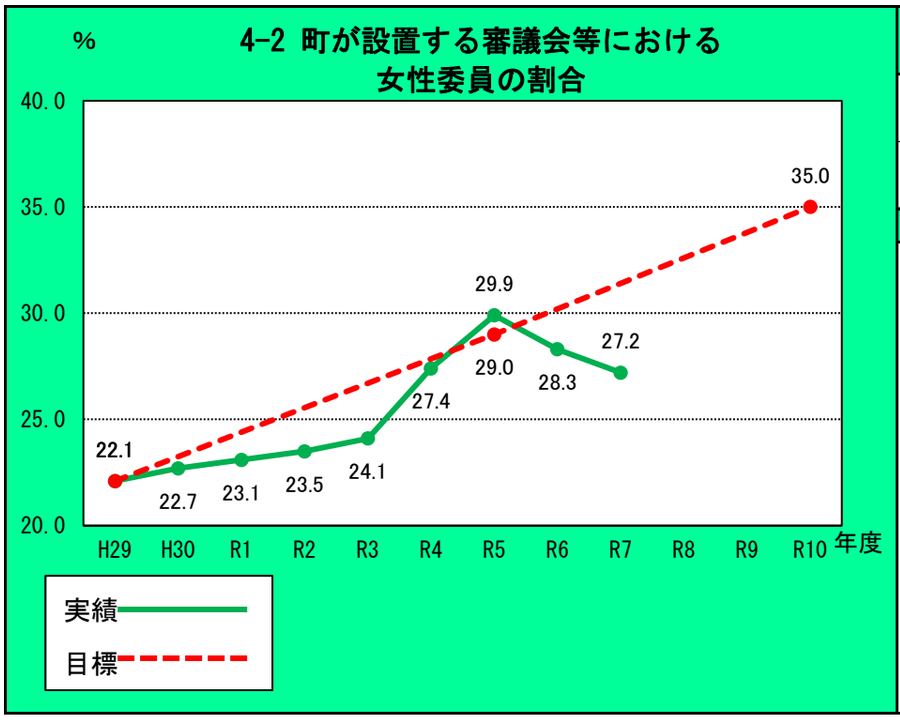
基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
115	↗	379	44.0%	715
R4年度(2022)	264人	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

進捗状況

国、県の機関である「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク～」や「奈良県高田しごとｉセンター」と連携し、地域交流センターにおいて「就職支援セミナー」「就職面接会」「仕事相談窓口」などの就職支援の取組を行っている。
今後も国、県と連携し、就業件数の増加に努める。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(2) お互いを尊重するまちづくり
具体的施策	(4) 男女共同参画

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳



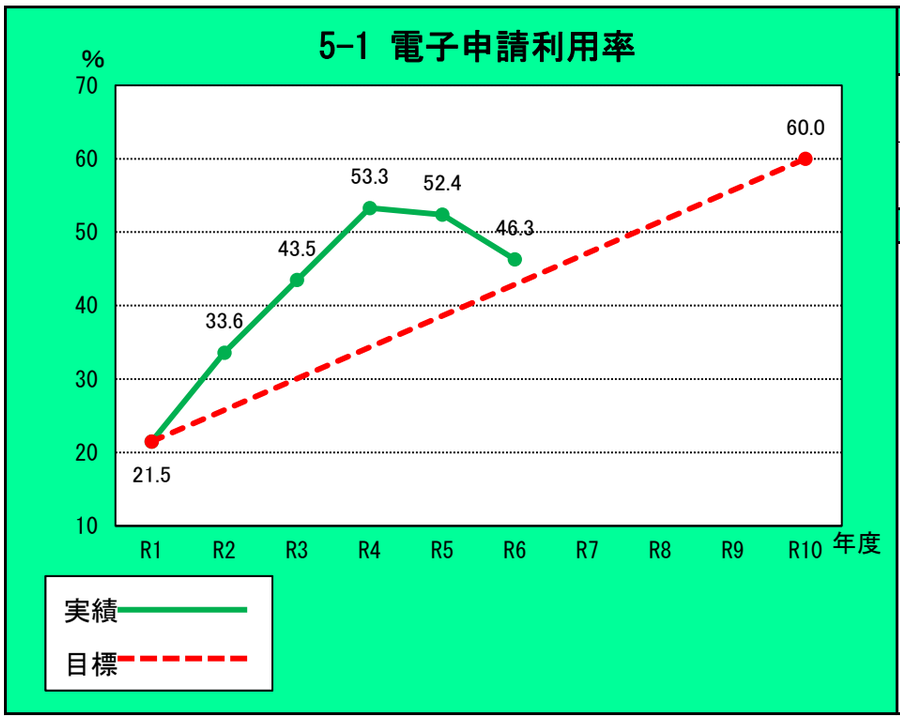
基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
22.1	↗	27.2	39.5%	35.0
H29年度（2017）	5.1 %	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

町が設置する審議会等において、男性の視点だけでなく女性の視点がどの分野にも必要であることの意識づけを行うため、今後も審議会等担当部局に対し、女性委員登用推進の協力依頼を行っていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5) 行政サービスの提供

担当部署・指標管理責任者
総務部　ＤＸ推進室 課長　西口　浩美



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
21.5	↗	46.3	64.4%	60.0
R1年度（2019）	24.8 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

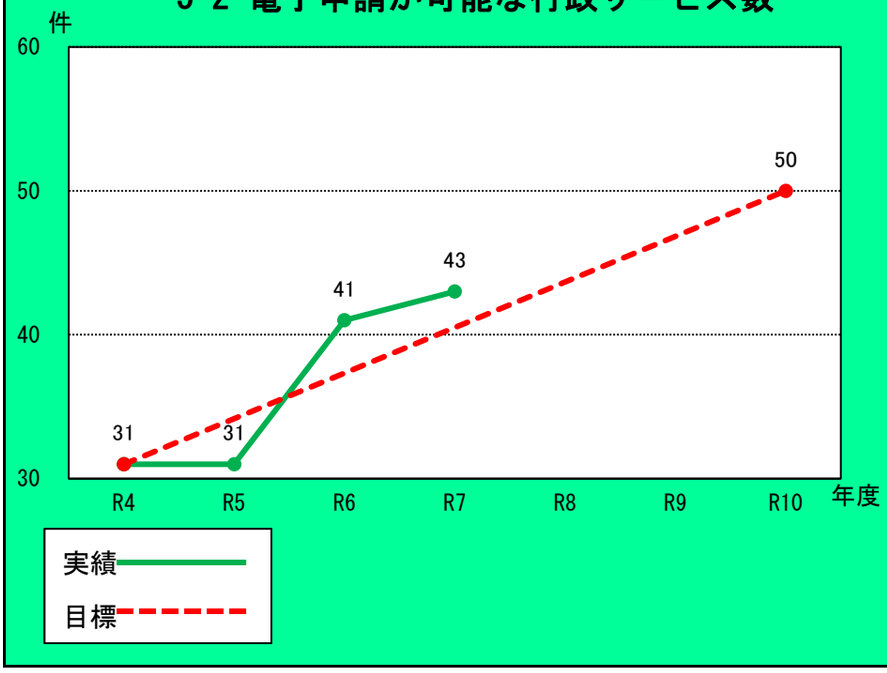
R6年度では電子申請利用率が大きく低下しているが、その要因は、利用予約に際しての電子申請率が90%以上と高かった「子育て広場」について、住民の利便性向上を図るため、予約不要で利用を可能にしたことによるものである。

今後も町公式LINE等を活用して、電子申請可能な項目を増やすとともに、その周知を行いながら電子申請率の向上を図っていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3)健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5)行政サービスの提供

担当部署・指標管理責任者
総務部　ＤＸ推進室 課長　西口　浩美

5-2 電子申請が可能な行政サービス数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
31	↗	43	63.2%	50
R4年度(2022)	12件	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

進捗状況

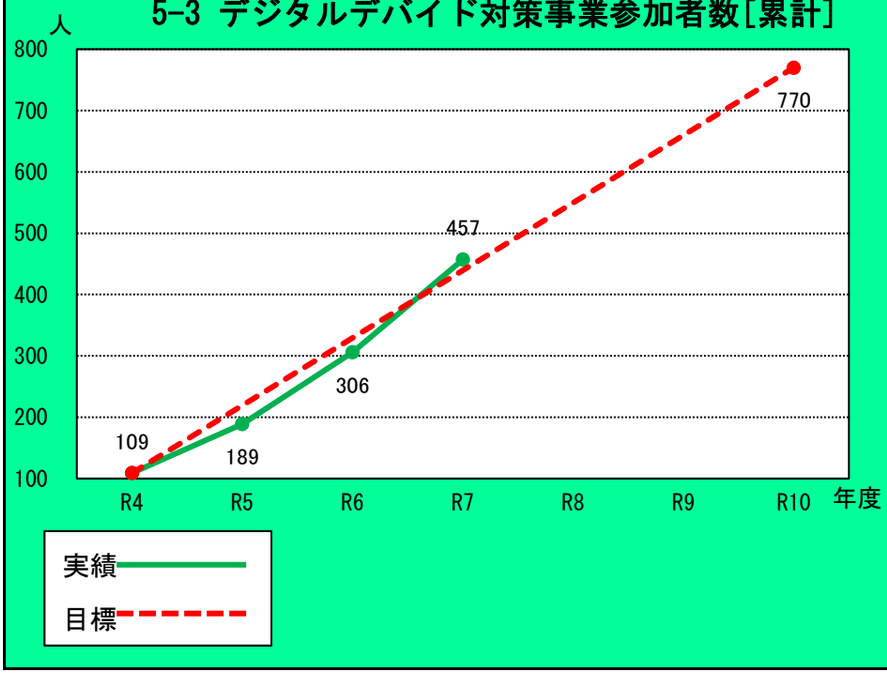
国が提供する電子申請システム「ぴったりサービス」のほかに、令和6年10月から町公式LINEを活用した独自の電子申請システムを導入。以降、預かり保育申込、粗大ごみ収集リクエストなど住民生活に密接した行政サービスにおいて電子申請できる項目を増やしている。

今後もイベント参加申込において電子申請を活用していくほか、母子保健や子育て支援に係るサービスを中心に、電子申請可能な項目を増やしていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3)健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(5)行政サービスの提供

担当部署・指標管理責任者
総務部　ＤＸ推進室 課長　西口　浩美

5-3 デジタルデバイド対策事業参加者数[累計]



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
109	↗	457	52.6%	770
R4年度(2022)	348人	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

進捗状況

約3ヶ月に1回、ドコモショップと連携したスマホ教室を開催するほか、公民館教室においてスマホ入門講座を開催している。

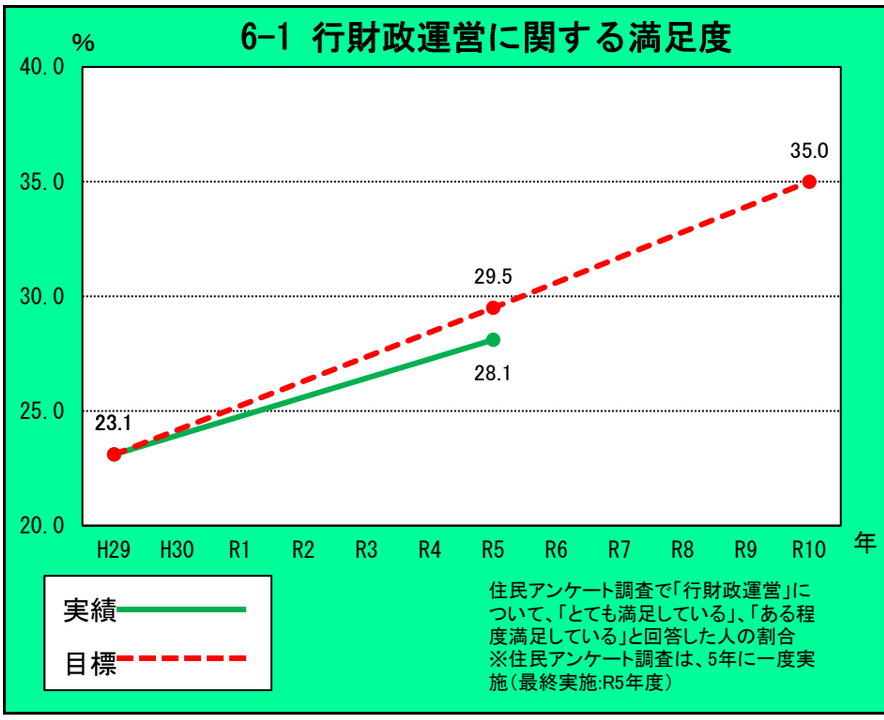
R7年度で参加者の累計が457人となり、目標に対する進捗率は52.6%となっている。

今後も教室の内容の多様化や見直しを行い、高齢者層を中心に参加者の増加を図っていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

6-1 行財政運営に関する満足度



住民アンケート調査で「行財政運営」について、「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合
※住民アンケート調査は、5年に一度実施（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
23.1	↗	28.1	42.0%	35.0
H29年 (2017)	5.0 %	R5年 (2023)	5/10 年目	R10年 (2028)

進捗状況

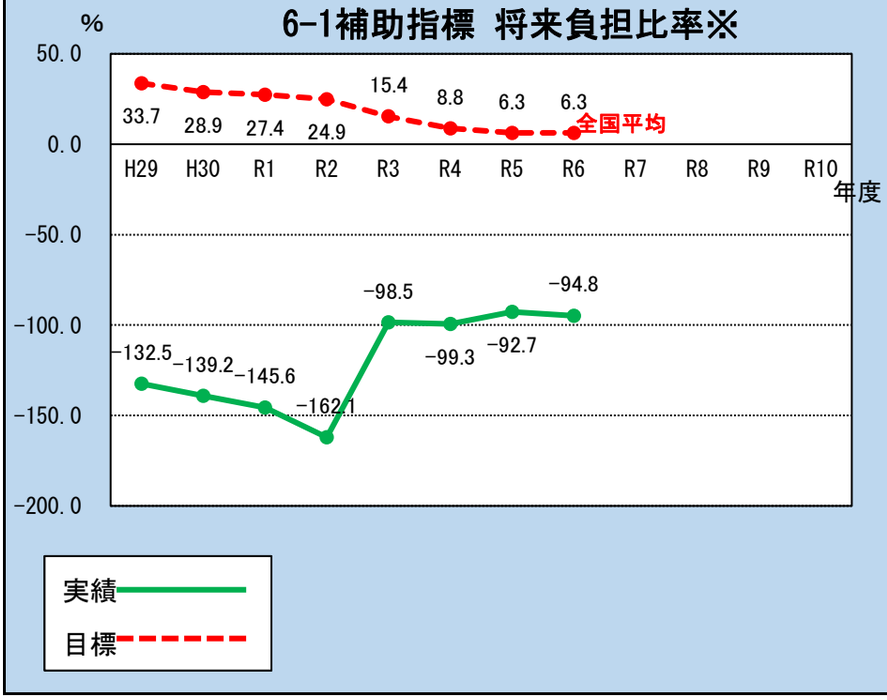
自主財源の確保として、ふるさと納税の推進を図っているが、R7年度の寄付額は49,546千円(R6年度64,378千円)であった。ふるさと納税を取り巻く環境は王寺町にとって厳しいものとなっているが、事務経費の削減等の効率化をできる限り図っていきたい。

また、R5年4月から「DX推進室」を設置して、住民サービス提供におけるデジタル化の推進を図っており、電子申請可能な項目を増やすとともに、今後、窓口での申請書類記入の際の住民負担軽減に向けた「書かない、待たない窓口」を構築するためのシステムについて検討を進めていく。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

6-1補助指標　将来負担比率※



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
6.3 全国平均	↘	-94.8	—	全国平均以下
R6年度 (2024)	-101.1 %	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)

進捗状況

本町の将来負担比率は、全国平均よりも大幅に低く、健全な数値となっている。

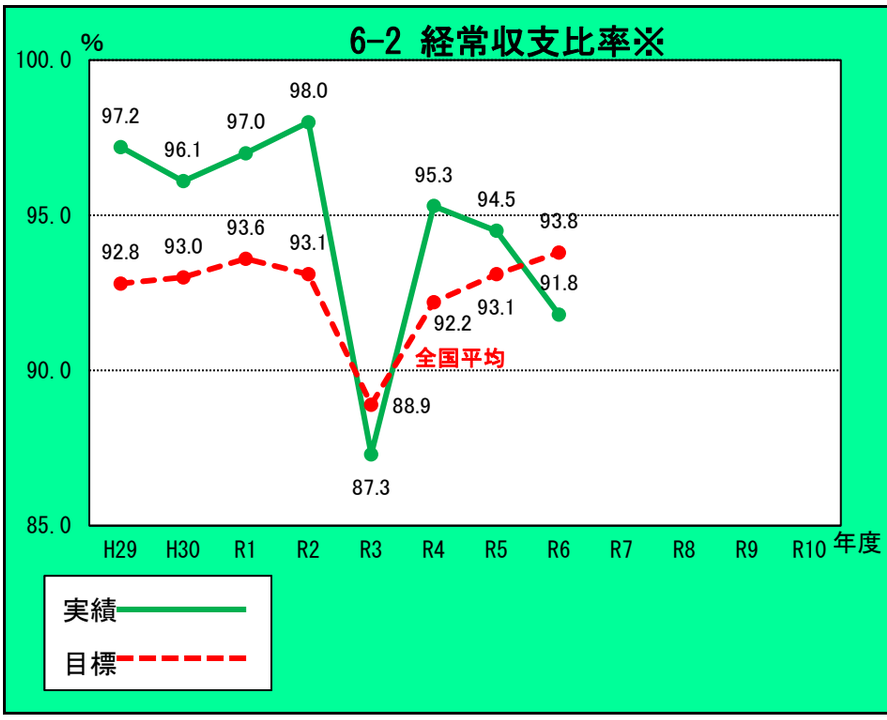
将来負担比率が健全な数値であることは一定の安心材料とはなるが、義務教育学校の建設等による将来的な公債費負担の増に対応するため、引き続き、経常経費削減を意識した予算編成に努めるとともに、効率的な公共サービスの提供を維持していく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(6) 行政経営

担当部署・指標管理責任者
総務部　政策推進課 課長　吉田　茂肇

6-2 経常収支比率※



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
93.8 全国平均	↘	91.8	102.2%	全国平均以下
R6年度 (2024)	-2.0 %	R6年度 (2024)	6/10 年目	R10年度 (2028)

進捗状況

王寺町の経常収支比率は、これまで全国平均を上回る傾向にあったが、R6年度では普通交付税の増加等の要因により改善され、全国平均を下回った。

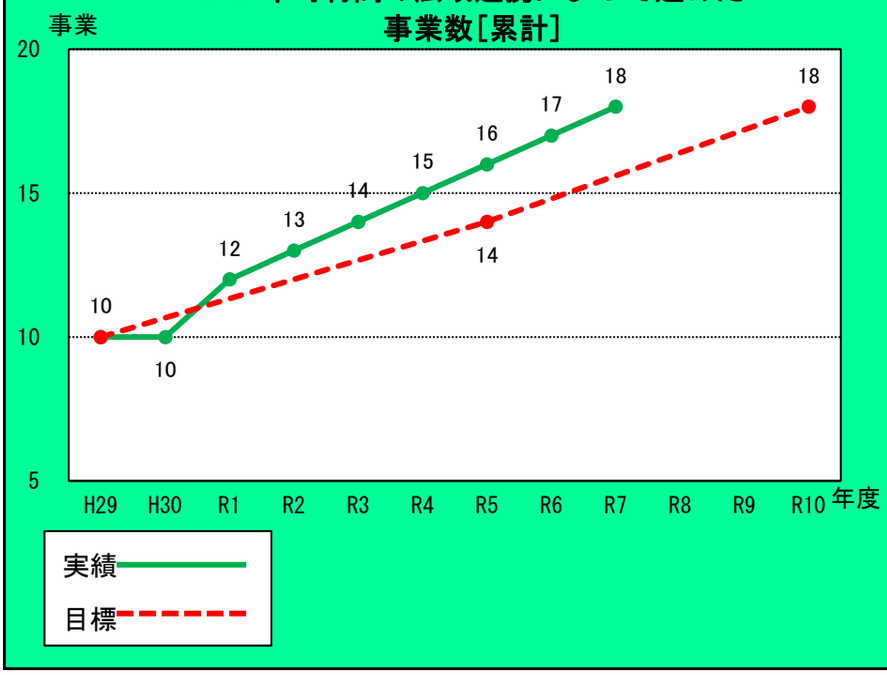
しかしながら、今後、社会保障関連経費や義務教育学校整備に伴う公債費が増加が見込まれることから、引き続き、ふるさと納税等による財源確保に努めるとともに、スクラップ＆ビルドによる事業の見直し及び事務の効率化を図っていく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	1　住民に開かれ自立するまちづくり
基本的方向	(3) 健全で効率的な行財政運営
具体的施策	(7) 広域連携

担当部署・指標管理責任者
総務部　秘書人事課 課長　川中　孝茂

7-1 市町村間の広域連携によって進めた事業数[累計]



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
10	↗	18	100.0%	18
H29年度 (2017)	8 事業	R7年度 (2025)	7/10 年目	R10年度 (2028)

進捗状況

R4年度では、中和･西和の7市町による「公共施設の相互利用の実証実験に関する協定」を締結。その後、実証実験を経て、R7年10月から本格運用を開始。（王寺町は文化施設のホールを対象として参加）

R5年度では、鉄道遺構等の近代化遺産の価値や魅力を広めるため「全国近代化遺産活用連絡協議会」に加盟。

R6年度では、新たな人事給与システム導入に際し、葛城市と北葛城郡4町の5団体による共同運用を実施。

新たな広域連携としては、9市5町1村2消防組合で、生駒山系から金剛山系にて林野火災が発生した時の相互応援を内容とする「阪奈林野火災消防相互応援協定」を締結。

今後も行政課題解決に際して必要に応じ、広域連携により事業を進めていく。

２ 快適で暮らしやすいまちづくり

数値目標

２(1)　人口の社会増（転入者数－転出者数）

ＫＰＩ

具体的施策８　土地利用

8-1 「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺区域に立地誘導を図るとしている都市機能誘導施設

8-2　町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合

具体的施策９　住宅環境

9-1　戸建て空き家の数

9-2　住宅の耐震化率

具体的施策１０　上下水道

10-1　管の直径 250mm以上の基幹配水管路の耐震化率

10-2　下水道水洗化率

具体的施策１１　道路

11-1　都市計画道路の整備率

11-2　生活道路の整備に関する満足度

11-2 補助指標　道路維持補修に関する住民要望対応率

具体的施策１２　公共交通

12-1　公共交通の整備に関する満足度

12-1 補助指標　国道 168 号の拡幅に伴う新規バス停上屋設置件数[累計]

12-2　畠田駅～馬見丘陵公園へのバスの路線数[累計]

具体的施策１３　環境保全

13-1　ＣＣＣ活動参加団体数

13-2　クリーンキャンペーン１回当たりの産業廃棄物発生量

具体的施策１４　循環型社会

14-1　一般家庭における１人１日当たりの可燃ごみ排出量

14-2　ごみのリサイクル率

具体的施策１５　都市景観

15-1　都市景観に関する満足度

15-1 補助指標　戸建て空き家の数【9-1 再掲】

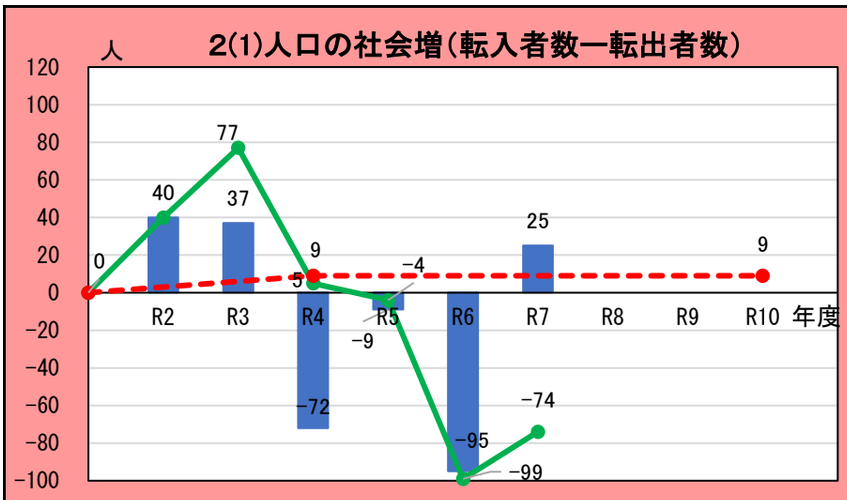
15-2　国道 168 号の無電柱化延長

数値目標

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
	都市基盤の整備、環境や景観への配慮により、快適に暮らし続けられる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
王寺町理事 坂上　高志

2(1)人口の社会増（転入者数ー転出者数）



実績（累積）
目標（累積）
実績（単年度）

（2026.7）
R7～県の公表データの変更により実績値を訂正（R2～R7）
（各年4月～3月の実績値を10月～9月の実績値に訂正）
奈良県推計人口調査より

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
0	↘	-74	-822.2%	9
H30年度（2018）	-74人	R7年度（2025）	6/9 年目	R10年度（2028）

進捗状況

都市基盤の整備について、王寺駅周辺への都市機能の集積及び生活サービス機能の充実を図るため、R4年度に策定した「王寺駅周辺地区（駅北エリア）まちづくり基本計画」に基づいたまちづくりを進めている。

王寺駅南エリアについては、自治会と継続した意見交換を実施し、駅南エリアのまちづくり計画の策定に向けた方向性を検討中である。

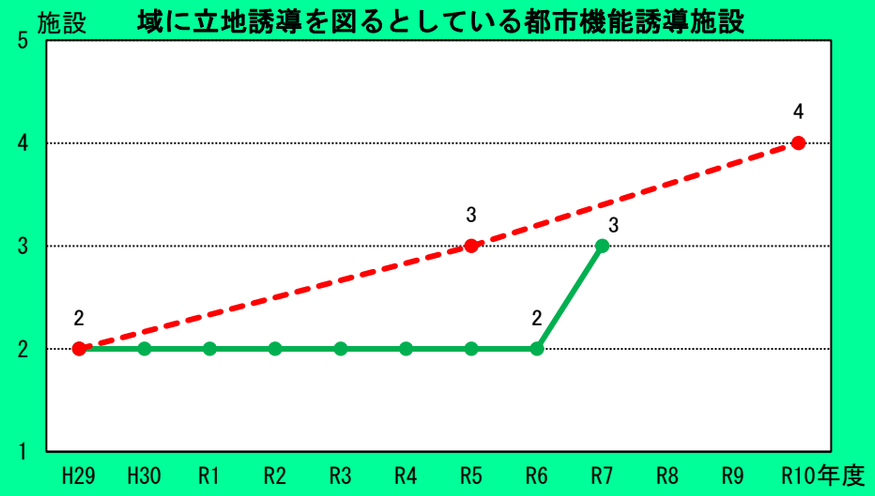
交通ネットワークの整備については、国道168号の4車線化（無電柱化）、畠田駅駅前広場の整備に向けた用地取得などを進めている。元町畠田線整備事業については用地取得が完了し、県により工事が進められている。

その他、環境や景観にも配慮し、快適に暮らし続けられるまちづくりに向けた事業を進め、早期のストック効果発現を目指し、人口の社会減に歯止めをかけるよう努めていく。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(8) 土地利用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

8-1 「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺区域に立地誘導を図るとしている都市機能誘導施設



実績
目標

・都市機能誘導施設
産婦人科や救急夜間診療が可能な総合病院（概ね200床以上）及び店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
2	↗	3	50.0%	4
H29年度（2017）	1施設	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

R7年度に「王寺町立地適正化計画の見直し」を実施し、都市機能誘導施設の更新・見直しを行い、王寺駅及び畠田駅周辺への生活利便施設（救急夜間診療が可能な総合病院及び店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗など）の誘導を図ることとした。

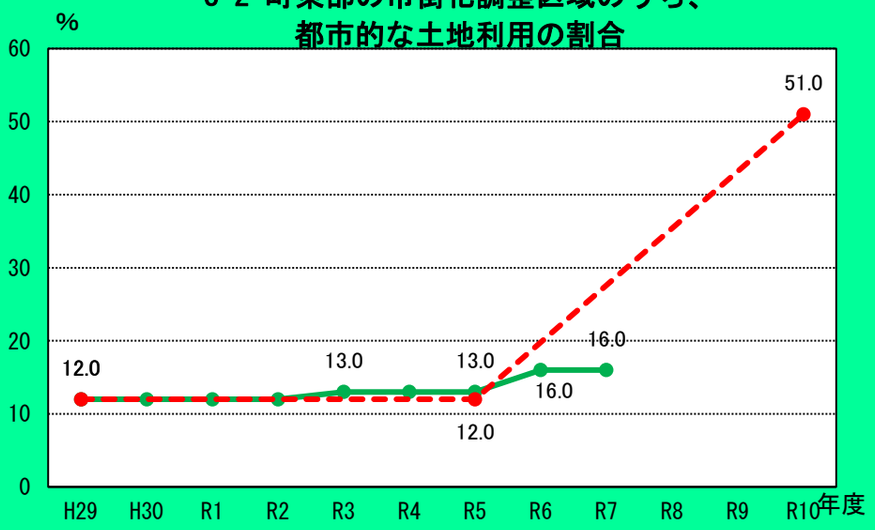
R7年度末において、王寺駅周辺の都市機能誘導区域には救急夜間診療が可能な総合病院が1施設（恵王病院）また、店舗面積が1500㎡以上の食料品を扱う店舗が2店舗(西友王寺店、ラッキー王寺店)存在する。

都市機能誘導施設については、駅周辺地区のまちづくりと連動して進めていくことで目標達成に向けた可能性が高まる。そのため、R6年度から地元自治会との話し合いを始めており、町の中心拠点である王寺駅に相応しい都市機能誘導施設を今後見極めていく。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(8) 土地利用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　都市計画課 課長　池島　知

8-2 町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合



実績
目標

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
12.0	↗	16.0	10.3%	51.0
H29年度（2017）	4.0%	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

R7年度は、王寺町都市計画マスタープランに「新たな産業用地の確保を図る」としている地域（畠田１・２丁目（牧代））について、市街化編入等の検討を行い、民間事業者が決定しなければ編入ができないと結論づけた。

引き続き当該地域の土地利用を促進するため、県と連携し民間事業者と当該地域のマッチングを進めている。さらに、直接町へ開発相談・協議に来た民間事業者に対しても当該地域を紹介し、県の開発許可が降りるよう支援を行っている。

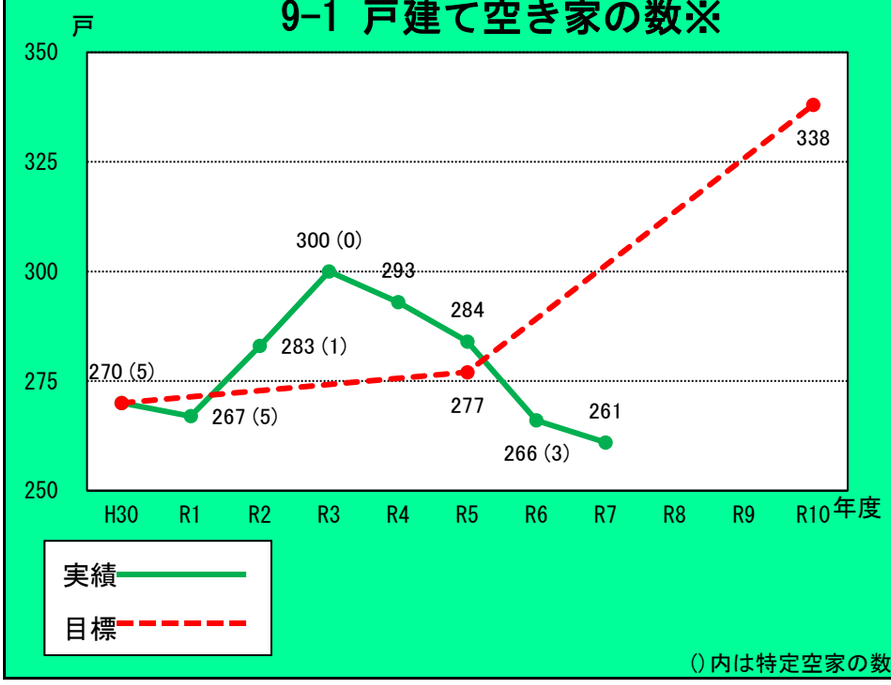
また、現在までに2件の都市的土地利用（商業施設、工場）に係る具体的な相談があり、うち1件はR8年中に正式な開発許可申請がなされる予定。

今後も引き続き、都市的土地利用を図るための取り組みを進めていく。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(9) 住宅環境

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

9-1 戸建て空き家の数※



() 内は特定空家の数

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
270	↘	261	—	338
H29年度（2017）	-9 戸	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

管理に問題がある空家等の所有者等に対して、H28年から法に基づき行政指導を行い、概ね半数の物件が改善された。H29年から毎年、町の空き家対策制度をまとめたリーフレットを作成・配布し、不動産所有者等に空家化防止の対策を講じている。

H30年から町独自で実施している「空き家の除却補助制度」は毎年活用実績があり、R6年度は3件の空き家が除却(5.3件/年)された。利活用可能な空き家については「空き家・空き地バンク」への登録を所有者へ促しており、今までで数件の成約があった。

R7年度は新たに特定空家等及び管理不全空家等を認定し、指導を行った結果、長年放置された危険な状態の空家等の内5件が除却等された。

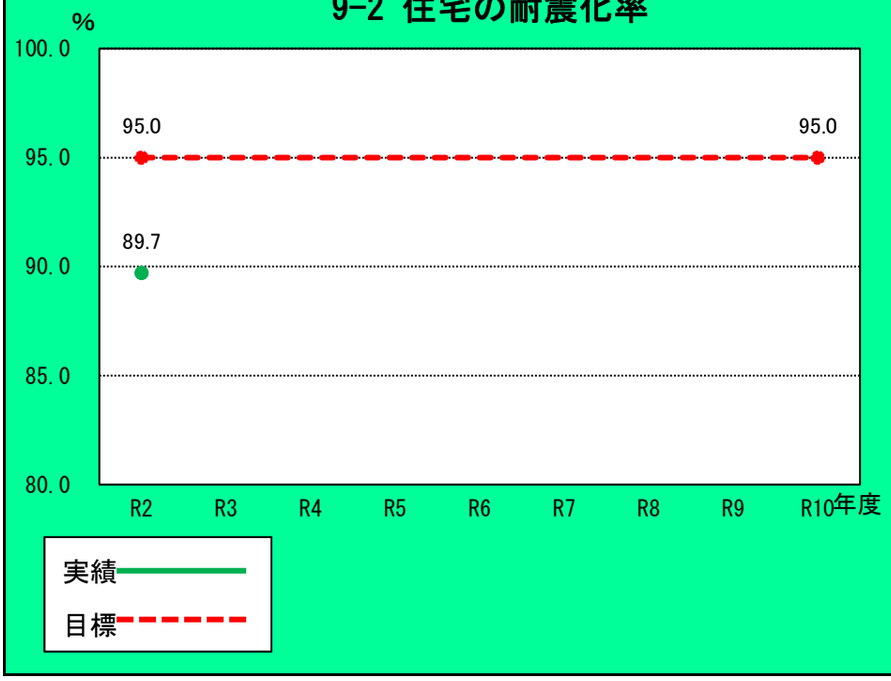
今後も空き家の段階に応じた対策を継続し、空き家増加の歯止めとなるよう努めていく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(9) 住宅環境

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

9-2 住宅の耐震化率



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
89.7	→	89.7	—	95.0
R2年度（2020）	0 %	R2年度（2020）	1/5 年目	R10年度（2028）

進捗状況

【町の耐震化事業】
・木造住宅の耐震診断（無料）
・特殊建築物の耐震診断
・耐震改修工事・耐震シェルター設置補助金
・ブロック塀等撤去補助金
・耐震フォーラムの開催（参加無料）
・耐震化促進リーフレットの作成・配布

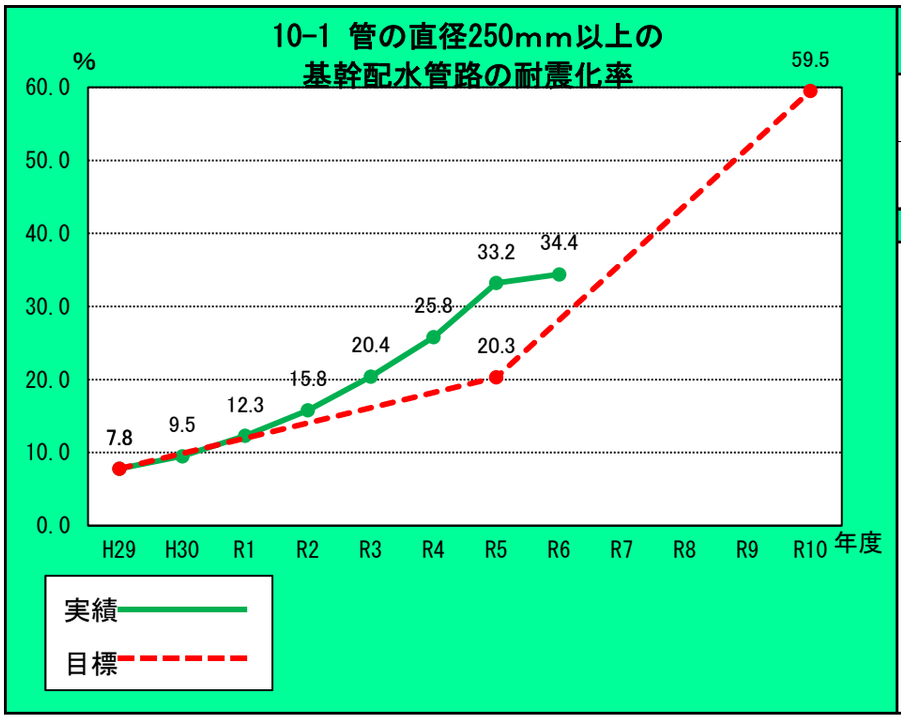
町では上記の耐震化事業を「王寺町耐震改修促進計画」に基づき実施している。R7年度に実施した耐震フォーラムでは、5組の参加があり、うち1件については耐震診断を実施された。

また、過去に耐震診断を実施した方に耐震化への動向についてヒアリングを行い、家屋の耐震化を促している。

居宅を所有する者の高齢化と耐震改修費用の高騰が、耐震改修が進まない事への追い打ちとなっており、補助制度の見直しを検討している。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(10) 上下水道

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事　源　英享



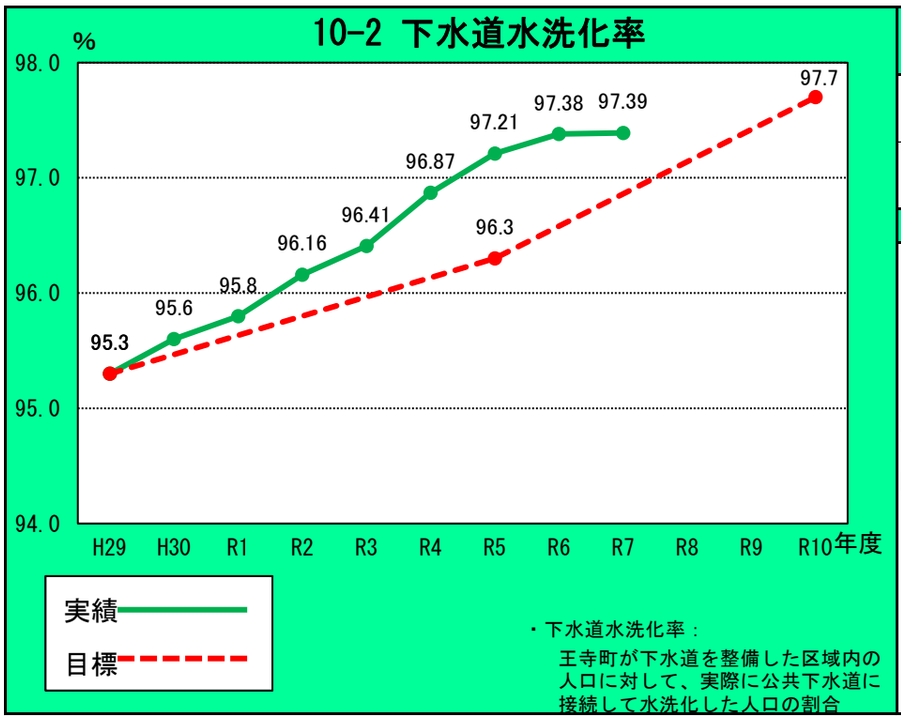
基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
7.8	↗	34.4	51.5%	59.5
H29年度（2017）	26.6 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

令和7年4月1日からの県域水道一体化に伴い、王寺町の上水道事業が奈良県広域水道企業団の管轄になったため、報告なし。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(4) 都市基盤の充実
具体的施策	(10) 上下水道

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事　源　英享



・下水道水洗化率：
王寺町が下水道を整備した区域内の人口に対して、実際に公共下水道に接続して水洗化した人口の割合

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
95.3	↗	97.4	87.1%	97.7
H29年度（2017）	2.1 %	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

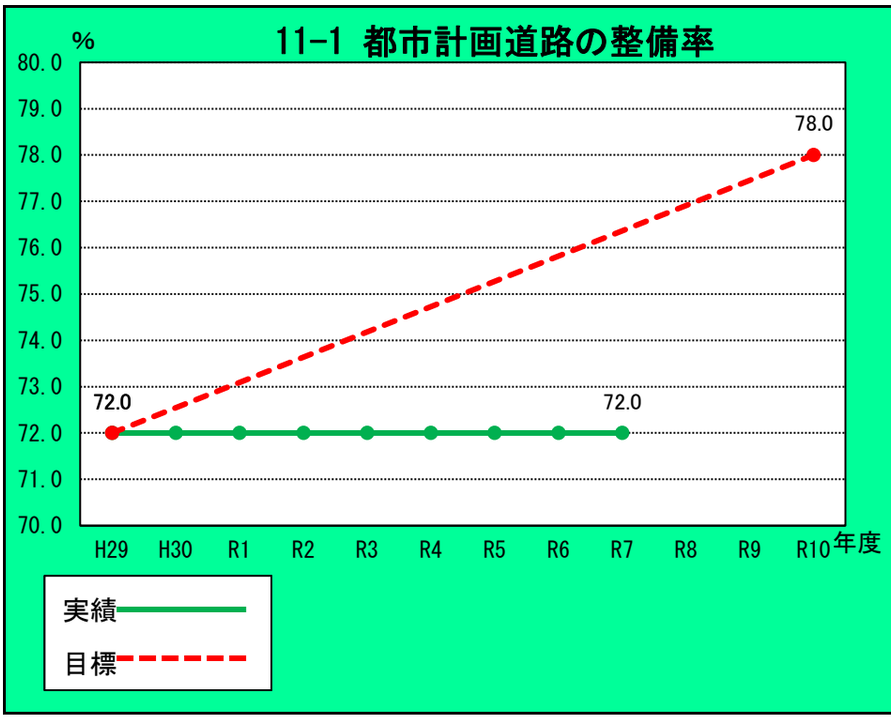
町公式サイトを通じた水洗化に関する啓発のほか、公共下水道への未接続者に対する個別訪問を継続的に実施しており、R7年度末時点での下水道水洗化率は97.39%（前年度97.38%）となり、前年度から微増となった。

今後も公共下水道への接続啓発を行い、R10年度の目標値である97.7%の早期達成を目指す。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5)交通ネットワークの整備
具体的施策	(11)道路

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　都市計画課 課長　池島　知

11-1 都市計画道路の整備率



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
72.0	→	72.0	0.0%	78.0
H29年度(2017)	0.0%	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

○国道168号（奈良西幹線）整備事業
R6年度に畠田四丁目交差点からJR畠田駅前交差点までの区間の西側歩道整備が完了し、R7年度には同区間の東側歩道の整備に着工し、R8年7月頃に完了を予定。
また、王寺動物病院前交差点から畠田４丁目交差点の区間の西側車道の舗装工事を実施予定。
引き続き畠田四丁目交差点以南の用地取得に向け対応を行う。

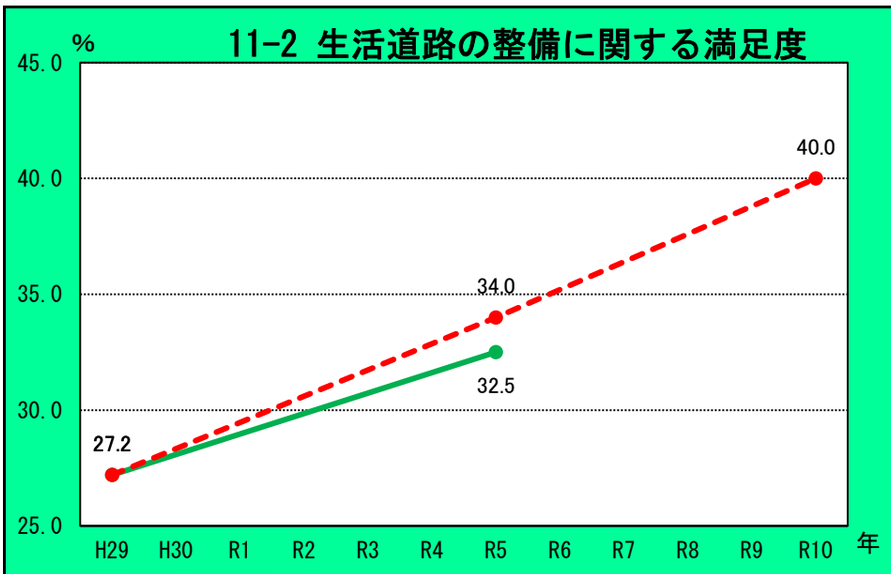
○元町畠田線整備事業
R6年9月にすべての用地取得完了し第1工区(防災公園の親水広場付近まで)の施工完了。R7年度には第2工区(政池周辺)の施工が完了し、引き続き第3工区(親水広場以西168号まで)の擁壁工事を発注しR8年度中に完了予定。
その後、工区全体の舗装、交差点処理、交通安全設備等を施工予定。

○畠田駅前線整備事業
R4年度以前に2件、R5年度に1件の用地を取得済み(残り10権利者)。R8年5月時点で1件の用地を取得済みであり進捗率は面積ベースで約54%となった。引き続き、R8年7月中を目途に残り9権利者の用地について任意交渉による用地取得を予定。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5)交通ネットワークの整備
具体的施策	(11)道路

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　建設課 課長　山中　法也

11-2 生活道路の整備に関する満足度



住民アンケート調査で「生活道路の整備」について、「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合
※住民アンケート調査は、5年に一度実施
（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
27.2	↗	32.5	41.4%	40.0
H29年(2017)	5.3%	R5年(2023)	5/10 年目	R10年(2028)

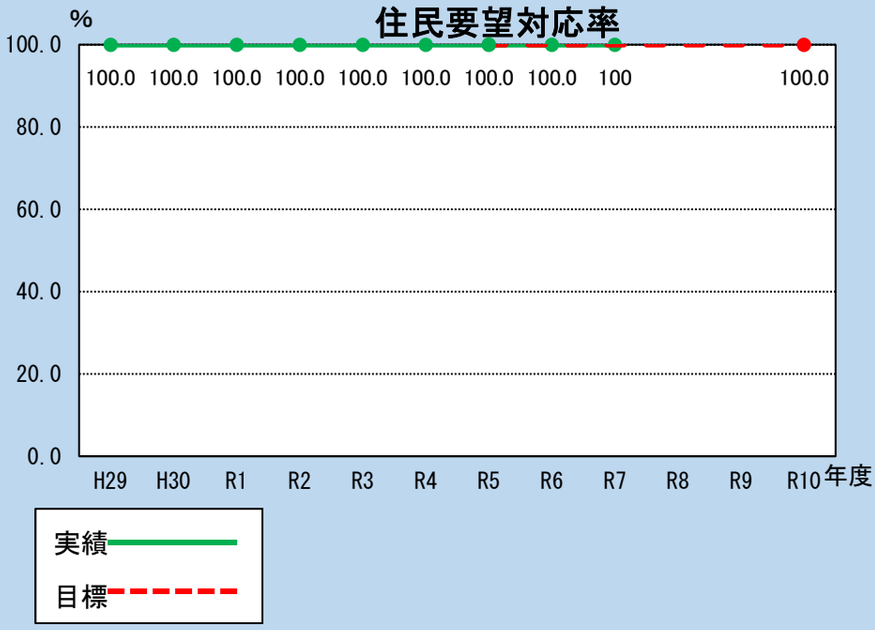
進捗状況

道路パトロールによる損傷等の確認や、町内自治会からの要望及び通報等に対し、迅速な対応を行っている。
引き続き目標達成に向け適宜、対応していく。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5)交通ネットワークの整備
具体的施策	(11)道路

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　建設課 課長　山中　法也

11-2補助指標 道路維持補修に関する住民要望対応率



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
100.0	→	100.0	100.0%	100.0
H29年度(2017)	0.0 %	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

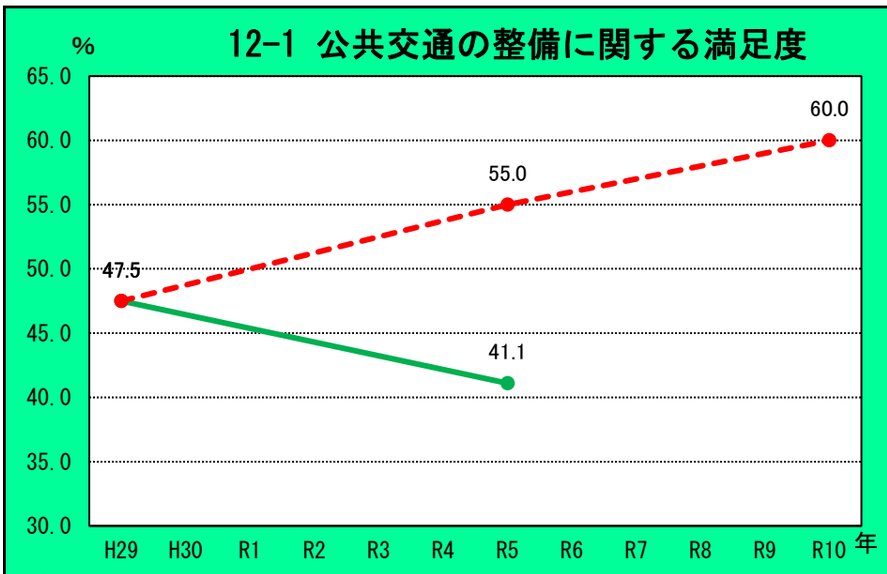
進捗状況

道路補修工事や舗装工事をはじめ、水路補修工事、泥上げ工事など要望を受けた土木工事は、すべて完了した。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5)交通ネットワークの整備
具体的施策	(12)公共交通

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

12-1 公共交通の整備に関する満足度



住民アンケート調査で「公共交通の整備」について「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合
※住民アンケート調査は、5年に一度実施
（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
47.5	↘	41.1	-51.2%	60.0
H29年(2017)	-6.4 %	R5年(2023)	5/10 年目	R10年(2028)

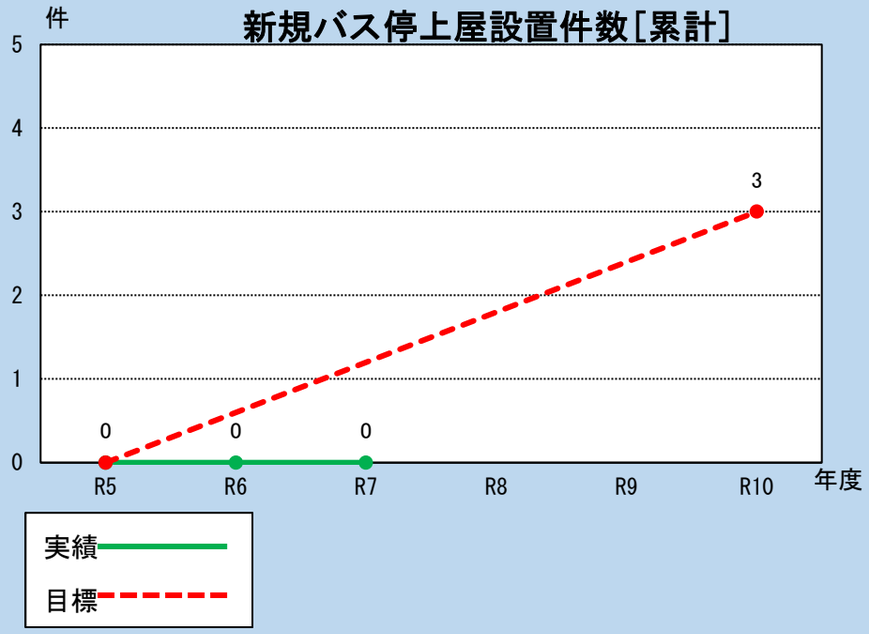
進捗状況

王寺町は鉄道のまちとして栄え、鉄道や路線バスといった公共交通が近隣市町より充実している。
しかし、コロナ禍による外出抑制で交通事業者の業績悪化が進んだ結果、運賃の値上げや減便が行われ、利用者に直接影響を与えている。全国と同様に王寺町でも「減便・値上げ→利用者減→減便・値上げ→利用者減…」という負のスパイラルが起こっている。さらに、物価高騰が交通事業者へ追い打ちをかけている。
そのため、王寺町ではR4年及びR5年に地域の公共交通であるタクシー事業者に対し燃料費の補助を実施した。（路線バスは県域の公共交通であるため県が実施）
今ある「公共交通サービス」が今後も継続するよう、交通事業者と共に公共交通の利用を促進していくとともに、地域の実情に合った新たな移動手段を含む公共交通政策の検討を行う。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5)交通ネットワークの整備
具体的施策	(12)公共交通

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

12-1補助指標 国道168号の拡幅に伴う新規バス停上屋設置件数[累計]



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	→	0	0.0%	3
R5年度(2023)	0件	R7年度(2025)	2/5年目	R10年度(2028)

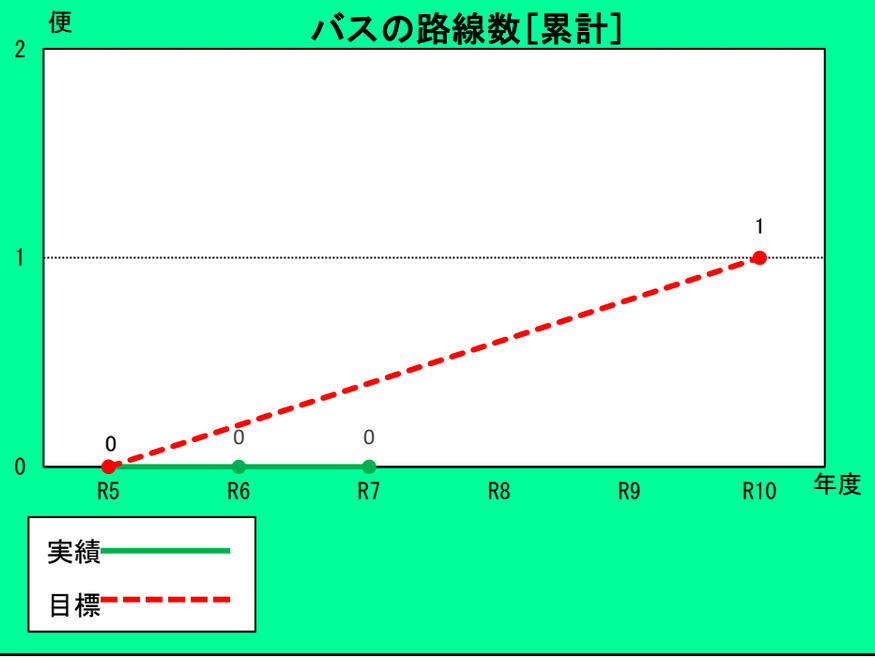
進捗状況

公共交通の利用促進として「待合環境の向上」を図るため、町内路線バスの停留所にベンチや上屋を町で設置してきた。
現在実施中である国道168号道路拡幅事業(県事業)において、バス停上屋の設置が出来ないか協議を行ったが「県では出来ない」という回答であった。(令和5年協議)
ただし、今後の国道168号の拡幅工事の手戻りとならないよう、設計段階からバス停上屋の基礎を計画図面に入れておくことについては了承を得た。(高田土木事務所協議)
今後の道路拡幅の進捗に併せ、県に対し協議を継続する。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(5)交通ネットワークの整備
具体的施策	(12)公共交通

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

12-2 畠田駅～馬見丘陵公園へのバスの路線数[累計]



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	→	0	0.0%	1
R5年度(2023)	0便	R7年度(2025)	2/5年目	R10年度(2028)

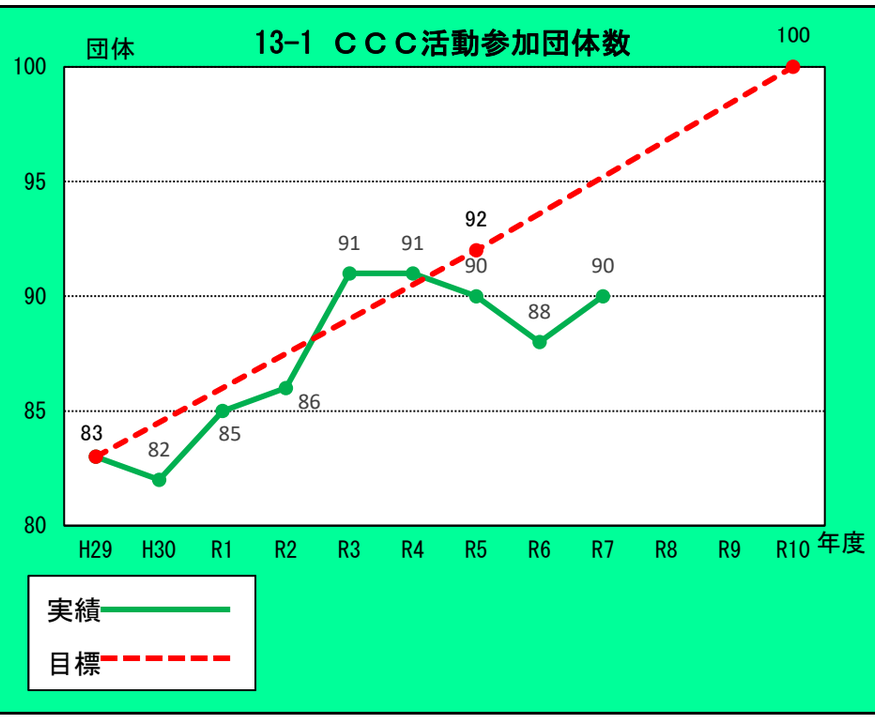
進捗状況

畠田駅前線の完成に合わせ、馬見丘陵公園へのバス路線新設について、交通事業者との協議を行っていく。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6)環境への配慮
具体的施策	(13)環境保全

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　住民課 課長　成田　光大

13-1　ＣＣＣ活動参加団体数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
83	↗	90	41.2%	100
H29年度(2017)	7団体	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

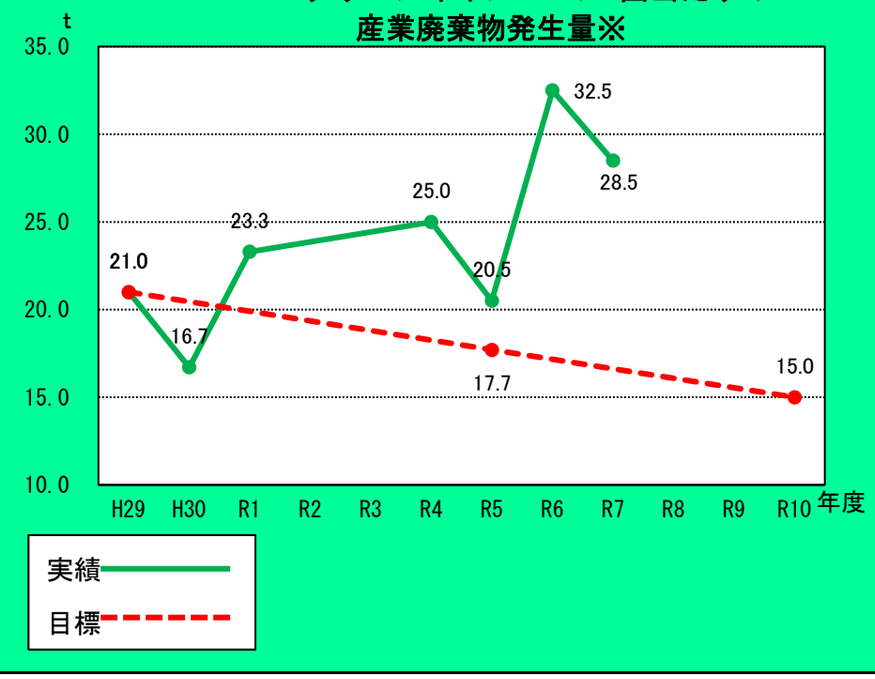
R7年度のＣＣＣ団体数は、R6年度より2団体増加しているが、活動延べ人数は減少しており、団体ごとの活動規模や参加者数の減少が課題となっている。
あらためてＣＣＣ活動の目的、補助制度及び活動状況を知っていただくための広報を行い、町内の団体や企業からの新規参加を促進する。

○ＣＣＣ活動延べ人数
・R7年度 18,728人(R6年度 20,794人)

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6)環境への配慮
具体的施策	(13)環境保全

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　住民課 課長　成田　光大

13-2　クリーンキャンペーン1回当たりの産業廃棄物発生量※



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
21.0	↗	28.5	-125.0%	15.0
H29年度(2017)	7.5 t	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

R7年度は年4回のクリーンキャンペーンのうち、R6年度と同様、2回のみの開催となった。開催当日に回収した産業廃棄物発生量は、総量、1回当たりの発生量ともに減少した。

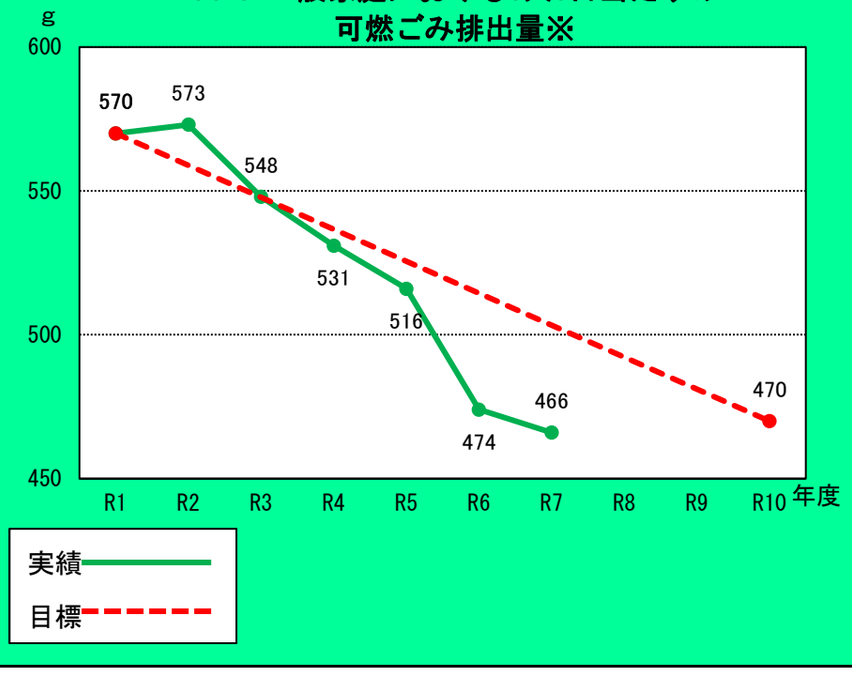
○R7年度クリーンキャンペーン
・実施回数　2回 (R6年度 2回)
・産業廃棄物発生量 57t(R6年度 65t)

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6)環境への配慮
具体的施策	(14)循環型社会

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　住民課 課長　成田　光大

14-1 一般家庭における1人1日当たりの可燃ごみ排出量※



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
570	↘	466	104.0%	470
R1年度(2019)	-104 g	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

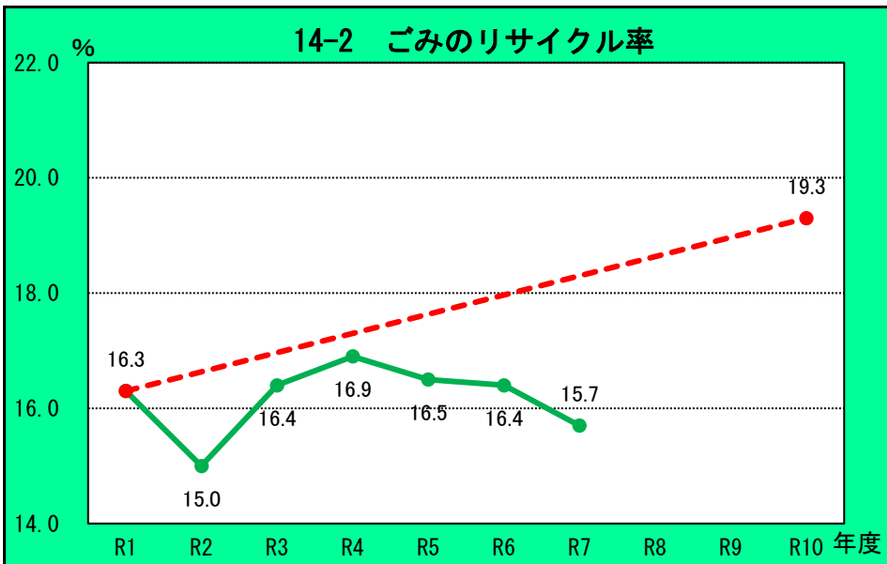
R3年11月よりスタートした「王寺町ごみ減量化プロジェクト」では、その取組として、『雑がみ回収袋』の全戸配布を行ったほか、R4年4月には町内4カ所に資源ごみ回収ステーションを設置した。
さらにR6年9月には、サイズをひと回り大きくして、より利便性を高めた『雑がみ保管袋』を、再度全戸配布した。
その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は、R7年度でプロジェクト開始前より104ｇ減少しており、現時点で目標値(マイナス100ｇ)を達成している。
今後も引き続き、目標値の達成を維持できるようごみ減量化の取組を推進していく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(6)環境への配慮
具体的施策	(14)循環型社会

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　住民課 課長　成田　光大

14-2　ごみのリサイクル率



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
16.3	↘	15.7	-20.0%	19.3
R1年度(2019)	-0.6 %	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

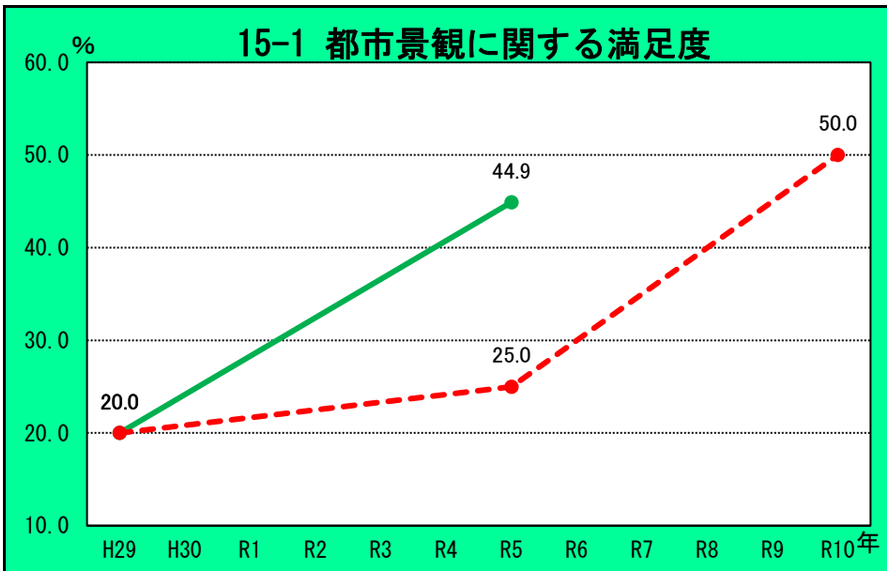
R3年11月よりスタートした「王寺町ごみ減量化プロジェクト」では、その取組として、雑がみ回収袋の全戸配布や町内4カ所の資源ごみ回収ステーションの設置などを行った。その結果、家庭から出る可燃ごみ1人1日当たりの排出量は、R7年度末時点でプロジェクト開始前より104ｇ減少し目標値を達成している。
その一方で、リサイクル率は、R6年度より減少していることから、R8年度では、資源ごみ回収ステーションの利用促進のための周知・広報を更に徹底し、リサイクル推進を図る。

○R7年度実績
・資源ごみ 804,119kg(対前年度△7.0%)
・資源化率 15.7%(対前年度△0.7ﾎﾟｲﾝﾄ)

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7)水と緑の保全の創出
具体的施策	(15)都市景観

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　都市計画課 課長　池島　知

15-1 都市景観に関する満足度



実績
目標

住民アンケート調査で「都市景観」について「とても満足している」、「ある程度満足している」と回答した人の割合
※住民アンケート調査は、5年に一度実施（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
20.0	↗	44.9	83.0%	50.0
H29年（2017）	24.9 %	R5年（2023）	5/10 年目	R10年（2028）

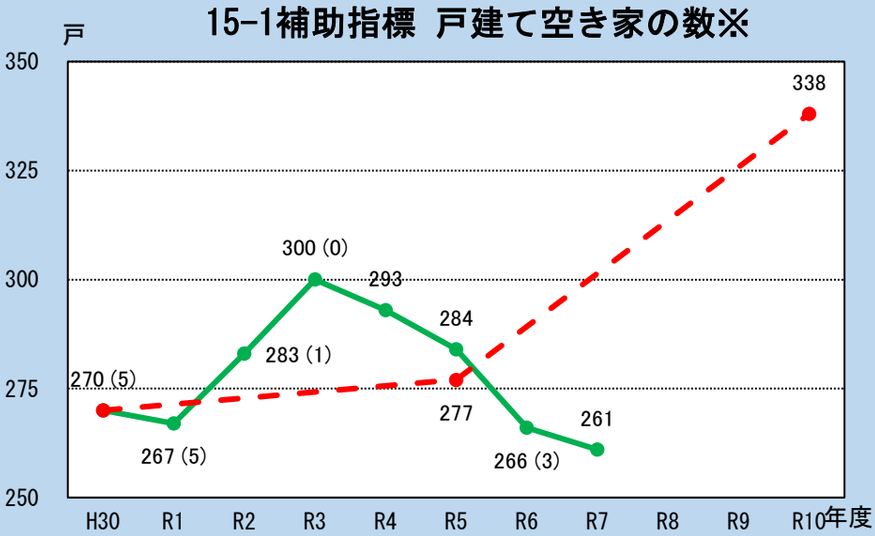
進捗状況

景観法に基づく届出対象となる行為の意見聴取についてR7年度は2件の照会があり、景観に配慮した計画であった。
今後も、良好な景観形成を図るため、適切に対応していく。

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7)水と緑の保全の創出
具体的施策	(15)都市景観

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

15-1補助指標 戸建て空き家の数※



実績
目標

()内は特定空家の数

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
270	↘	261	—	338
H29年度（2017）	-9 戸	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

管理に問題がある空家等の所有者等に対して、H28年から法に基づき行政指導を行い、概ね半数の物件が改善された。H29年から毎年、町の空き家対策制度をまとめたリーフレットを作成・配布し、不動産所有者等に空家化防止の対策を講じている。
H30年から町独自で実施している「空き家の除却補助制度」は毎年活用実績があり、R6年度は3件の空き家が除却(5.3件/年)された。利活用可能な空き家については「空き家・空き地バンク」への登録を所有者へ促しており、今までで数件の成約があった。
R7年度は新たに特定空家等及び管理不全空家等を認定し、指導を行った結果、長年放置された危険な状態の空家等の内5件が除却等された。
今後も空き家の段階に応じた対策を継続し、空き家増加の歯止めとなるよう努めていく。

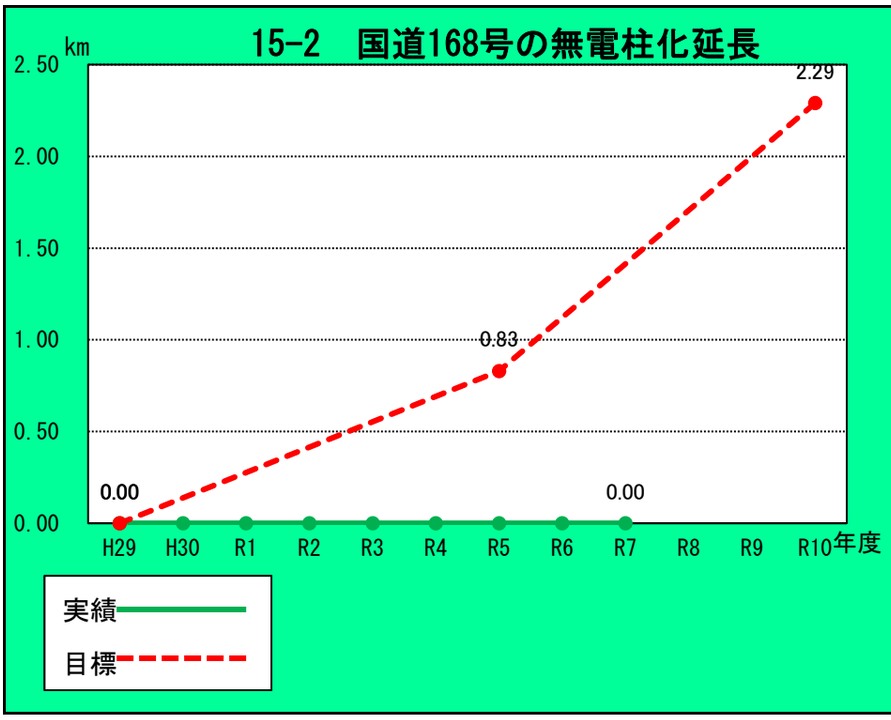
※は数値が低い方が良くなる指標です。

KPI

基本目標	2　快適で暮らしやすいまちづくり
基本的方向	(7)水と緑の保全の創出
具体的施策	(15)都市景観

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　都市計画課 課長　池島　知

15-2　国道168号の無電柱化延長



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0.0	→	0.00	0.0%	2.29
H29年度(2017)	0.00 km	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

○国道168号(奈良西幹線)整備事業
　本町一丁目交差点以南640m(4車線化事業済み区間)の無電中化については、電気事業者との協議を順次実施中。
　上記区間より南(4車線化事業中区間)の無電中化については、畠田四丁目交差点からJR畠田駅前交差点までの歩道整備とともに電線共同溝をR6年度より着工。
　R6年度は西側歩道整備とともに電線共同溝を設置済み。R7年度は東側の歩道整備とともに電線共同溝設置に着手し、R8年7月頃に完了を予定。

３　安全で安心に暮らせるまちづくり

数値目標

３(1)　防災訓練を実施している自主防災組織の数

３(2)　防災士資格者数

ＫＰＩ

具体的施策１６　防災体制

16-1 「王寺町安全・安心メール」及び「LINE 公式アカウント」登録者数

具体的施策１７　避難行動支援

17-1 「個別計画」を作成した団体数[累計]

具体的施策１８　消防・救急体制

18-1　王寺町消防団の定員に対する充足率

18-2　救命講習会の年間受講者数

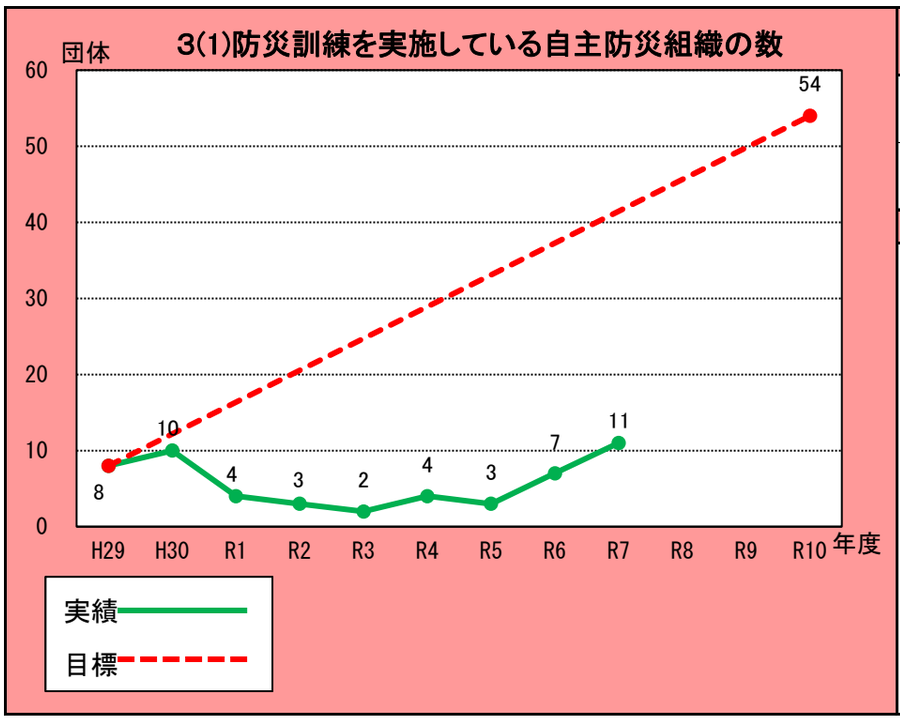
具体的施策１９　防犯・交通安全

19-1　刑法犯年間認知件数（延べ）

19-2　町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合

基本目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司



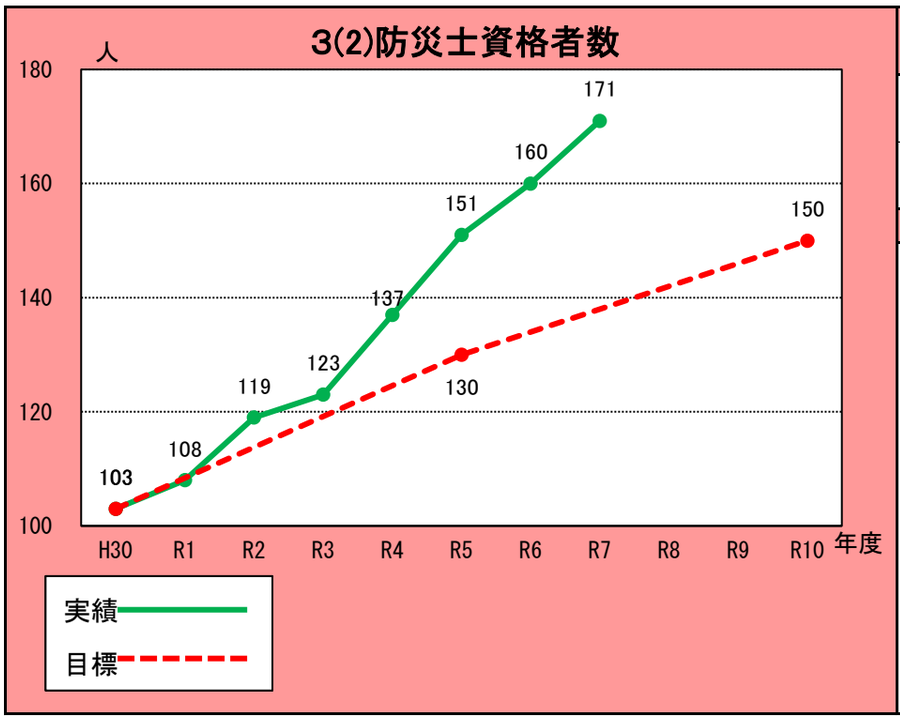
基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
8	↗	11	6.5%	54
H29年度（2017）	3 団体	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

実施件数は、徐々に増加してきている。実効性のある訓練を実施するため、現在策定を進めている地区防災計画については、その策定・着手率が42.59%（23/54自治会中）であり、概ね半数の地区で訓練を実施する基盤が出来上がっている。
今後も、地区での訓練や避難所単位での訓練実施の支援を行うとともに、実効性のある訓練実施するよう推進する。

基本目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
	住民が安心して暮らし続けられる安全な町をつくる

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
103	↗	171	144.7%	150
H30年度（2018）	68 人	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

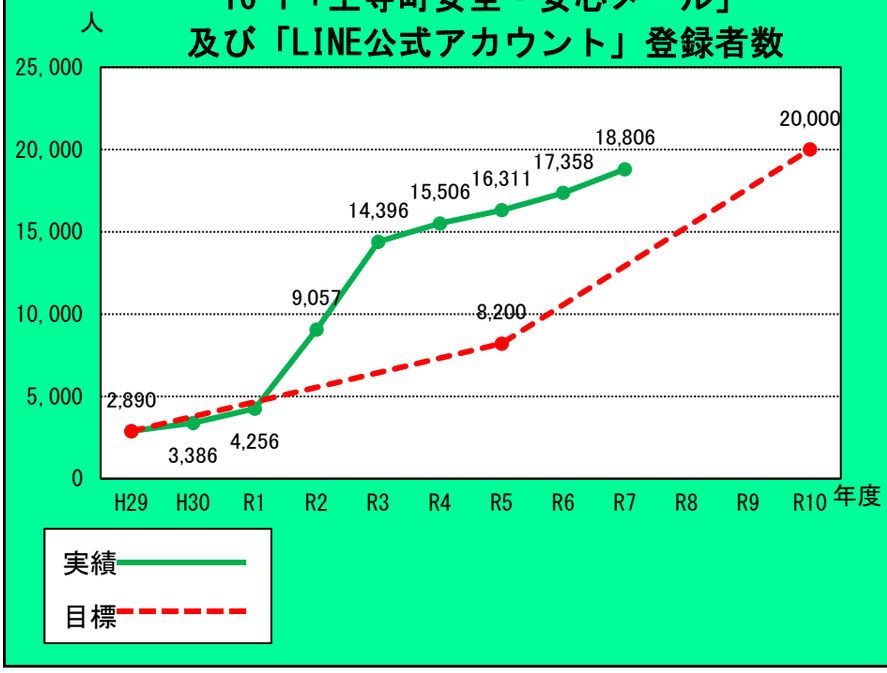
目標値を上回っており、今後も資格取得に向けて町内で研修を推進する。
また職員に対しても資格取得を進める。
資格取得者を増加するとともに、王寺町防災士NWへの加入を促進するとともにフォローアップ研修を行い、地域で活躍する防災士を育成していく。

○R8年3月末時防災士ネットワーク加入率
51.5%（88人/171人）

目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(16) 防災体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司

16-1「王寺町安全・安心メール」及び「LINE公式アカウント」登録者数



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
2, 890	↗	18, 806	93. 0%	20, 000
H29年度（2017）	15, 916人	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

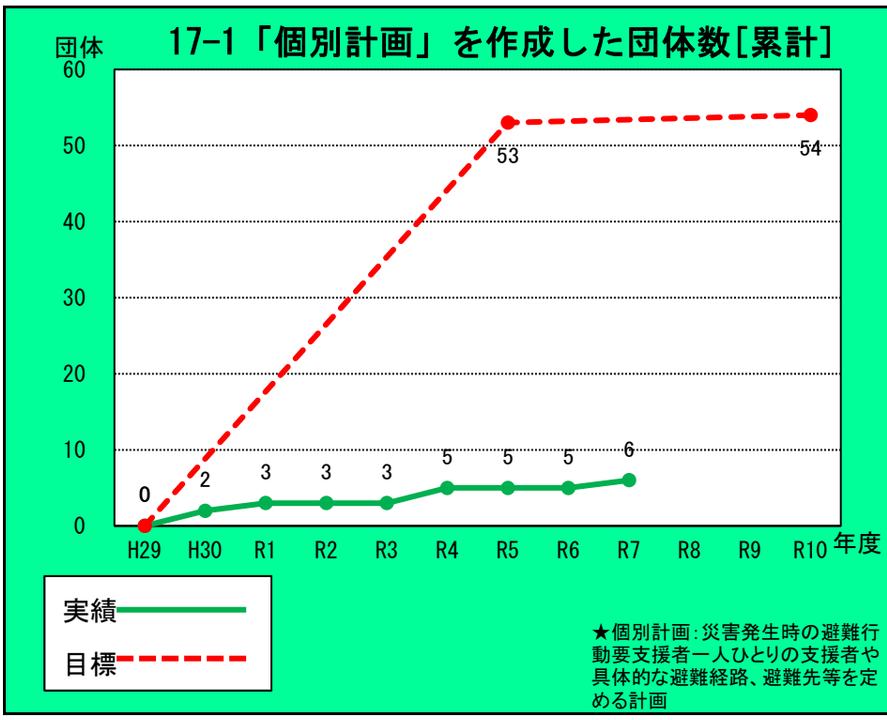
広報紙等で登録の啓発を行い、登録者数の増加に繋げることができている。
今後も窓口に来庁される方等への呼びかけを行い、更なる登録者の増加を目指す。

○R8年3月末時点登録者数
安全安心メール　5, 222人
ＬＩＮＥ　13, 584人
合計　18, 806人

目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(17) 避難行動支援

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司

17-1「個別計画」を作成した団体数[累計]



★個別計画：災害発生時の避難行動要支援者一人ひとりの支援者や具体的な避難経路、避難先等を定める計画

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
0	↗	6	11. 1%	54
H29年度（2017）	6団体	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

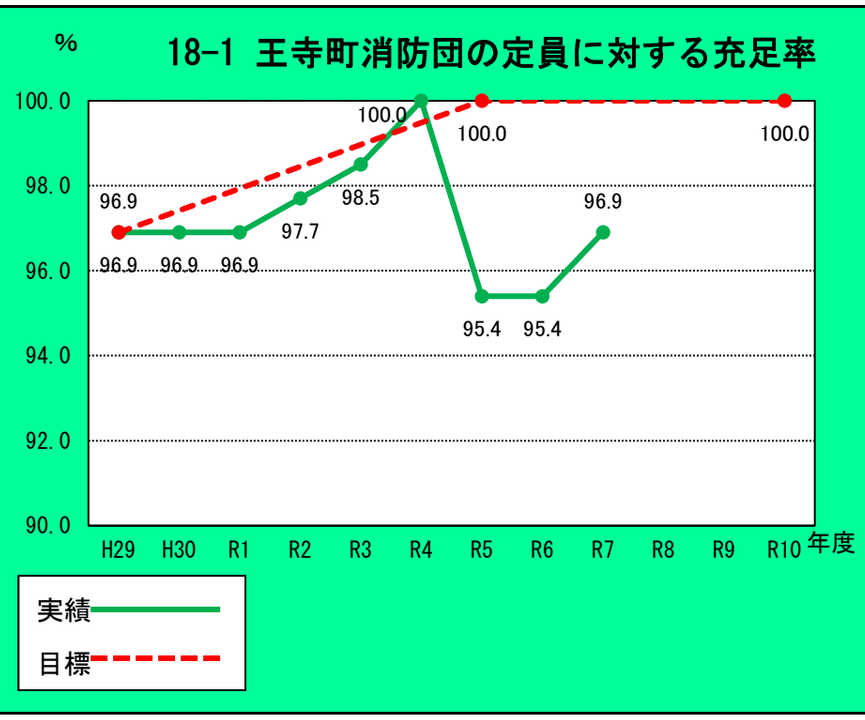
進捗状況

令和７年度に、避難行動要支援者名簿掲載者に対し、要支援者名簿及び個別避難計画の制度周知を実施した。
実際に支援が必要な方の把握を行ったうえで、対象者を絞り込み、自治会や防災会に対して個別に説明し、計画の作成を促進する。
また、災害リスクによる優先度の設定により、介護、医療的ケアが必要な方に対し、ケアマネージャーによる災害時ケアプランの策定を進めるとともに支援体制の確立を図る。

目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司

18-1 王寺町消防団の定員に対する充足率



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
96.9	→	96.9	0.0%	100.0
H29年度（2017）	0.0 %	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

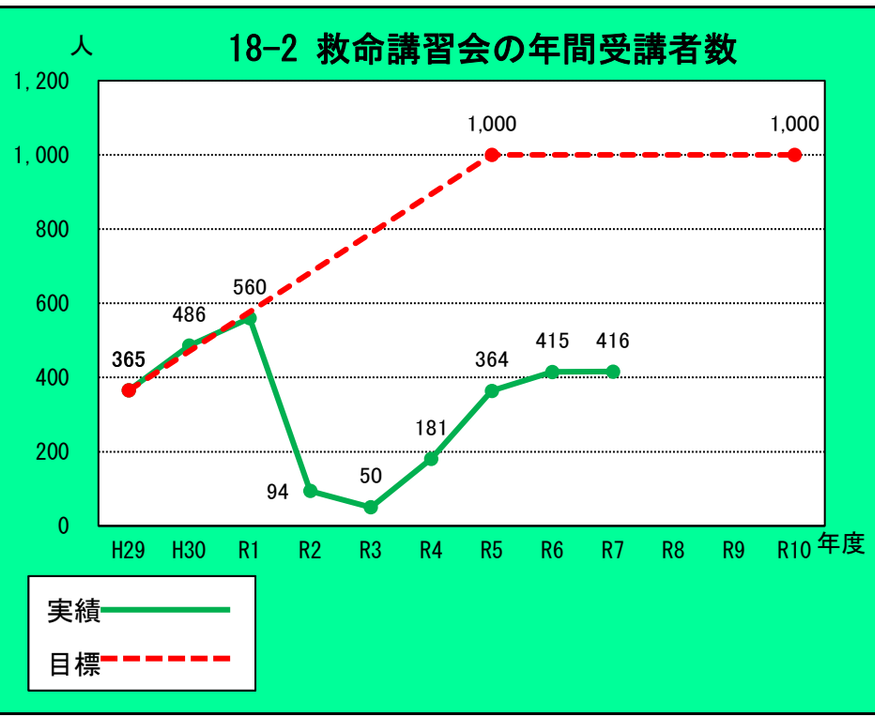
高い水準を保っている。
引き続き消防団員の確保に向けて、自治会、商工会、町内企業等に対し、協力を依頼していく。
また、消防団の活動について、SNSを活用し周知していく。

○消防団員の団員数
R3年4月　128人
R4年4月　130人
R5年4月　128人
R6年4月　125人
R7年5月　125人
R8年5月　126人

目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(8) 地域防災の充実
施策	(18) 消防・救急体制

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司

18-2 救命講習会の年間受講者数



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
365	↗	416	8.0%	1,000
H29年度（2017）	51 人	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

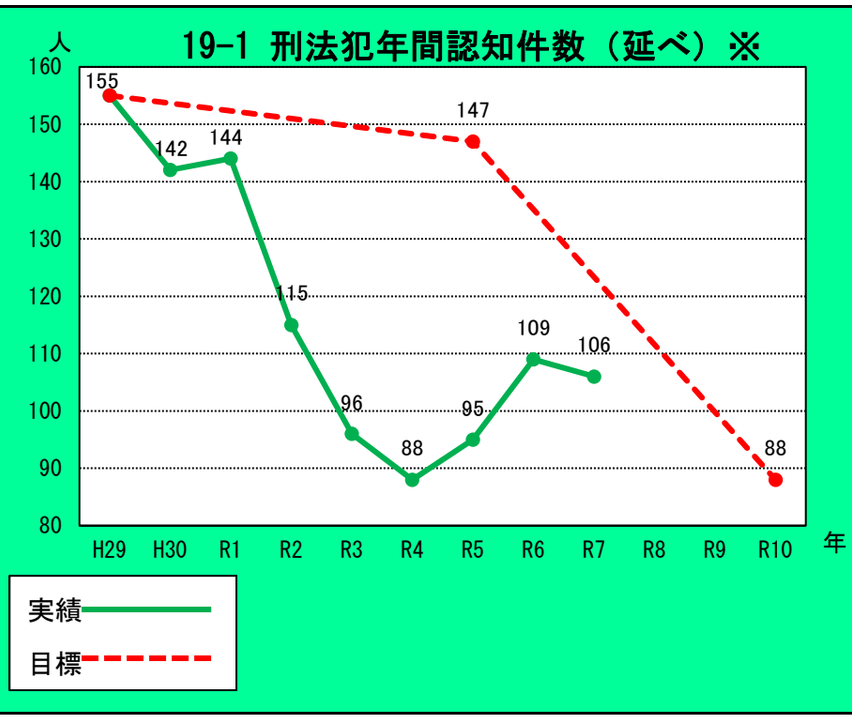
進捗状況

徐々にではあるが、受講者数がコロナ禍前まで回復してきている。
今後も、町職員を対象に実施していくなど消防署と協働して、講習受講の啓発を行い、受講者を増やしていく。

目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司

19-1 刑法犯年間認知件数（延べ）※



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
155	↘	106	73.1%	88
H29年（2017）	-49人	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

概ね横ばいの状態にある。多いものは「オートバイ・自転車盗難」であり引き続き警察との連携を強化し、防犯啓発活動を実施するとともに、犯罪抑止に効果的な防犯カメラの設置を推進する。

また特殊詐欺、ロマンス詐欺の被害が増加（2件→12件）しているためのぼりの設置などの啓発活動を続けるとともに、防犯電話の助成事業を継続し、未然に防ぐ対策を推進する。

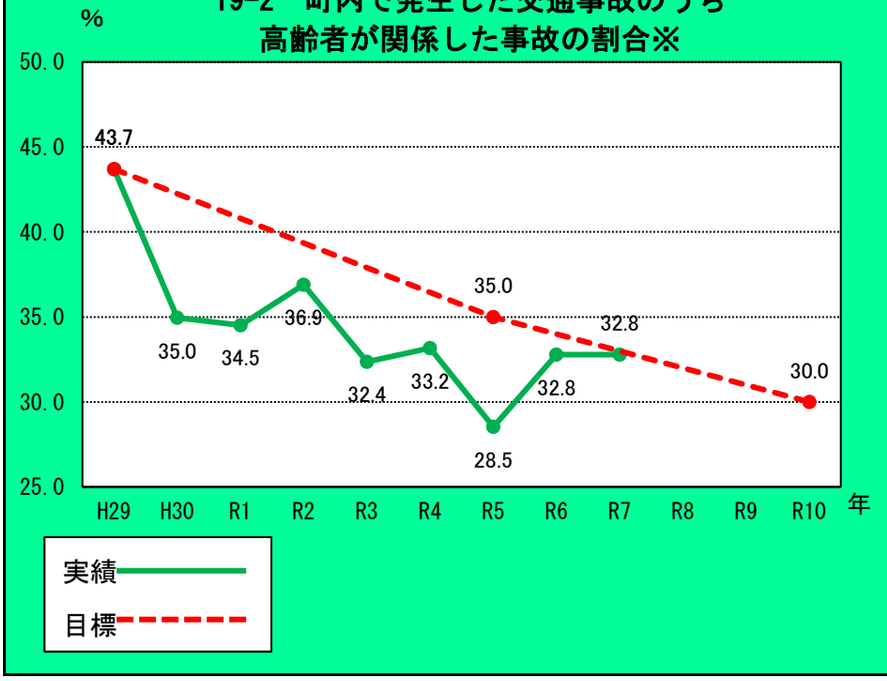
○防犯カメラ設置補助
R6年度　泉ヶ丘自治会（4か所）
R7年度　実績なし
○防犯電話設置補助
R6年度　21件
R7年度　22件

※は数値が低い方が良くなる指標です。

目標	3　安全で安心に暮らせるまちづくり
政策	(9) 日常生活の安全確保
施策	(19) 防犯・交通安全

担当部署・指標管理責任者
総務部 理事　藤本　忠司

19-2　町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合※



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
43.7	↘	32.8	79.7%	30.0
H29年（2017）	-10.9%	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

増加傾向にある。今後も、高齢者の交通事故件数を減少させるため、引き続き警察と連携し、交通安全団体による反射材クッズ配布等といった啓発活動や、主要幹線道路のカーブミラー清掃等を行う。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

４　健やかに暮らせるまちづくり

数値目標

４(1)　健康寿命（65 歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔男性〕
４(2)　健康寿命（65 歳の平均自立期間）の県内市町村における順位〔女性〕

ＫＰＩ

具体的施策２０　高齢者福祉

20-1　65 歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合
20-2　認知症サポーター養成講座年間受講者数

具体的施策２１　介護保険

21-1　各種介護予防教室の年間受講者数（延べ）
21-2　65 歳以上（介護保険第 1 号被保険者）の要支援・要介護認定者の割合

具体的施策２２　障がい者福祉

22-1　福祉施設における就労から一般就労への年間移行者数
22-2　障がいに関わる一般相談の件数
22-3　手話奉仕員登録者数

具体的施策２３　健康づくり

23-1　[マイアセスメント調査]1 日 30 分以上の運動・スポーツを週 2 回以上 1 年以上継続して実施している人の割合【男性】
23-1 補助指標　[特定健康診査]1 日 30 分以上の運動・スポーツを週 2 回以上 1 年以上継続して実施している人の割合【男性】
23-2　[マイアセスメント調査]1 日 30 分以上の運動・スポーツを週 2 回以上 1 年以上継続して実施している人の割合【女性】
23-2 補助指標　[特定健康診査]1 日 30 分以上の運動・スポーツを週 2 回以上 1 年以上継続して実施している人の割合【女性】
23-3　がん検診の受診率（胃）
23-4　がん検診の受診率（肺）
23-5　がん検診の受診率（大腸）
23-6　がん検診の受診率（子宮）
23-7　がん検診の受診率（乳）

具体的施策２４　地域福祉

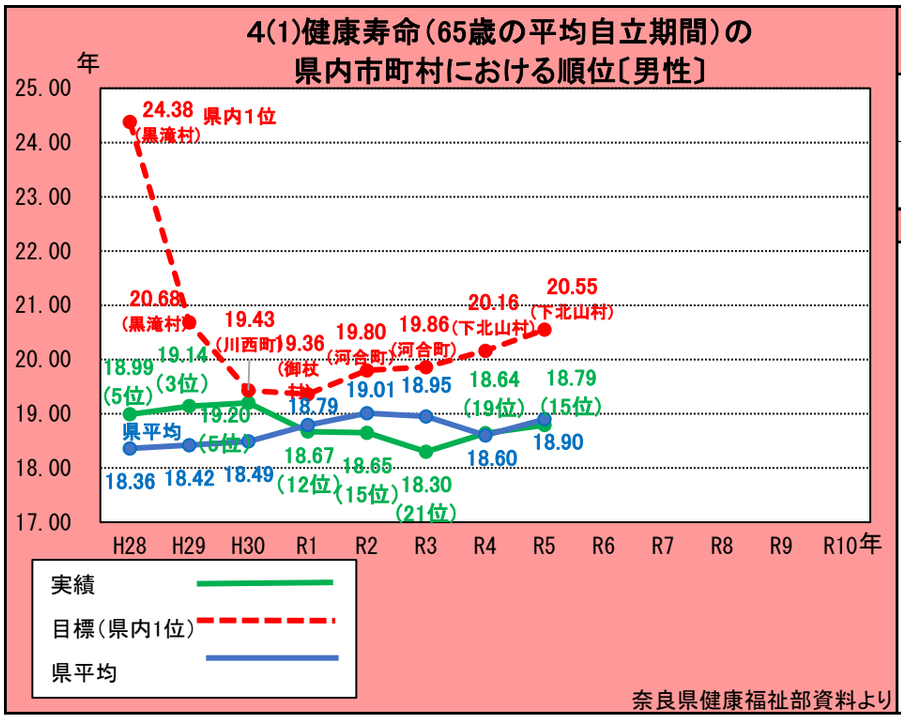
24-1　サロンの箇所数
24-1 補助指標　社協主催のサロン参加者数
24-2　介護(生活支援)ボランティア登録者数

具体的施策２５　国民健康保険

25-1　国民健康保険被保険者の年間１人当たり医療費
25-2　国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障がい者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長　増田　淳子



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
18.99 (5位)	↘	18.79 (15位)	—	県内1位
H28年度 (2016)	-0.69 年	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)

進捗状況

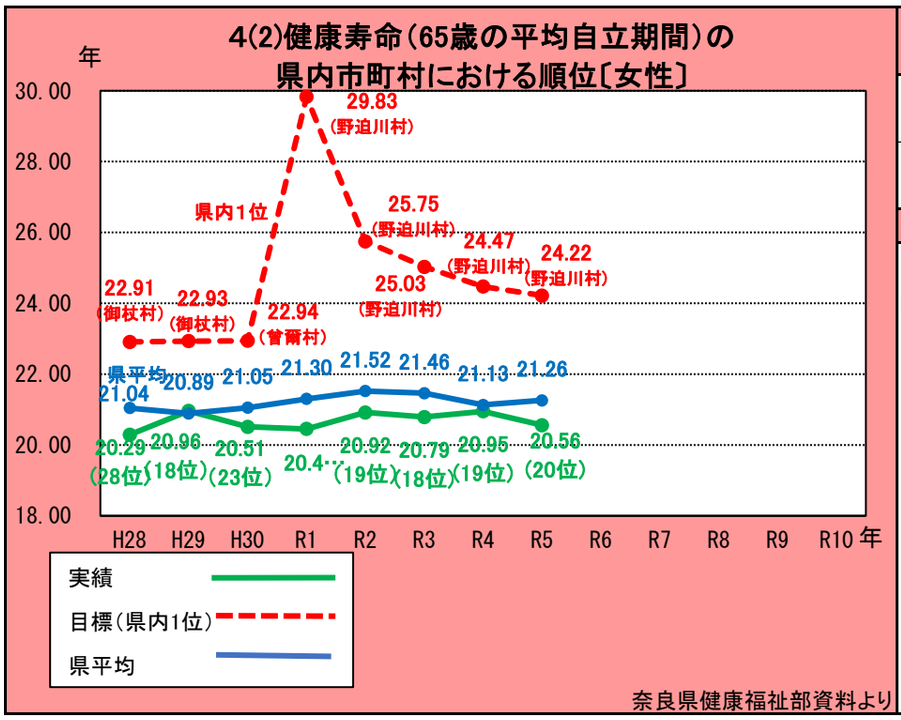
県平均は下回っているが、前年より順位（15位）・数値とも改善した。コロナ禍の外出控え等が改善されたことも影響しているものと考える。（R5年度：R4～R6年の3か年平均値で算出）

R5年度より開始した町健康ステーションで、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進している。また、R4年度よりヘルスアップ教室開催時に男性優先回を実施して男性も参加しやすい健康づくりの機会を確保している。

R8年度からは新たに策定された第５次王寺町健康づくり計画に基づき、これまでの取り組みに加えて親子イベント開催や肺がんの講演会、健康ステーションの充実等を行い、健康寿命の延伸を目指していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
	健康寿命奈良県一を目標に、高齢者、障がい者を含む誰もが健やかに暮らせる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長　増田　淳子



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
20.29 (28位)	↗	20.56 (20位)	—	県内1位
H28年度 (2016)	0.50 年	R5年度 (2023)	5/10 年目	R10年度 (2028)

進捗状況

前年より数値も順位も下がった。（R5年度：R3～R5年の3か年平均値で算出）

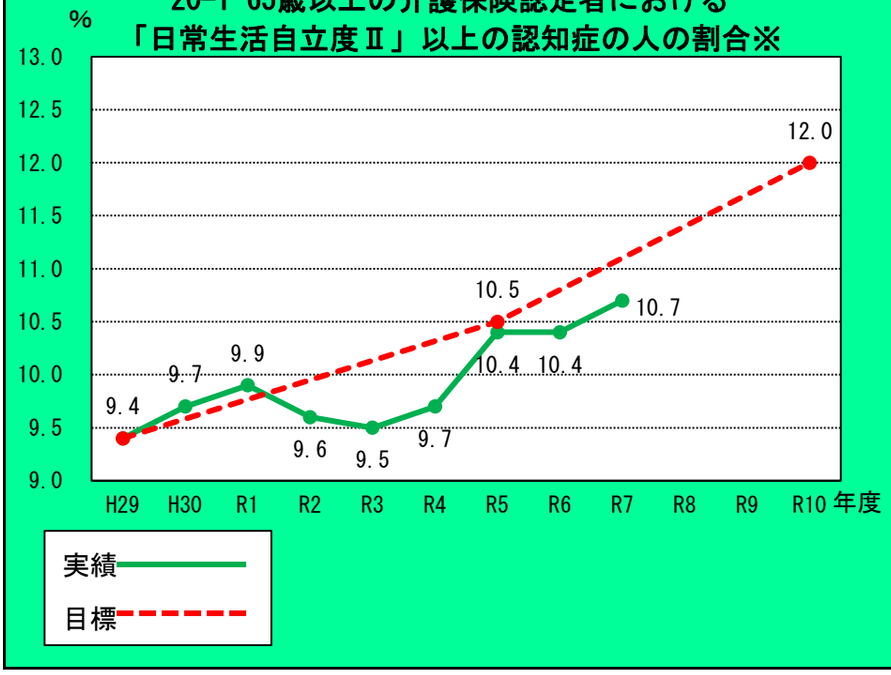
R5年度より開始した町健康ステーションで、引き続きおでかけ健康法や活動量計を利用した「歩く健康法」を推進している。今後も健康ステーションや健康サロン等で、自宅や日常生活で簡単に取り組むことができる運動を紹介するなど支援していく。

R8年度からは新たに策定された第５次王寺町健康づくり計画に基づき、これまでの取り組みに加えて親子イベント開催や肺がんの講演会、健康ステーションの充実等を行い、健康寿命の延伸を目指していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10)高齢者支援の充実
具体的施策	(20)高齢者福祉

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　福祉介護課 課長　安川　彰子

20-1 65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合※



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
9.4	↗	10.7	112.1%	12.0
H29年度(2017)	1.3%	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

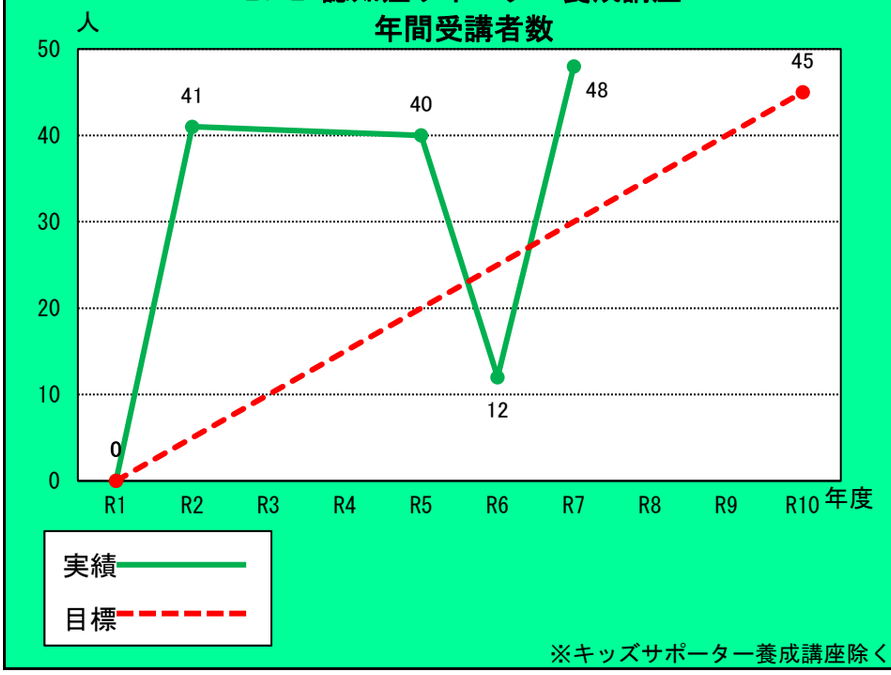
65歳以上の介護保険認定者のうち「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合は、前年度より0.3ポイント増加した。
対策として、引き続き、介護予防教室や認知症カフェを開催するとともに、サロンなどの「通いの場」に専門職を派遣するなど、認知症に関する相談も併せて行っていく。
また、認知症の人が行方不明になった場合に早期発見につながる「QRコードシールの配布」(携帯電話で読み取ると西和警察署等の連絡先が表示される)の利用促進を図りながら、R8年度では、新たに「認知症高齢者等個人賠償責任保険事業」を開始し、偶発的な事故等により、法律上の損害賠償責任を負ってしまった場合に、保険金額を上限に補償することで認知症の人とその家族が地域で安心して暮らすことができるよう取り組んでいく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10)高齢者支援の充実
具体的施策	(20)高齢者福祉

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　福祉介護課 課長　安川　彰子

20-2 認知症サポーター養成講座年間受講者数



※キッズサポーター養成講座除く

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↗	48	106.7%	45
R1年度(2019)	48人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

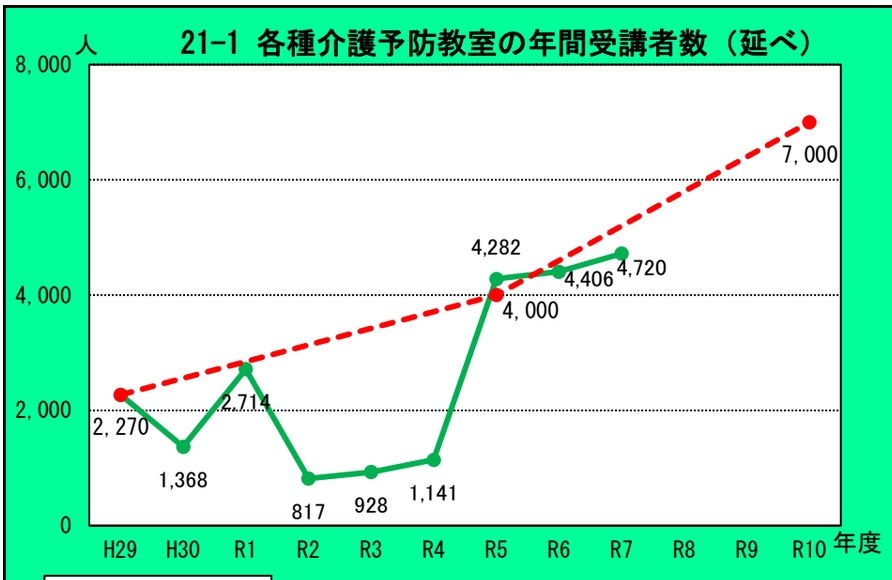
進捗状況

各種団体からの依頼や「認知症カフェ」において、認知症サポーター養成講座を開催した。R7年度は各種団体からの依頼もあり、年間受講者数(修了者数)はR6年度より大幅に増加した。
今後も各種団体への呼びかけや王伸・LINE等で、広報を工夫し、受講者数の増加を図る。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10)高齢者支援の充実
具体的施策	(21)介護保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　福祉介護課 課長　安川　彰子

21-1 各種介護予防教室の年間受講者数（延べ）



介護予防のため実施している各種教室等(認知症・介護予防出前講座、特別養護老人ホームの地域交流スペースを利用した体操教室等)の年間延べ参加者数

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
2,270	↗	4,720	51.8%	7,000
H29年度(2017)	2,450人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

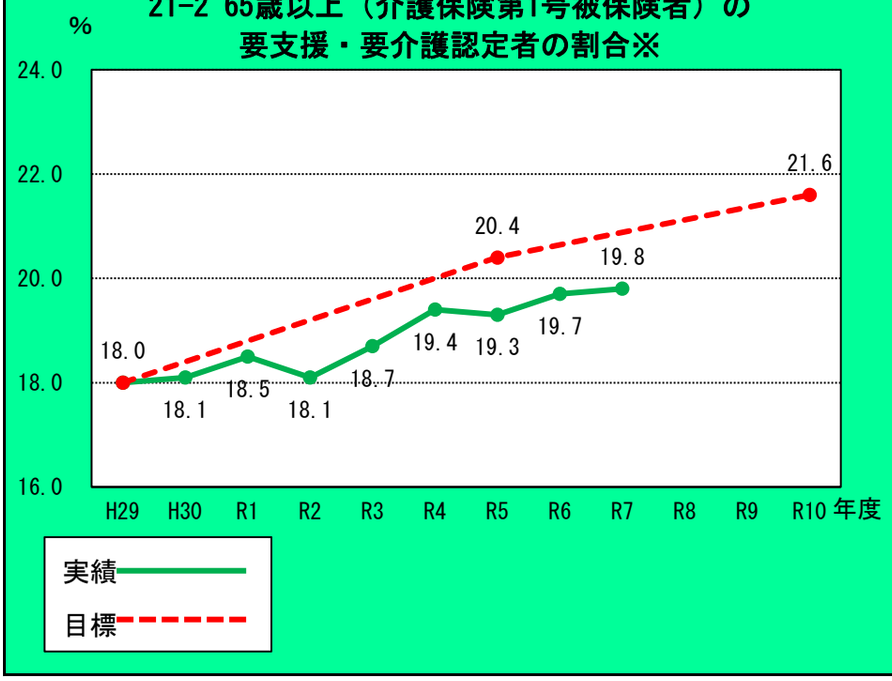
進捗状況

R7年度は、介護施設等町内3か所での介護予防教室の開催や出前講座等積極的に取り組んだ結果、前年度の年間延べ受講者数より314人増加した。R8年度は、引き続き既存の事業を推進しながら、受講者数の更なる増加を図る。また、一方で、将来の介護予防事業を見据えた新たな事業も検討していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(10)高齢者支援の充実
具体的施策	(21)介護保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　福祉介護課 課長　安川　彰子

21-2 65歳以上（介護保険第1号被保険者）の要支援・要介護認定者の割合※



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
18.0	↗	**19.8**	109.1%	21.6
H29年度(2017)	1.8%	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

要支援・要介護認定者の割合は、前年度より0.1ポイント増加した。

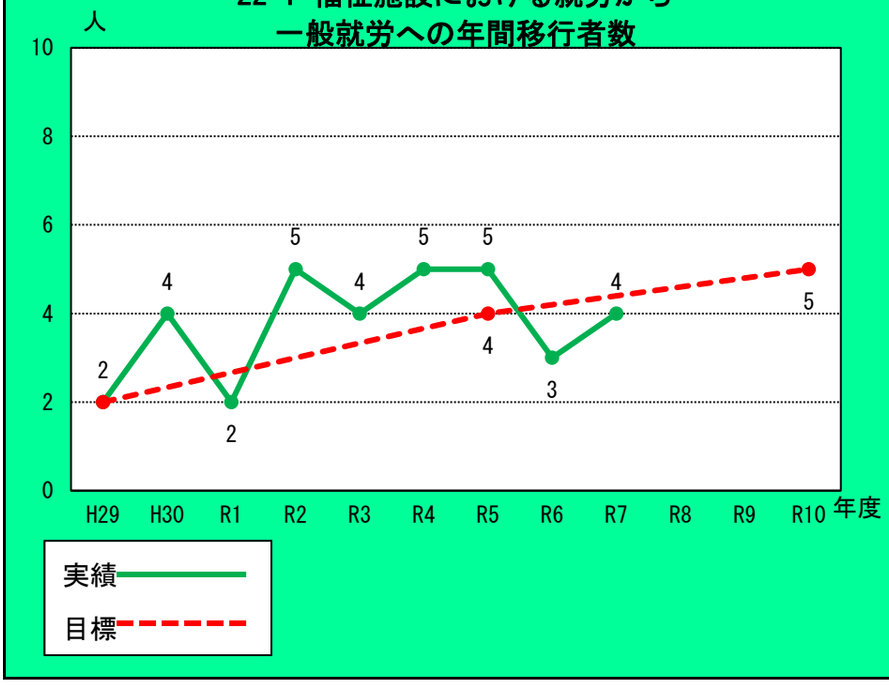
R5年度に全国の大学や国立研究所等の研究者が集う日本老年学的評価研究機構(JAGES)に、王寺町の介護予防事業の効果測定を依頼したところ、介護予防教室等で実施している専門職によるエビデンスに基づいた体操が効果的であるとされたことから、R7年度においても、介護予防教室をリニューアルし、多くの高齢者が教室に参加していただけるよう取り組んだ。今後も介護予防教室の体操プログラムを工夫するなど、要支援・要介護認定者が増加しないように取り組んでいく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　福祉介護課 課長　安川　彰子

22-1 福祉施設における就労から一般就労への年間移行者数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
2	↗	4	66.7%	5
H29年度(2017)	2人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

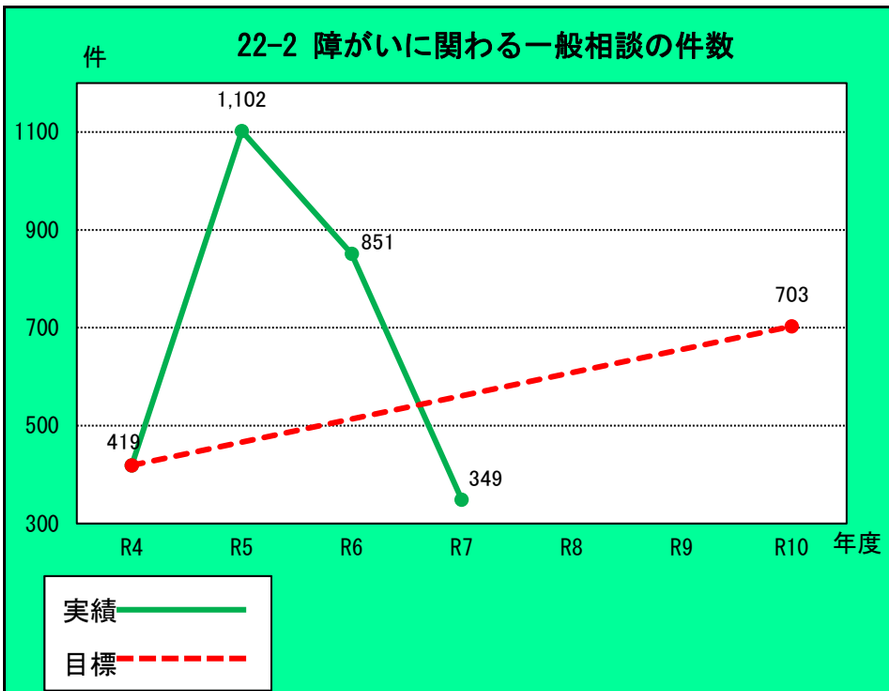
進捗状況

R7年度はR6年度より1人増加したが、今後も、窓口や電話等で障がい者本人の意向や能力を把握し、その人に応じた障がい者支援事業所への接続や、ハローワーク等との連携により、一般就労への移行者数の増加を図る。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　福祉介護課 課長　安川　彰子

22-2 障がいに関わる一般相談の件数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
419	↘	349	-24.6%	703
R4年度(2022)	-70件	R7年度(2025)	2/5年目	R10年度(2028)

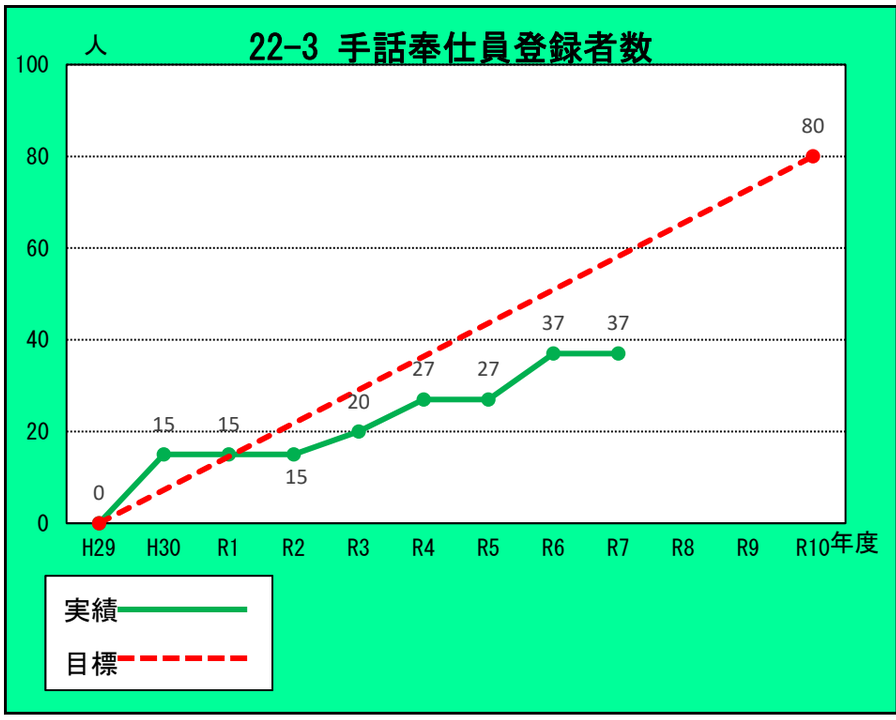
進捗状況

一般相談は下記の2法人に委託して実施しているが、R7年度の相談件数は349件と前年度より502件減少した。
その主な要因は、特定の相談利用者が別サービスに移行したことにより、生活上の不安についての頻繁な電話相談の件数が減少したことが挙げられる。
○電話相談件数
732件(R6)→217件（R7）　前年度比▲515件

今後も相談を受ける事業者との情報連携を密にし、障がいのある人のニーズに応じたサービスの案内を行っていく。
＜障がい者一般相談事業 委託先＞
「おはな」(上牧町内)
社会福祉法人 在友会 ⇒身体・知的
「ぽると・ベル」(斑鳩町内)
社会福祉法人 萌 ⇒精神

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(11)障がい者支援の充実
具体的施策	(22)障がい者福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長　坂本　晃之



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↗	37	46.3%	80
H29年度(2017)	37人	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

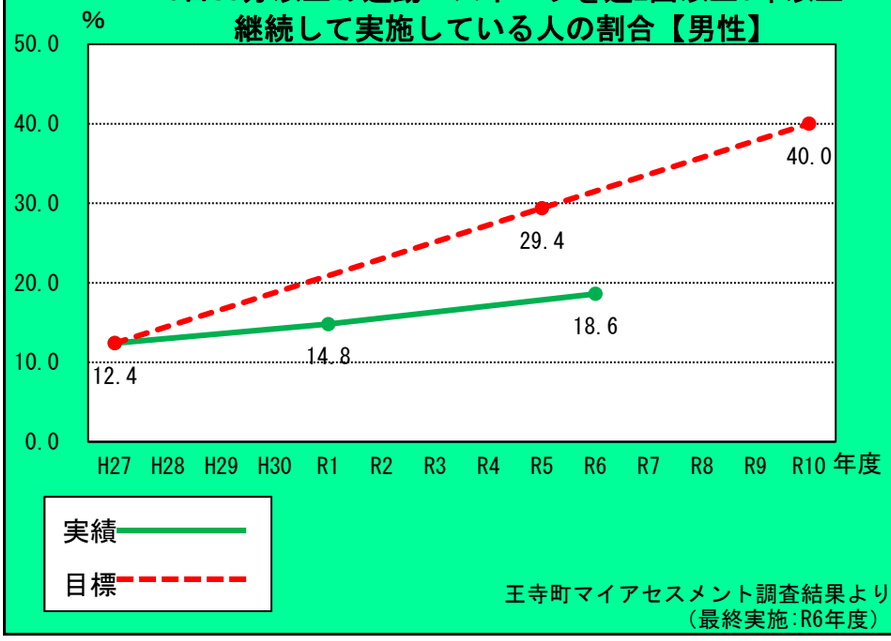
進捗状況

○手話奉仕員養成講座の実施
　R4年度から土曜日に開講し、現役世代も含めた登録者の増加を行った。R8年度は基礎編を開講し登録者の増加を図る。
○実績
　H29年度(入門編)　17名
　H30年度(基礎編)　15名【登録】
　R1年度(入門編)　8名
　R2年度(基礎編)　休講
　R3年度(入門編)　11名
　　(基礎編)　5名【登録】
　R4年度(基礎編)　7名【登録】
　R5年度(入門編)　12名
　R6年度(基礎編)　10名【登録】
　R7年度(入門編)　3名
※入門編修了者が基礎編を受講可
※数値誤りのため実績値を修正

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-1［マイアセスメント調査］
1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】



王寺町マイアセスメント調査結果より
（最終実施:R6年度）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
12.4	↗	18.6	22.5%	40.0
H27年度（2015）	6.2 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

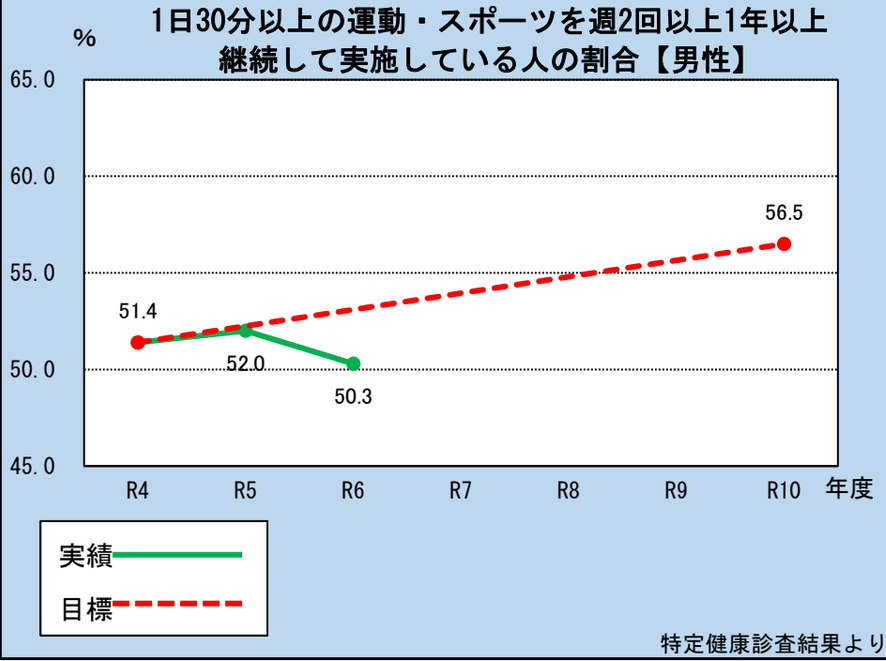
進捗状況

運動習慣のある男性の割合は増加傾向にある。活動量計の販売やウォーキングロードの整備など歩く健康づくり施策も功を奏したと考えられる。
歩く健康づくりの一つとして、ウォーキングアプリだけでなく健康ポイントを含めたアプリの導入を検討してきた。アプリの導入については、「行政のデジタル化」のひとつとして庁内ワーキンググループ(DX推進室・政策推進課・地域交流課・保健センター)を立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨導入するシステムを検討したが事業実施までは至っていない。R5年度からは、DX推進に関するワーキンググループに参加し、利用可能なツールの運用情報等の情報収集を行っている。
引き続き、DX推進室と連携し、利用可能なツールの情報収集を行う。また、R8年度からは新たに策定された第５次王寺町健康づくり計画に基づき、これまでの取り組みに加えて親子イベントを開催するなど、さらに運動を推進していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-1補助指標［特定健康診査］
1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】



特定健康診査結果より

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
51.4	↗	50.3	-21.6%	56.5
R4年度（2022）	-1.1 %	R6年度（2024）	1/5 年目	R10年度（2028）

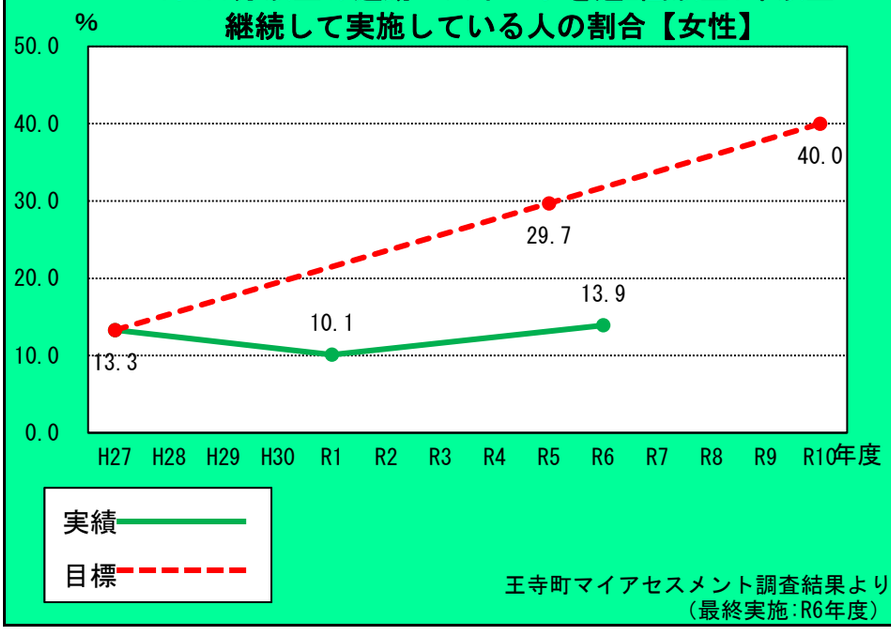
進捗状況

運動習慣のある男性の割合はR6年度はR5年度より減少した。
運動をするきっかけづくりになるように、健康ポイント事業やヘルスアップ教室、王寺町健康ステーションについて広報や各種保健事業等で参加を呼びかけていく。ヘルスアップ教室では、今後も男性優先日を設ける等、男性が参加しやすい環境づくりに務めていく。
また、R8年度からは新たに策定された第５次王寺町健康づくり計画に基づき、これまでの取り組みに加えて親子イベントを開催するなど、さらに運動を推進していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-2［マイアセスメント調査］
1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】



王寺町マイアセスメント調査結果より
（最終実施:R6年度）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
13.3	↗	13.9	2.2%	40.0
H29年度（2017）	0.6 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

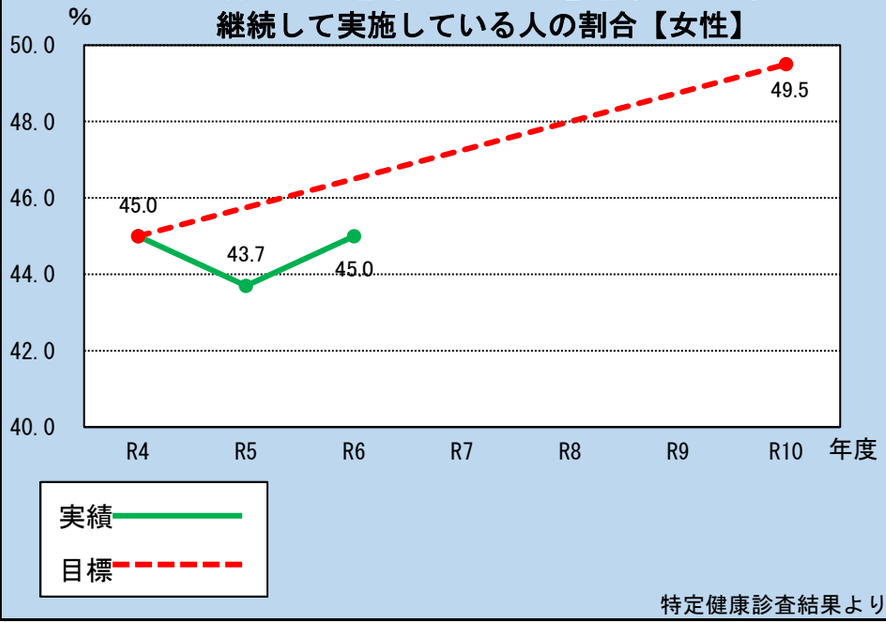
進捗状況

運動習慣のある女性の割合は、男性より低く、減少傾向にあったが、R6年度では増加している。
歩く健康づくりの一つとして、ウォーキングアプリだけでなく健康ポイントを含めたアプリの導入を検討してきた。アプリの導入については、「行政のデジタル化」のひとつとして庁内ワーキンググループ（DX推進室・政策推進課・地域交流課・保健センター）を立ち上げ、自治体マイナポイントとデジタル地域通貨導入するシステムを検討したが事業実施までは至っていない。R5年度からは、DX推進に関するワーキンググループに参加し、利用可能なツールの運用情報等の情報収集を行っている。
引き続き、DX推進に関するワーキンググループと連携し、利用可能なツールの情報収集を行う
また、R8年度からは新たに策定された第５次王寺町健康づくり計画に基づき、これまでの取り組みに加えて親子イベントを開催するなど、さらに運動を推進していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-2補助指標［特定健康診査］
1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】



特定健康診査結果より

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
45.0	→	45.0	0.0%	49.5
R4年度（2022）	0.0 %	R6年度（2024）	1/5 年目	R10年度（2028）

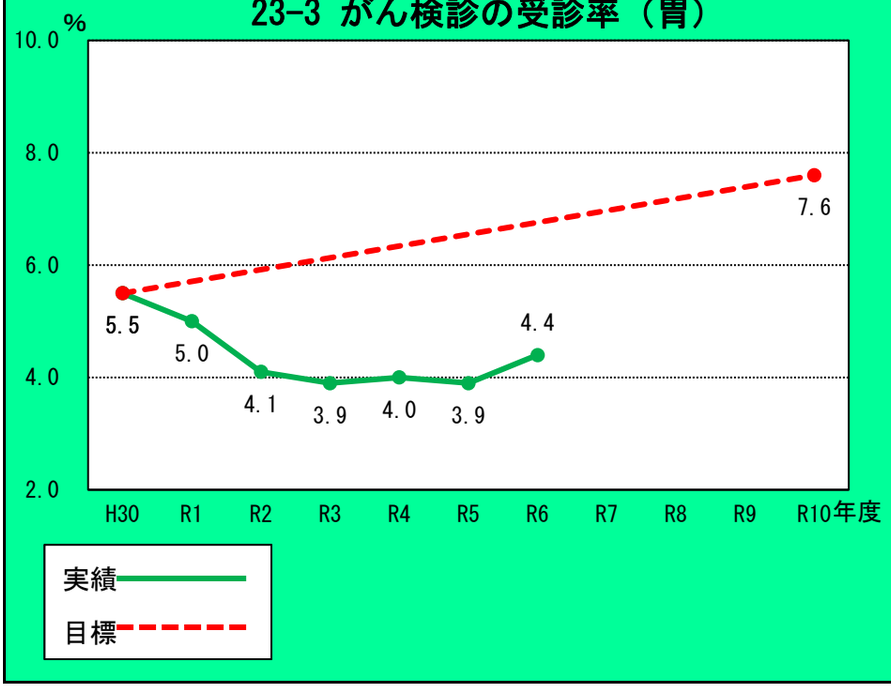
進捗状況

運動習慣のある女性の割合は、R5年度に減少したが、R6年度は増加している。
R10年度の目標達成に向けて、運動をするきっかけづくりになるように、健康ポイント事業やヘルスアップ教室、王寺町健康ステーションについての広報や各種保健事業等で参加を呼びかけていく。
また、R8年度からは新たに策定された第５次王寺町健康づくり計画に基づき、これまでの取り組みに加えて親子イベントを開催するなど、さらに運動を推進していく。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-3 がん検診の受診率（胃）



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
5.5	↘	4.4	-52.4%	7.6
H30年度（2018）	-1.1 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

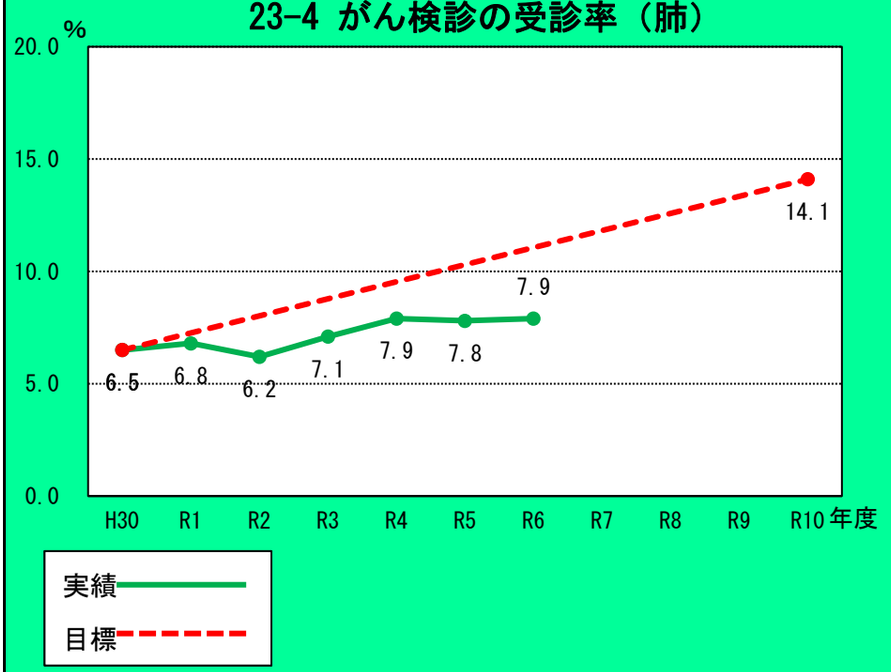
受診率は減少傾向にあったが、R2年度から横ばい傾向となり、R6年度は増加している。
H29年度より胃がん検診に胃カメラが追加され、バリウム又は胃カメラを選択できるようになり、どちらも身体的負担が大きいことやR2年度からR5年度まではコロナ禍からの受診控えの影響もあり、受診率が低いことが考えられる。また、胃カメラを受けると次年度はバリウムも胃カメラも受けることができないことも理由と考えられる。
R6年度は、コロナ禍からの影響もなくなり、受診率が回復していると考えられる。
今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。

※受診率＝(町検診前年度受診者+当該年度受診者-前年度・当該年度の2年連続受診者)/当該年度の40歳以上の住民×100
※参考:R5年度県平均…4.4%

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-4 がん検診の受診率（肺）



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
6.5	↗	7.9	18.4%	14.1
H30年度（2018）	1.4 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

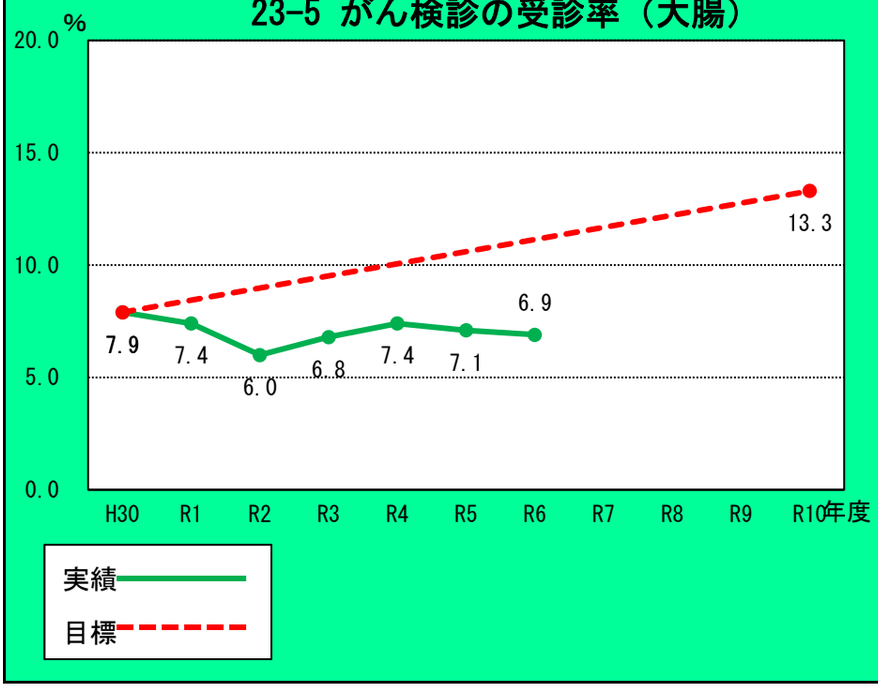
受診率はR4年度～R6年度はほぼ横ばいとなっているが、H30年度からは増加傾向にある。
その理由として、H30年度から肺がん健診のコールリコール事業を実施していることが一因と考える。王寺町の死因第1位は悪性新生物で、中でも「気管、気管支及び肺」が最も多いため対象としている。(出典：第5次王寺町健康づくり計画)
R8年度は肺がんに関する講演会も予定しており、今後も生活習慣病予防やがん検診に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。

※受診率＝町検診受診者/40歳以上の住民×100
※参考:R5年度県平均…4.4%

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-5 がん検診の受診率（大腸）



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
7.9	↘	6.9	-18.5%	13.3
H30年度（2018）	-1.0 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

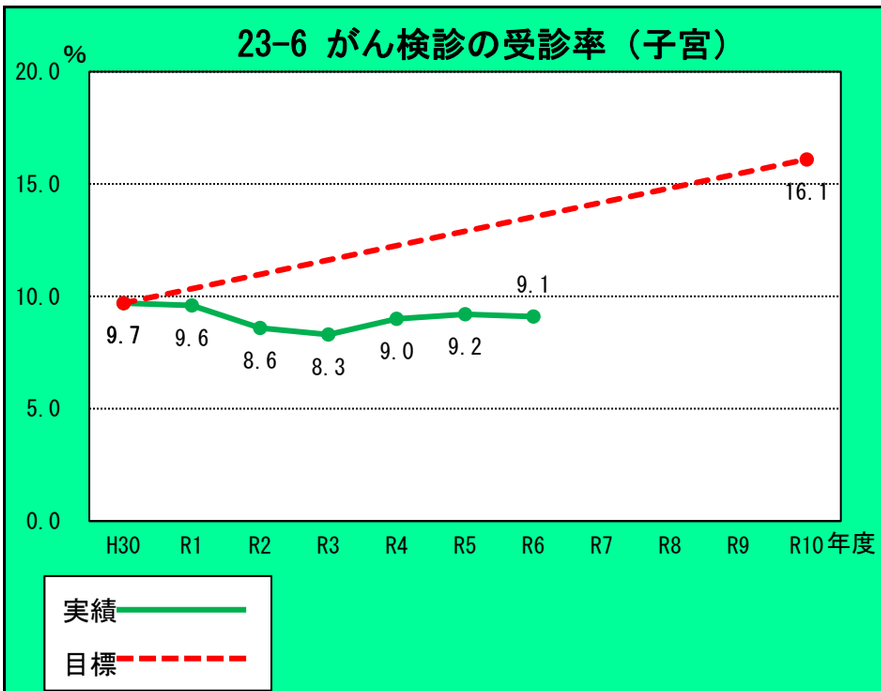
受診率はR2年度までは減少傾向となっているが、その後回復したものの、R4年度からは再度微減傾向にある。
今後も生活習慣病予防に関する普及啓発や受診勧奨を継続する。

※受診率＝町検診受診者/40歳以上の住民×100
※参考:R5年度県平均…9.2%

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-6 がん検診の受診率（子宮）



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
9.7	↘	9.1	-9.4%	16.1
H30年度（2018）	-0.6 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

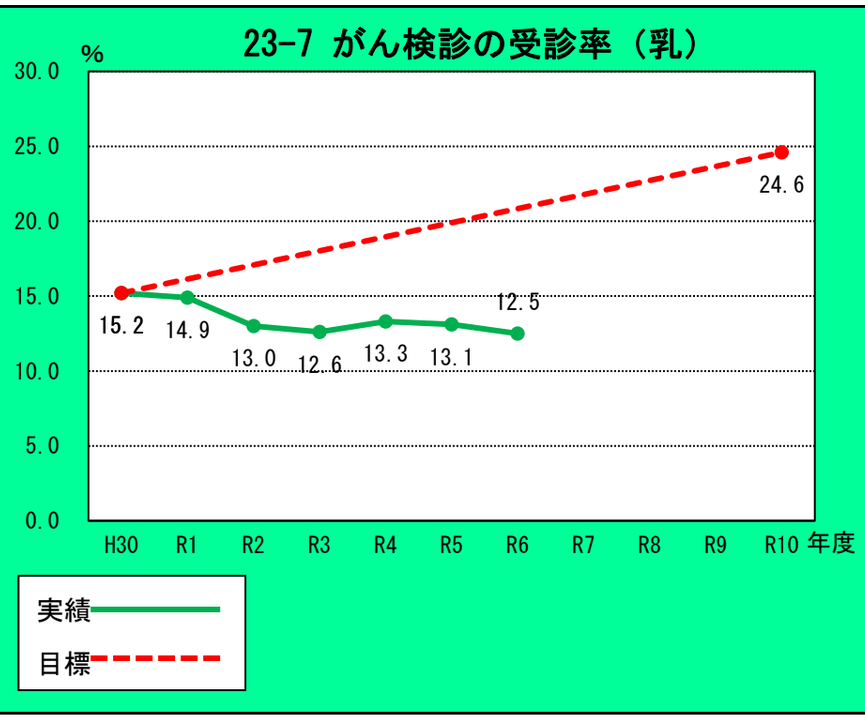
受診率は減少傾向となっていたが、R4年度以降は横ばいで推移している。R2年度、R3年度の減少傾向だった理由としては、コロナ禍での受診控えが考えられるが、コロナ後もコロナ前の受診率までには回復できていない。受診率が増加するように、広報等を行い受診勧奨を継続する。

※受診率＝(町検診前年度受診者+当該年度受診者-前年度・当該年度の2年連続受診者)/当該年度の20歳以上の女性×100
※参考:R5年度県平均…10.9%

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(12)健康づくりの推進
具体的施策	(23)健康づくり

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

23-7 がん検診の受診率（乳）



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
15.2	↘	12.5	-28.7%	24.6
H30年度（2018）	-2.7 %	R6年度（2024）	6/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

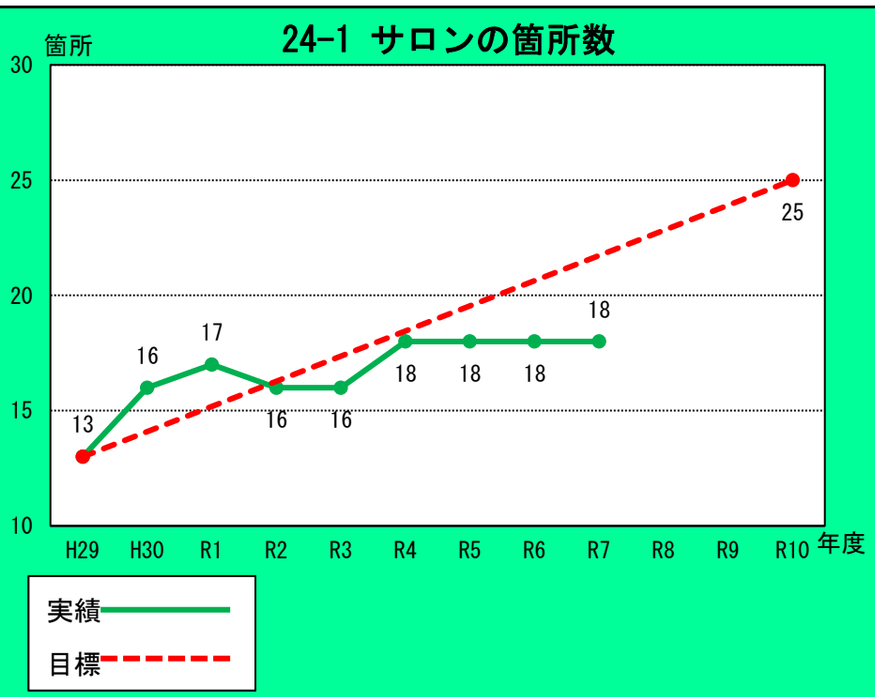
受診率はR2年度からは増減を繰り返し横ばいとなっている。R2年度の受診率の急な減少は、コロナ禍での受診控えが考えられるが、コロナ後もコロナ前の受診率までには回復できていない。受診率が増加するように、広報等を行い受診勧奨を継続する。

※受診率＝(町検診前年度受診者+当該年度受診者-前年度・当該年度の2年連続受診者)/当該年度の40歳以上の女性×100
※参考:R5年度県平均…11.7%

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13)地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24)地域福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長　坂本　晃之

24-1 サロンの箇所数



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
13	↗	18	41.7%	25
H29年度（2017）	5 箇所	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

R7年度のサロンでは、新規開設が1か所、閉所が1か所あった。R5以前は、コロナ禍により活動自粛していたサロンが複数あったが、代表者意見交換会での情報共有をきっかけに感染対策をとりながら活動を再開されたサロンが多くあった。

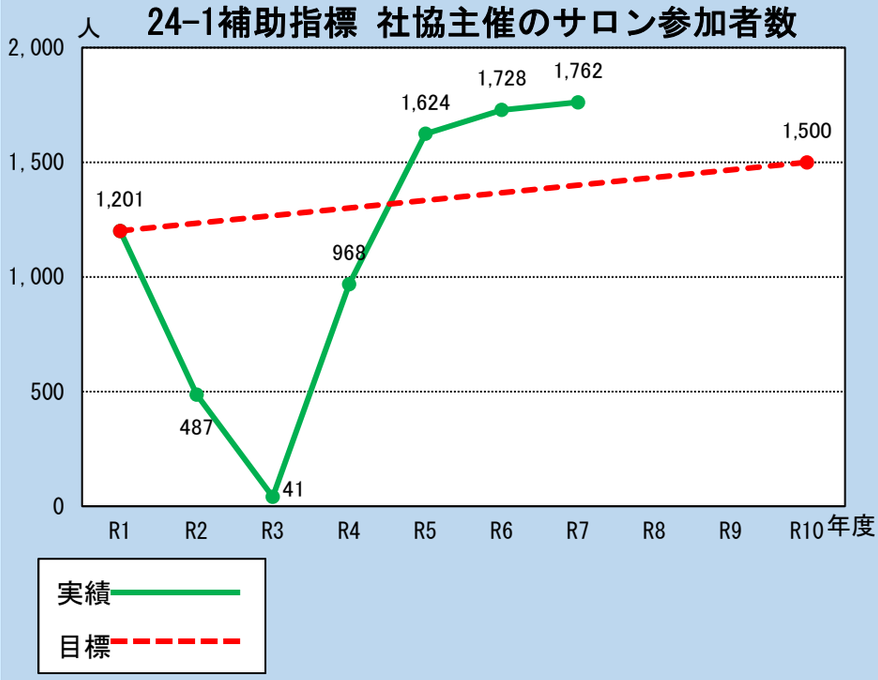
今後、より一層活性化させていくために、サロン活動の目的や補助制度について各種団体へ周知を行っていく。

また、自治会単位のみではなく地区単位での開催を促進するとともに、担い手の育成支援を実施し目標達成を目指す。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13)地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24)地域福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長　坂本　晃之

24-1補助指標 社協主催のサロン参加者数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
1,201	↗	1,762	187.6%	1,500
R1年度(2019)	561人	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

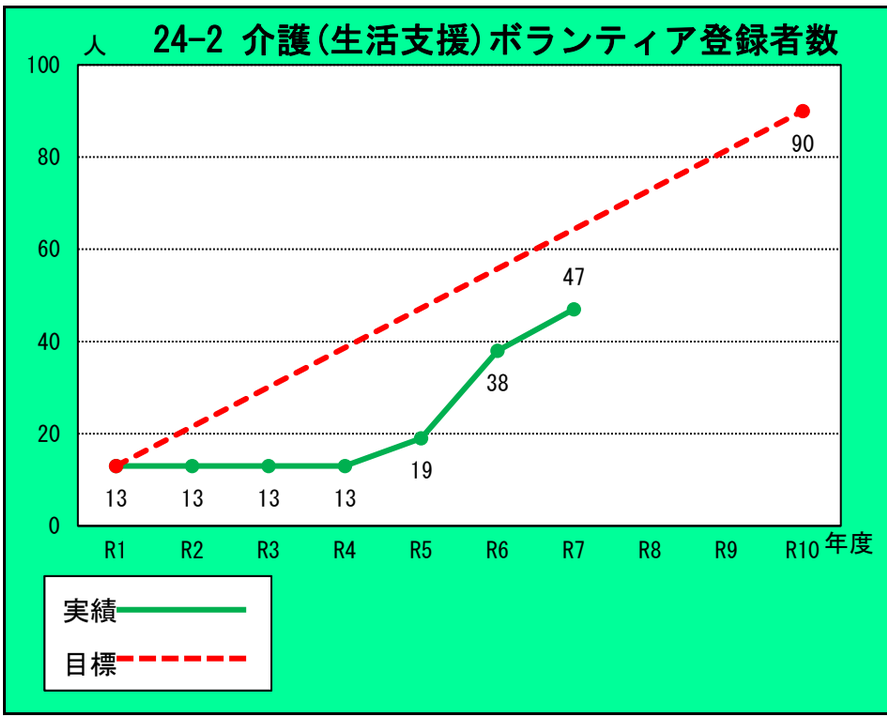
○社協主催サロン（サロンやすらぎ）の参加者数
　R1年度　1,201人　R2年度　487人
　R3年度　41人　R4年度　968人
　R5年度　1,628人　R6年度　1,728人
　R7年度　1,762人

○参考：サロン活動参加者数(延べ)
　H29年度 5,818人　H30年度 5,550人
　R1年度　5,482人　R2年度　1,056人※
　R3年度　495人※　R4年度　2,624人
　R5年度　4,856人　R6年度　4,762人
　R7年度　5,529人
※コロナ禍に伴い、R2年度は8箇所(半年間)、R3年度は5個所の開催であった。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13)地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(24)地域福祉

担当部署・指標管理責任者
社会福祉協議会 課長　坂本　晃之

24-2 介護(生活支援)ボランティア登録者数



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
13	↗	47	44.2%	90
R1年度(2019)	34人	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

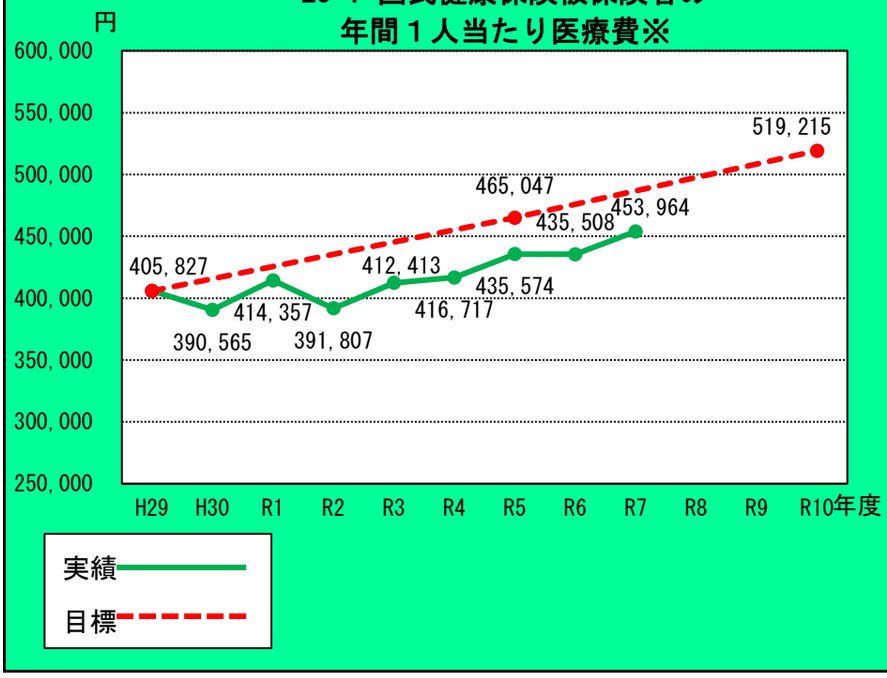
進捗状況

介護(生活支援ボランティア)養成講座は、R2～4年度はコロナ禍により休講したが、R5年度から再開し、R5年度に6名の参加があった。
R6年度には傾聴ボランティア入門講座を実施し、19名が受講された。
R7年度も、傾聴ボランティア入門講座を実施し、15名受講中9名が修了された。R8年度も継続して開講予定。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13)地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(25)国民健康保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　国保健康推進課 課長　大崎　真由美

25-1 国民健康保険被保険者の年間１人当たり医療費※



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
405,827	↗	453,964	114.4%	519,215
H29年度(2017)	48,137円	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

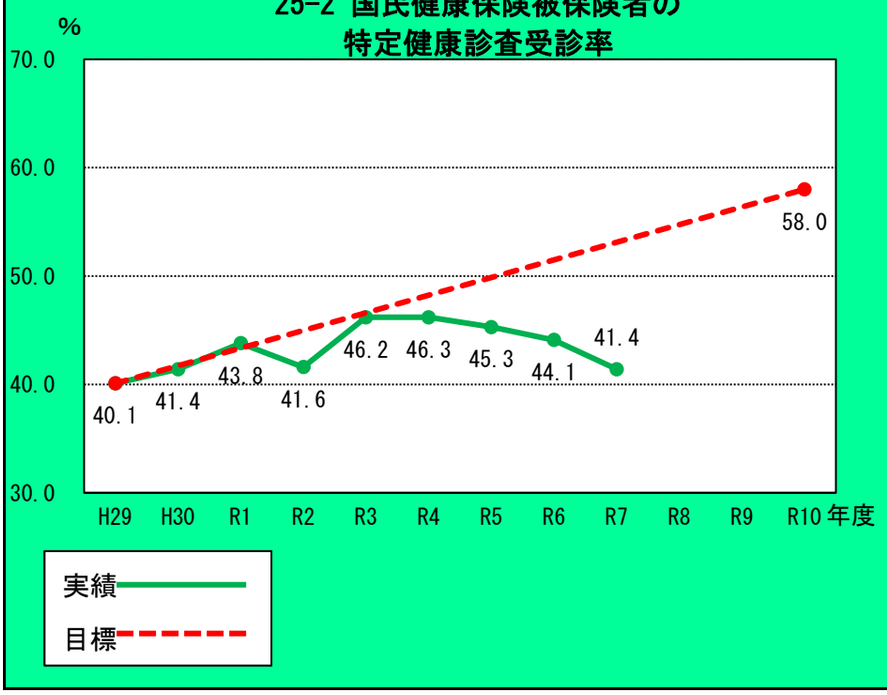
国民健康保険被保険者の年間1人当たりの医療費は、昨年度より4.24%増加した。
引き続き第3期データヘルス計画の期間(R6～R11年度の6年間)において、糖尿病性腎症重症化予防事業やジェネリック医薬品の利用促進、重複・多剤投薬者への注意喚起を継続して実施することで、被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化を図っていく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	4　健やかに暮らせるまちづくり
基本的方向	(13)地域で支え合うまちづくり
具体的施策	(25)国民健康保険

担当部署・指標管理責任者
住民福祉部　国保健康推進課 課長　大崎　真由美

25-2 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
40.1	↗	41.4	7.3%	58.0
H29年度(2017)	1.3%	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

R7年度の受診率(暫定値)は41.4%で、前年度同時期の暫定値と比較して、2.2ポイント減少した。R2年度のコロナ禍での受診控えからR3年度に回復し上昇がみられたが、R5年度からは減少傾向となっている。大きな要因は、受診率の高い高齢の被保険者が後期高齢者医療へ移行したことにあるが、若年層の受診率向上も課題である。
R6年度からは、人間ドック費用の一部助成の対象年齢を40歳以上から35歳以上に引き下げ、助成額を拡大した。(補助率1/2→10/10、上限2万円。※35歳から70歳までの5歳刻みでの節目年齢の方は上限3万円)
今後も受診勧奨やＰＲを強化し、受診率向上に努めていく。

５　人を育みみんなが学べるまちづくり

数値目標

５(1)　合計特殊出生率

ＫＰＩ

具体的施策２６　子育て支援

26-1　子育て広場の年間利用者数(延べ)
26-2 補助指標「日常の育児の相談相手」がいない保護者の割合【乳幼児健診】
26-3　「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【義務教育学校 1～6 年生(小学生)児童を持つ保護者】

具体的施策２７　母子保健

27-1　王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【４か月児の親】
27-2　王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【３歳６か月児の親】
27-3　夜 10 時までに寝る生活リズムを持つ１歳６か月児の割合

具体的施策２８　保育環境

28-1　保育園入所待機児童数
28-2　保育サービスに関する満足度
28-2 補助指標 保育サービスに関する満足度【３歳６か月児健診時アンケート】

具体的施策２９　就学前教育

29-1　「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合
29-2　「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合

具体的施策３０　学校教育

30-1　全国学力・学習状況調査(９年生(中３))平均正答率【国語】
30-2 全国学力・学習状況調査(９年生(中３))平均正答率【数学】
30-3　全国学力・学習状況調査(９年生(中３))平均正答率【英語】
30-3 補助指標　総合学力調査(９年生(中３))IRT 平均到達スコア【英語】
30-4　全国学力・学習状況調査(９年生(中３))の「規範意識」
30-5　全国体力・運動能力、運動習慣等調査(８年生(中２))における平均点【男子】
30-6　全国体力・運動能力、運動習慣等調査(８年生(中２))における平均点【女子】

具体的施策３１　生涯学習

31-1　生涯学習施設の利用者数
31-2　住民１人当たりの 図書貸出冊数

具体的施策３２　青少年健全育成

32-1　青少年リーダー（中高生）の登録者数
32-2　地域の行事に参加している６年生の割合
32-3　地域の行事に参加している９年生の割合

具体的施策３３　文化財

33-1　国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数
33-2　観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数

具体的施策３４　芸術・文化活動

34-1　町主催の文化事業の来場者数
34-2　「音楽のあるまちづくり」団体加入者数

具体的施策３５　スポーツ・レクリエーション

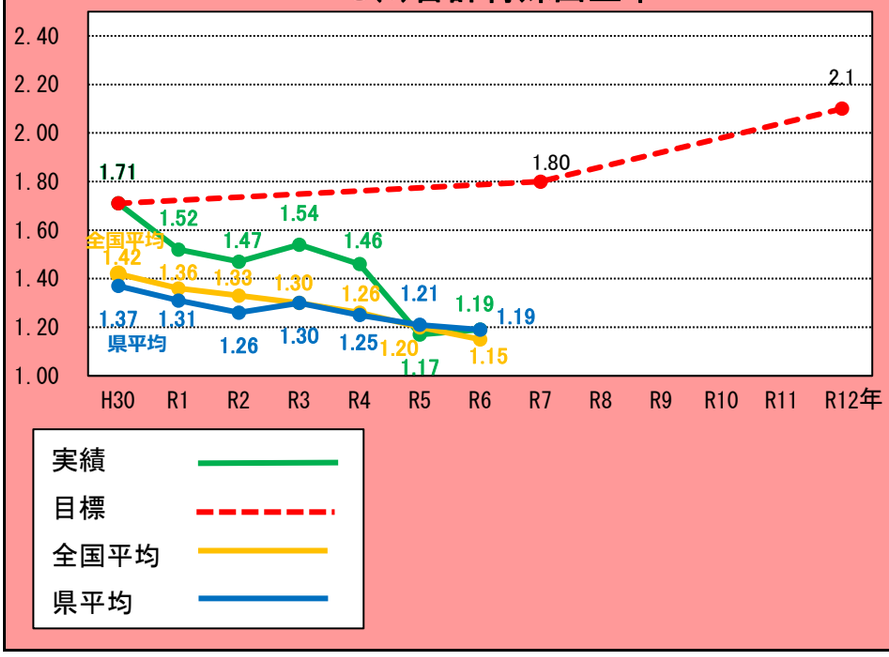
35-1　「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数
35-2　町内体育施設の年間利用者数

数値目標

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	すべての住民が生涯学び続けることができ、 地域の歴史文化に親しめる町をつくる

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部 部長　増田　淳子

5(1)合計特殊出生率



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
1.71	↘	1.19	-133.3%	2.10
H30年 (2018)	0.52 ポイント	R6年 (2024)	6/10 年目	R12年度 (2030)

進捗状況

一旦は増加に転じ、R5年に1.17に大きく減少したが、R6は県とは同じ1.19となり、国よりは高い値となった。全国的に出生率は減少傾向が続いており、子どもを産むことは個人の選択ではあるが、王寺町で子どもを産み育てたいと当町を選んでもらえる魅力的なまちづくりを推進していくことが引き続き重要である。

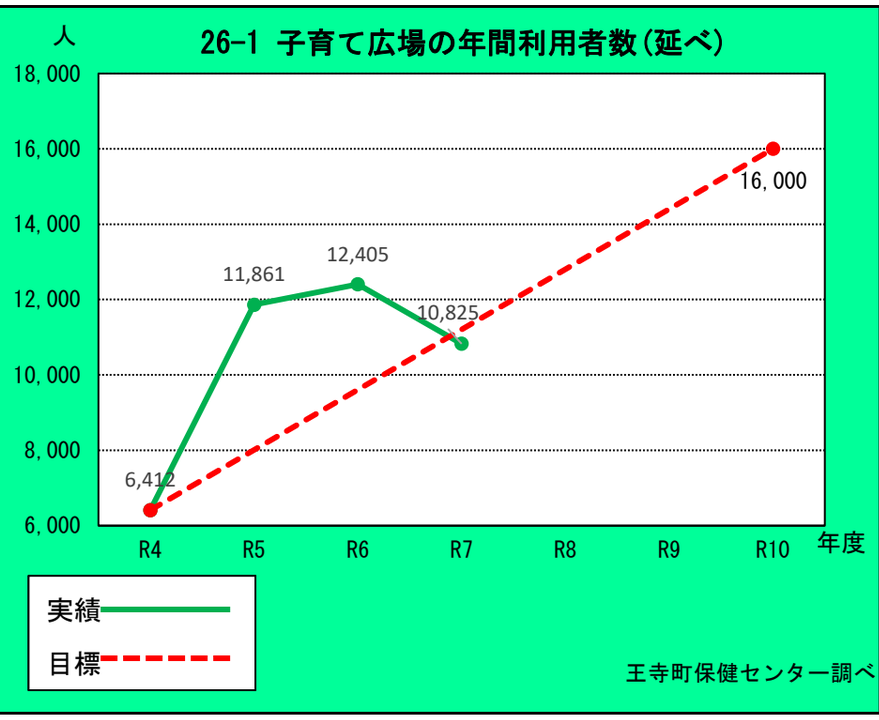
R7年度からは民間による90人規模のこども園の開設に伴う0歳から2歳児までの第2子目以降の保育料無償化、不妊治療費の助成などに取り組んでいる。

今後も、国や県のこども・子育て施策の動向等を注視し、全庁的な取組を推進する。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26)子育て支援

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

26-1 子育て広場の年間利用者数(延べ)



王寺町保健センター調べ

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
6,412	↗	10,825	46.0%	16,000
R4年度(2022)	4,413人	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

進捗状況

コロナ禍を脱し、R5年度より定員を拡大した。R6年度からはさらに定員を拡大し８月からは予約制も廃止したため利用者は増加傾向にあったが、R7年度は大幅に減少している。理由としては、R8年1月9日午後～3月22日まで、改修工事のためすくすく広場を休館したため。改修工事の期間は臨時でわくわく広場を通常日以外にも開館したが、わくわく広場の方がすくすく広場よりも定員が少ないため、今回の減少に繋がっている。

お誕生日会等のイベントも実施しており、利用者は楽しんで参加されている。

また、保健師や専門職による子育て相談等を随時実施し、個別相談が必要な親子には、広場以外でも保健師等から積極的に電話や訪問をして対応している。

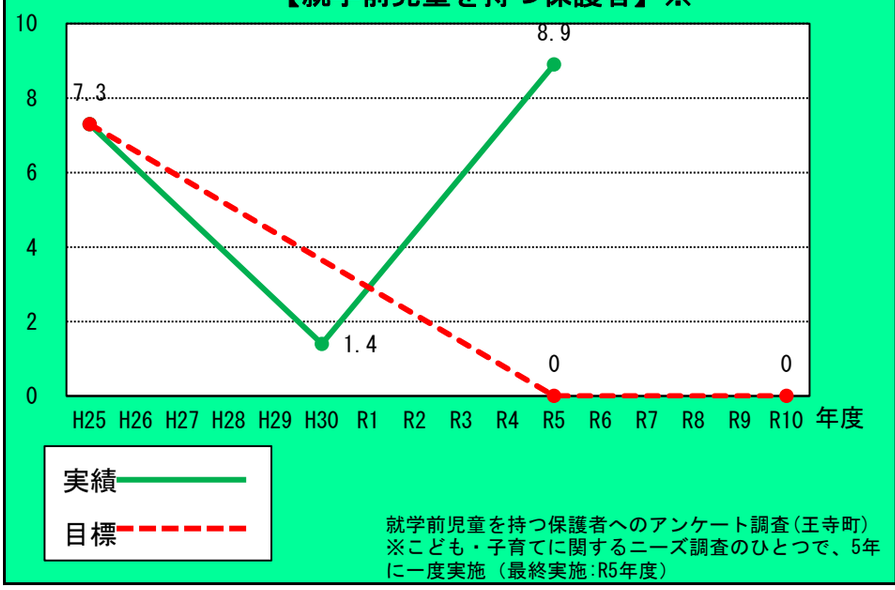
〇R4年度の子育て広場中止状況
・R4年1月20日～R4年5月22日の間
・R4年7月23日～9月19日の間

〇すくすく広場（保健センター内）、わくわく広場（いずみスクエア内）

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26)子育て支援

担当部署・指標管理責任者
健康・子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子

26-2 「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【就学前児童を持つ保護者】※



就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査(王寺町)
※こども・子育てに関するニーズ調査のひとつで、5年に一度実施（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
7.3	↗	8.9	-21.9%	0
H25年度(2013)	1.6%	R5年度(2023)	5/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

R5年度のこども・子育てに関するニーズ調査結果では、前回より、相談できる人や場所のない保護者の割合が増加した。相談できる相手として「配偶者」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」と回答した割合が減少しており、「相談先がない」とした理由としては、「誰に相談していいのかわからない」が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」となっている。

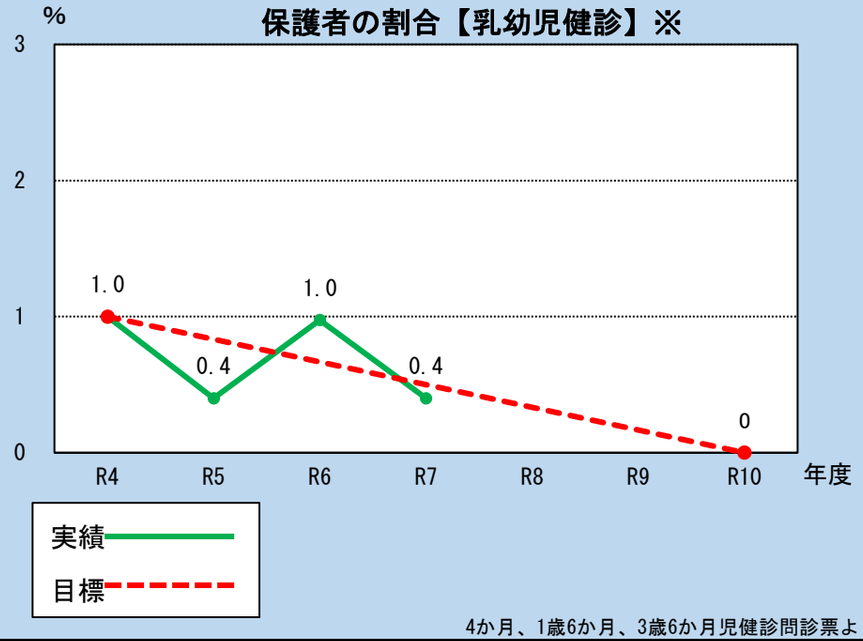
R6年度から、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して一体的に相談支援を実施する、こども家庭センターを開設し、子育てに困難を抱える家庭等を支援している。また、保健センターで実施している子育て広場(すくすく広場)においても、引き続き子育て相談を実施し、「相談先がない」人を減らせるよう取り組んでいく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26)子育て支援

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美

26-2補助指標　「日常の育児の相談相手」がいない保護者の割合【乳幼児健診】※



4か月、1歳6か月、3歳6か月児健診問診票より

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
1.0	↘	0.4	60.0%	0
R4年度(2012)	-0.6%	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

進捗状況

日常の育児の相談相手がいない保護者の割合は、ほぼ0%とも言える低い水準を保っており、R4年度より増減を繰り返しているが、R7年はR6年度より減少した。

保健センターの事業(子育て広場や子育て教室など)が交流の場となっているほか、妊娠初期からも継続的な関わりを提供しており、気軽に子育てについて相談できる関係性を構築している。

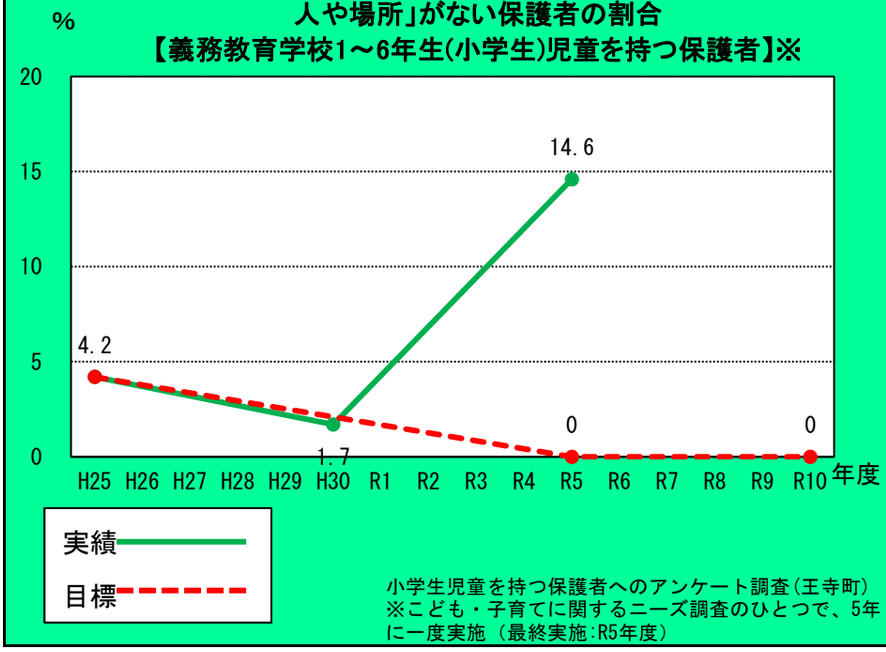
今後も妊娠期からの切れ目ない支援を継続し、必要な子育て支援策を提案していく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(26)子育て支援

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子

26-3「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【義務教育学校1～6年生(小学生)児童を持つ保護者】※



小学生児童を持つ保護者へのアンケート調査(王寺町)
※こども・子育てに関するニーズ調査のひとつで、5年に一度実施（最終実施:R5年度）

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
4.2	↗	14.6	-247.6%	0
H25年度(2013)	10.4%	R5年度(2023)	5/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

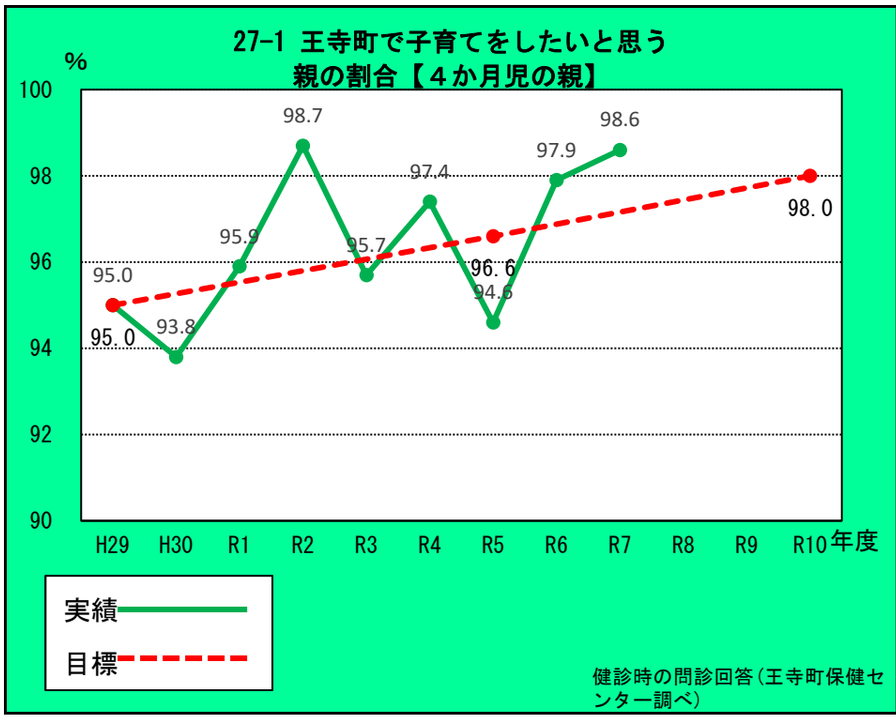
R5年度のこども・子育てに関するニーズ調査結果では、前回より、相談できる人や場所のない保護者の割合が増加した。相談できる相手として「配偶者」「自分または配偶者の両親、兄弟姉妹」「友人や知人」と回答した割合が減少しており、「相談先がない」とした理由としては、「誰に相談していいのかわからない」が最も多く、次いで「人づきあいが苦手だから」となっている。

R6年度から、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対して一体的に相談支援を実施する、こども家庭センターを開設しており、子育てに困難を抱える家庭等を支援しており、引き続き「相談先がない」人を減らせるよう取り組んでいく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27)母子保健

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
95.0	↗	98.6	120.0%	98.0
H29年度(2017)	3.6%	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

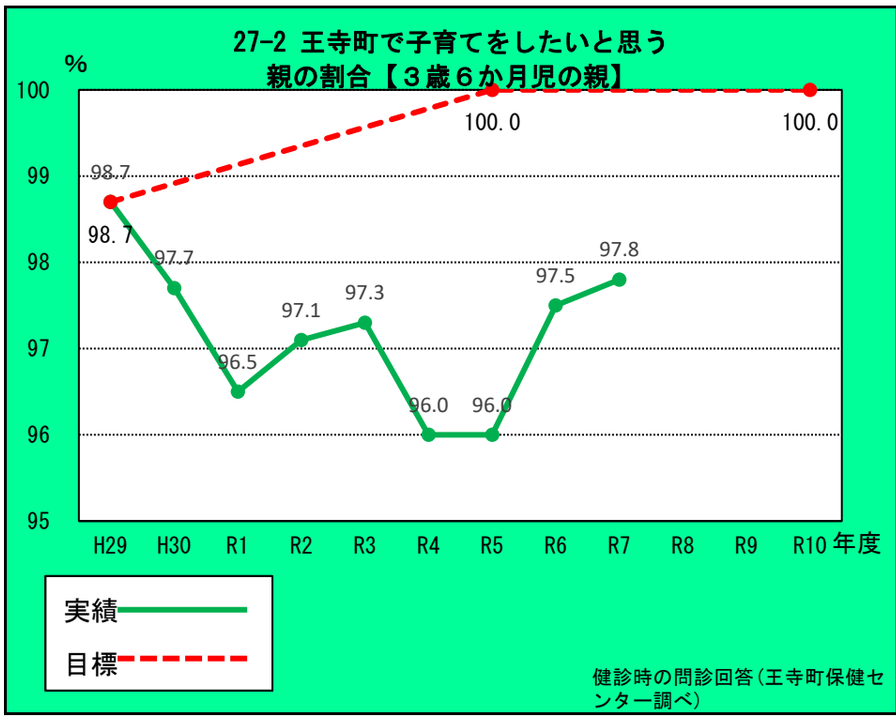
王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は、多少の増減はあるものの、高い水準を保っている。R5年度からは増加傾向にあり、R7年度はR6年度よりさらに増加している。

保健センターで実施している事業(任意接種費用助成[おたふくかぜ・子どもインフルエンザ]、不育治療費助成等)だけでなく、在園第2子目の保育料減免(R7年度からは第2子目以降の保育料完全無償化)や町立幼稚園の預かり保育の実施等、子育て施策を推進してきた結果と考える。

今後も現状値が維持できるよう、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27)母子保健

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
98.7	↘	97.8	-69.2%	100
H29年度(2017)	-0.9%	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

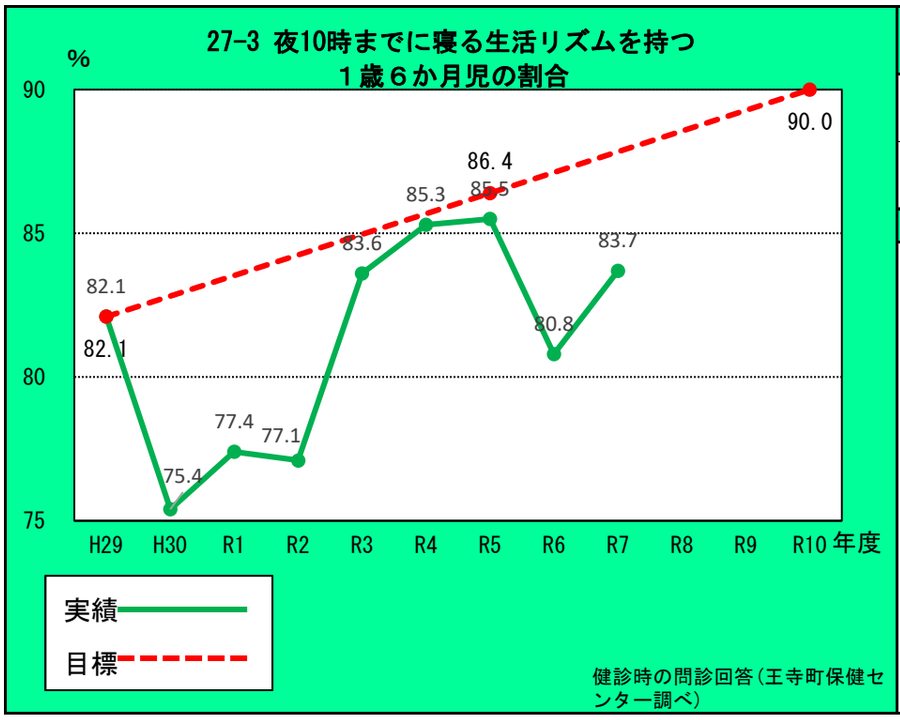
王寺町で子育てをしたいと思う親の割合は非常に高く、H29年度より減少したものの、R5年度からは増加傾向にあり、R7年度はR6年度よりさらに増加している。

保健センターで実施している事業だけでなく、町全体で実施している子育て施策を推進してきた結果と考える。

子どもが成長するに伴い子育ての悩み等も多様化していくため、親の困り事やニーズの把握に努め、必要な子育て支援策を提案していきたい。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(27)母子保健

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　保健センター 課長　植山　裕美



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
82.1	↗	83.7	20.3%	90.0
H29年度(2017)	1.6%	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

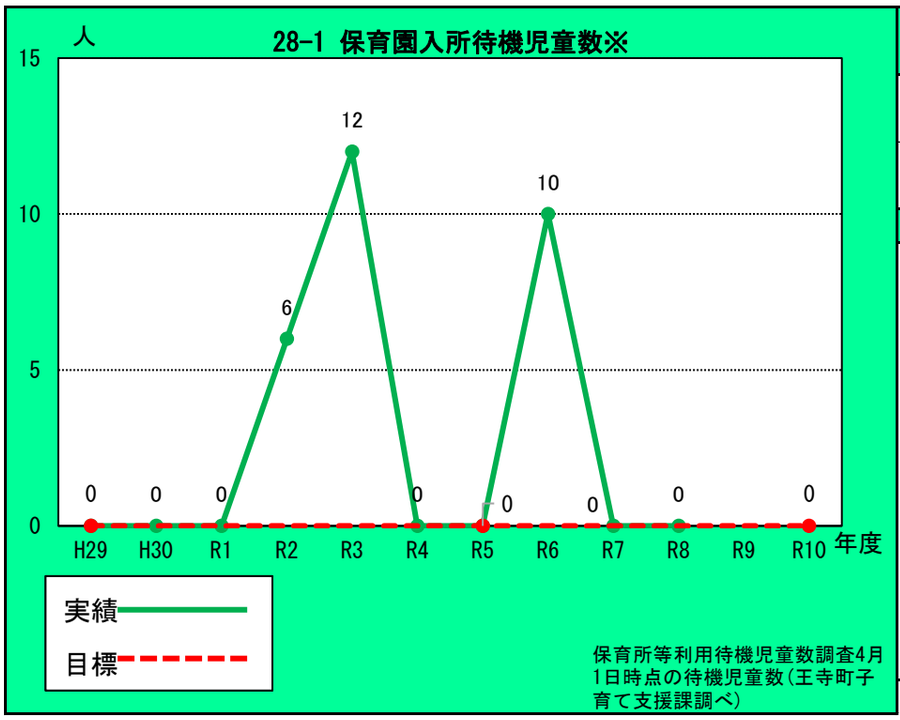
夜10時までに寝る生活リズムを持つ子どもの割合は、R6年度に一旦減少したがR7年度は増加した。

R6年度に減少した背景には、共働きの増加により保育園等からの帰宅が遅くなると、夕食や入浴時間が遅くなり、その結果就寝時間も遅くなる傾向があると考えられる。R7年度の増加については、これまでの継続的な乳幼児健診や教室等での啓発も影響していると考えられる。

正しい生活リズムは子どもの発育・発達にとって重要であるため、今後も、乳幼児健診や母子教室の機会を通して、子どもの成長には規則正しい生活リズムが大切であることに加え、幼児期の生活リズムは親が形成していくものであることを含めて啓発を続けていきたい。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28)保育環境

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	→	0	―	0
H29年度(2017)	0人	R8年度(2026)	8/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

R8年度はR7年度に引き続き待機児童数が0人で目標値をクリアできている。

国の子ども・子育て政策の強化(加速化プラン)や女性の就業率の増加による保育ニーズの増加に対応するため、R7年4月に定員90人の民間の認定こども園を開園(0～2歳児)し、R8年4月からは全クラス(0～5歳児)の受入を行ったことが大きな要因である。

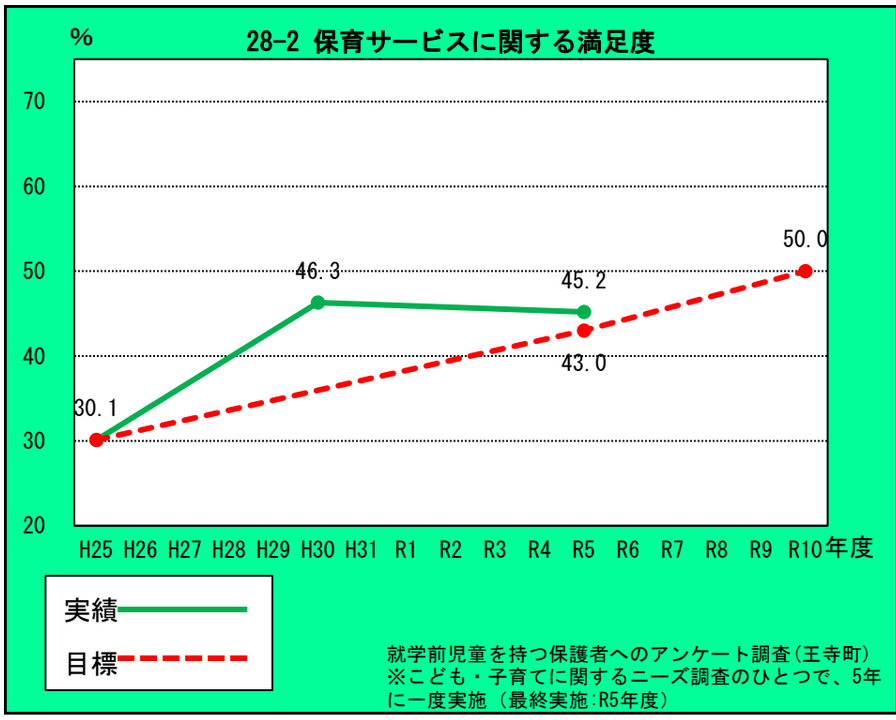
引き続き、待機児童を出さないよう町内の私立保育所等と園児の受入等について連携する。

また、保育士確保対策として、民間保育所等の常勤保育士の処遇改善(給与加算)をR6年度から実施しており、引き続き待機児童対策に取り組んでいく。

※は数値が低い方が良くなる指標です。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28)保育環境

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
30.1	↗	45.2	75.9%	50.0
H25年度(2013)	15.1%	R5年度(2023)	5/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

前回調査時の満足度と比較すると、少し減少しているが、R5年度の目標値はクリアできている。

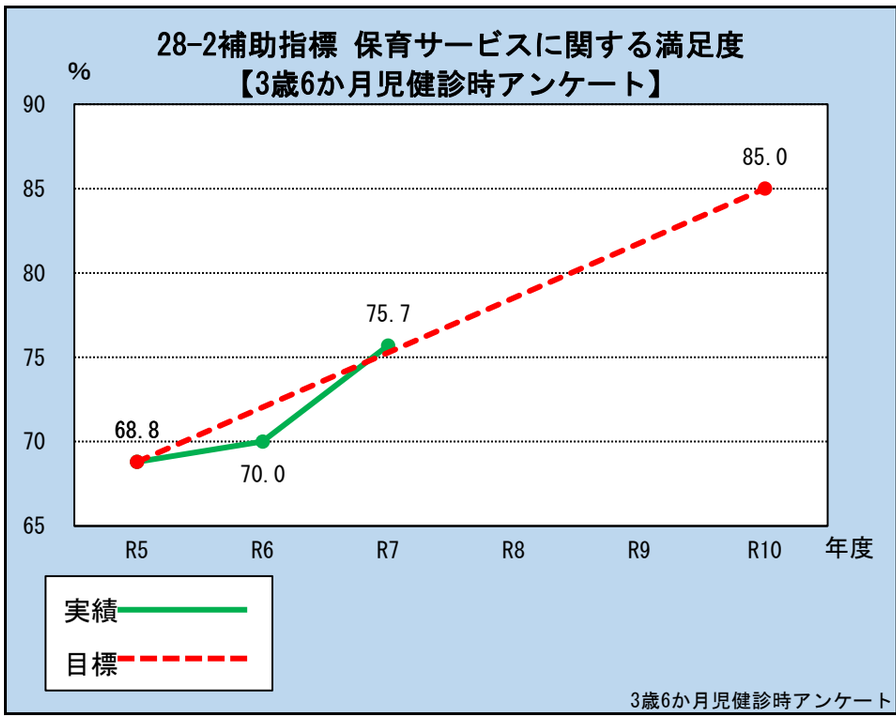
補助指標として実施している3歳6か月児健診時の保育サービスに関する満足度のアンケート結果では、75.7%(R7年度)となっている。

R7年4月には民間の認定こども園の開園(0～2歳児)と、それに合わせて第2子目以降(0～2歳児)の保育料完全無償化、病児保育の委託先(ぽっぽ)の追加を行いサービスの拡充を図った。さらに、R8年4月からは民間の認定こども園が全クラス(0～5歳児)受入開始、第1子目保育料の30%負担軽減を実施するなど、更なるサービスの向上を目指している。

引き続き、満足度の向上に向けて取り組んでいく。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(14)子ども・子育て支援の充実
具体的施策	(28)保育環境

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
68.8	↗	75.7	42.6%	85.0
R5年度(2023)	6.9%	R7年度(2025)	2/5年目	R10年度(2028)

進捗状況

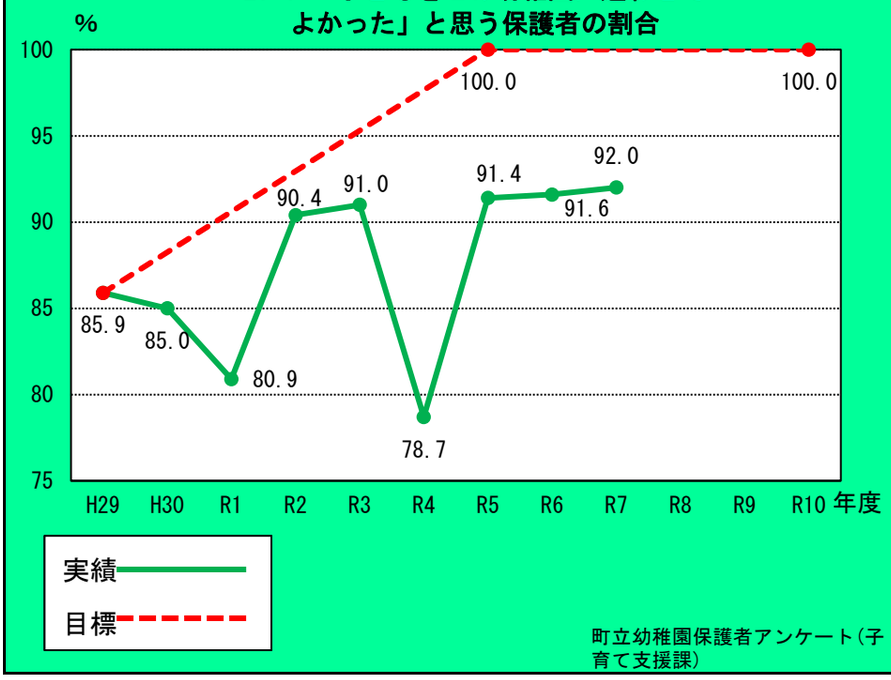
R7年度の満足度は75.7%で、前年度より5.7ポイント上昇したが、目標値の達成にはならなかった。

R7年4月には民間の認定こども園が開園(0～2歳児)し、それに合わせて第2子目以降(0～2歳児)の保育料完全無償化、病児保育の委託先(ぽっぽ)の追加を行い、サービスの拡充を図った。さらに、R8年4月からは民間の認定こども園が全クラス(0～5歳児)受入開始、第1子目保育料の30%負担軽減を実施するなど、更なるサービスの向上に取り組んでいる。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(29)就学前教育

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子

29-1 「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合



町立幼稚園保護者アンケート(子育て支援課)

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
85.9	↗	92.0	43.3%	100
H29年度(2017)	6.1%	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

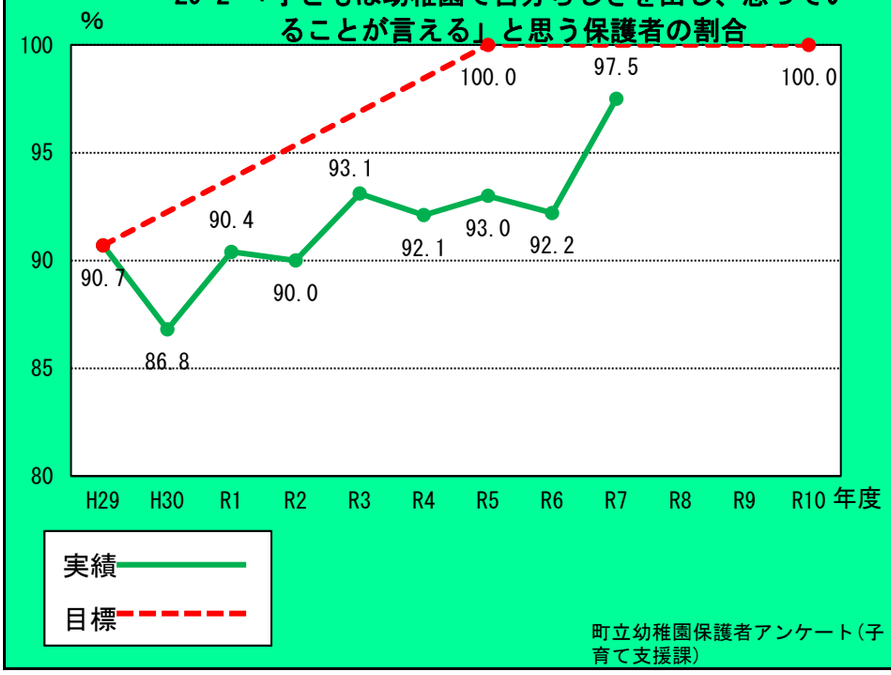
進捗状況

昨年度と比較すると0.4ポイント上昇したが、ほぼ横ばいで推移している。
幼児一人ひとりの姿を園全体で把握することを丁寧に行って幼児理解を深め、幼児が安心して自己発揮できる環境を職員一丸となって整えてきたこと等により、保護者が信頼し、安心して通園させることに繋がった。
引き続き、家庭や地域との連携を図り、信頼される園づくりに努め、目標値の達成に向け取り組んでいく。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(29)就学前教育

担当部署・指標管理責任者
健康子育て支援部　子育て支援課 課長　鬼頭　祐子

29-2 「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合



町立幼稚園保護者アンケート(子育て支援課)

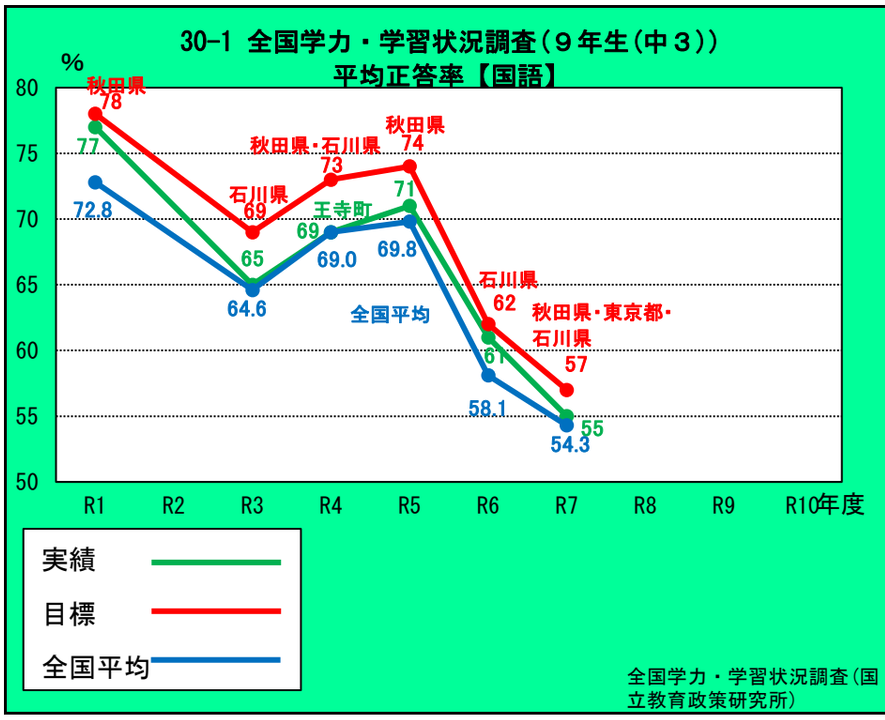
基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
90.7	↗	97.5	73.1%	100
H29年度(2017)	6.8%	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

昨年度実績から5.3ポイント上昇した。
園では、幼児が教師や友達と信頼関係を築き、安心して園生活を送ることを基礎とし、発達段階に応じた取組を進めてきた。また、個人懇談等の機会を通じて、個々の幼児の周囲との関わり方、育ちや課題について保護者と確認し合い、理解を促しており、引き続き目標値の達成に向け取り組んでいく。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
54.3	↗	55	25.9%	57
R7年度 全国平均	0.7 %	R7年度 2025	7/10 年目	R7年度 秋田県 他

進捗状況

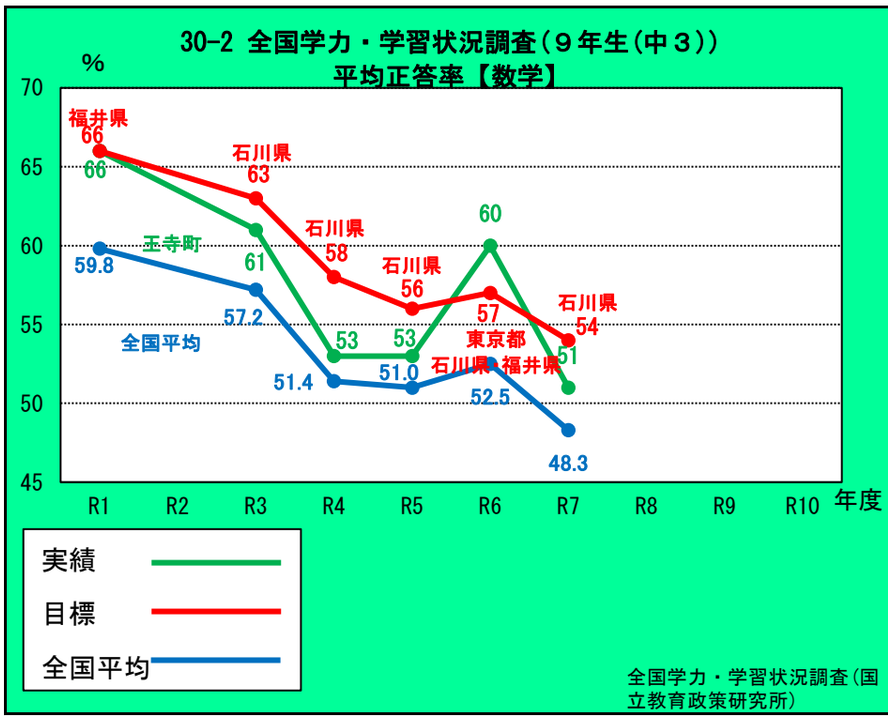
図書室機能をもつICTを駆使したメディアセンターを活用し、読書活動と調べ学習の推進に取り組んだ。また、朝の読書活動の継続的な実施等により生徒の読解力向上に努めた。

本町のR7年度の平均正答率は全国平均より高く、目標値である全国1位の秋田県、東京都、石川県の数値に比べ2ポイント差である。

※R1年度から、国語に関する調査が知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。
※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
48.3	↗	51	47.4%	54
R7年度 全国平均	2.7 %	R7年度 (2025)	7/10 年目	R7年度 石川県

進捗状況

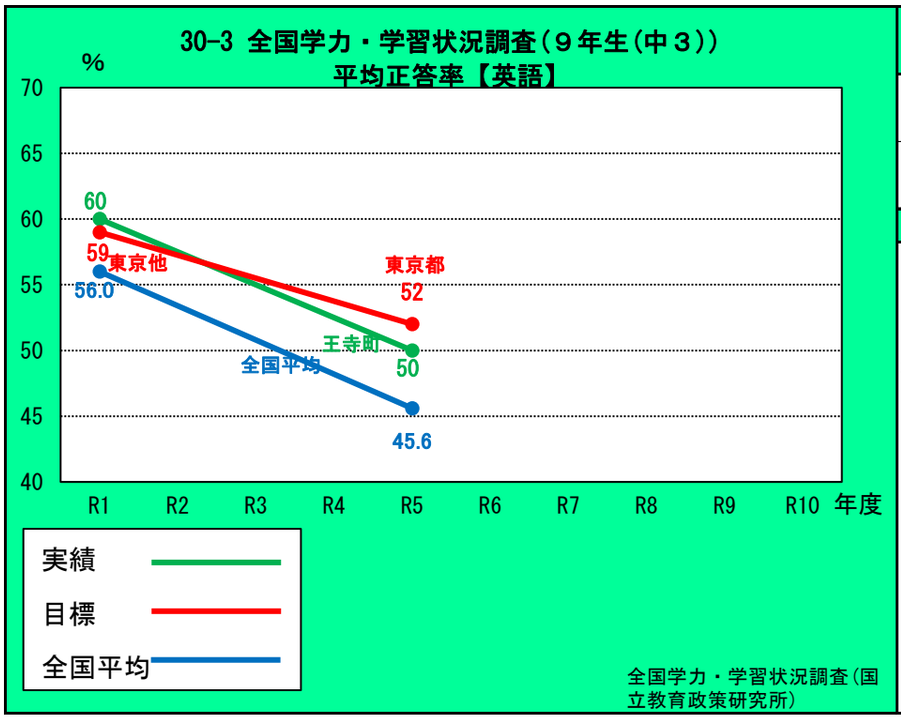
5・6年生から取り組んでいる専科教員による指導や放課後の王寺町寺子屋塾（雪丸サポートスクール）等きめ細やかな学習指導の実施により、生徒の単元に対する理解の向上に努めた。

本町のR7年度の平均正答率は全国平均より高く、目標値である全国1位の石川県の数値に比べ3ポイント差である。

※R1年度から、数学に関する調査が知識・活用を一体的に問う調査に変更されたため、R1年度からの実績を掲載。
※R2年度については、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史



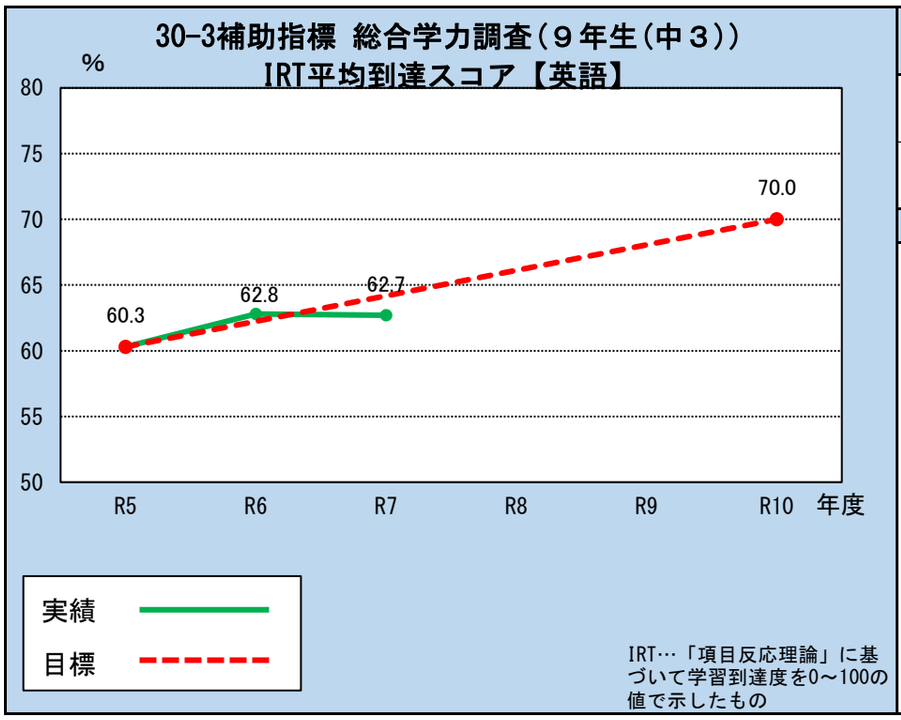
基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
45.6	↗	50	68.8%	52
R5年度 全国平均	4.4 %	R5年度 (2023)	5/10 年目	R5年度 東京都

進捗状況

外国語指導助手(ALT)を両義務教育学校に配置し、実践的な英語教育を実施している。また、英検対策講座を実施し、英検合格率の向上を目指す等の取組により、本町のR5年度の平均正答率は、全国平均より高く、目標値である全国1位の東京都に比べ2ポイント差である。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
60.3	↗	62.7	24.7%	70.0
R5年度 (2023)	2.4 %	R7年度 (2025)	2/5 年目	R10年度 (2028)

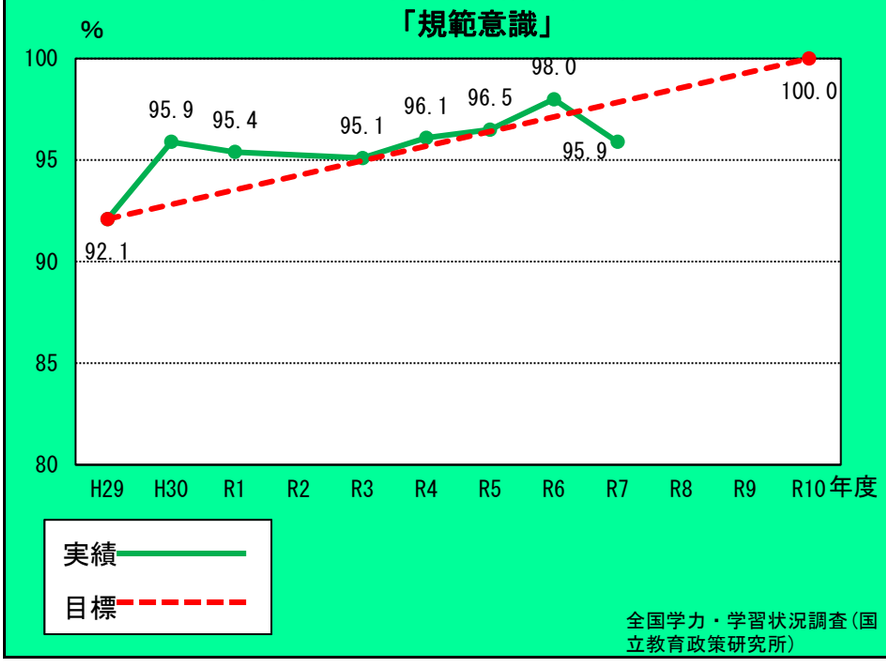
進捗状況

R7年度の町独自で実施した総合学力調査【英語】におけるIRT(平均到達スコア)は、R6年度に対し、ほぼ同数値であった。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史

30-4 全国学力・学習状況調査（９年生（中３））の「規範意識」



全国学力・学習状況調査（国立教育政策研究所）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
92.1	↗	95.9	48.1%	100
H29年度（2017）	3.8 %	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

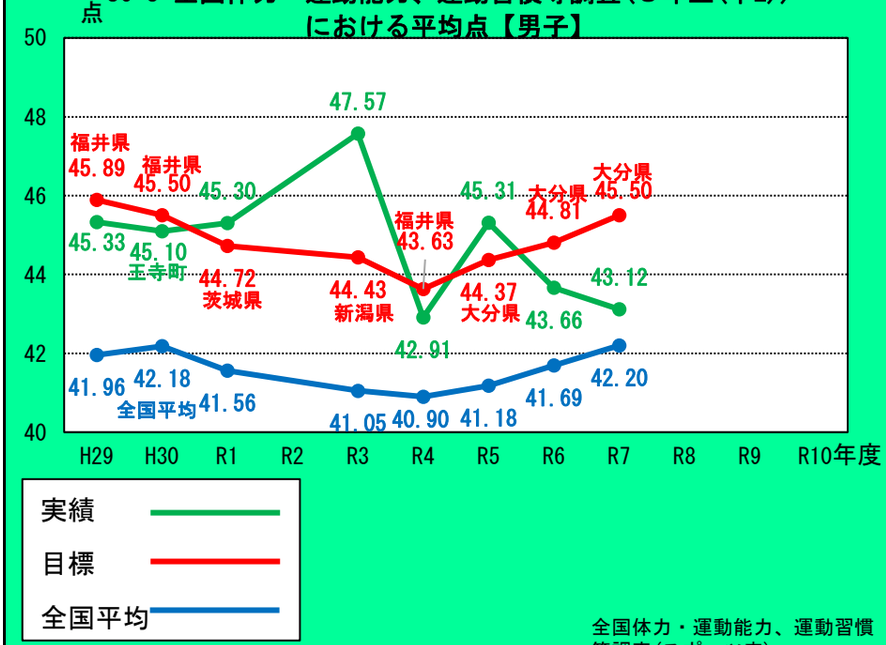
道徳や特別活動などあらゆる機会をとらえ、生徒自身が考える学習を積み重ねる取組等を行った。R7年度全国学力・学習状況調査における「いじめはどんな理由があってもいけない」と「人の役に立つ人間になりたい」の問いに対し、「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」と回答した生徒の割合は、R6年度に対し2.1ポイント減少した。

※R2年度については、コロナ禍により、全国学力・学習状況調査が実施されなかった。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史

30-5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（８年生（中2））における平均点【男子】



全国体力・運動能力、運動習慣等調査（スポーツ庁）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
42.20	↗	43.12	27.9%	45.50
R7年度全国平均	0.92 点	R7年度（2025）	7/10 年目	R7年度大分県

進捗状況

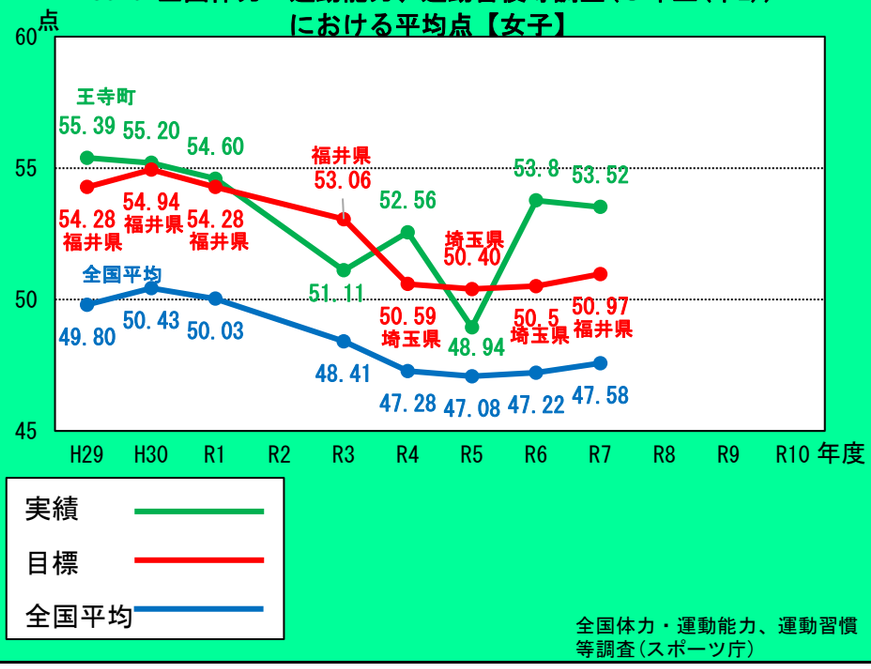
保健体育の専科教員が5･6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R7年度は、全国平均より高く、目標値である全国1位の大分県の数値に比べ約2ポイント差である。

※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(15)学校教育の充実
具体的施策	(30)学校教育

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　学校教育課 課長　小野　貴史

30-6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（８年生(中2)）における平均点【女子】



全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
47.58	↗	53.52	175.2%	50.97
R7年度全国平均	5.94点	R7年度(2025)	7/10年目	R7年度福井県

進捗状況

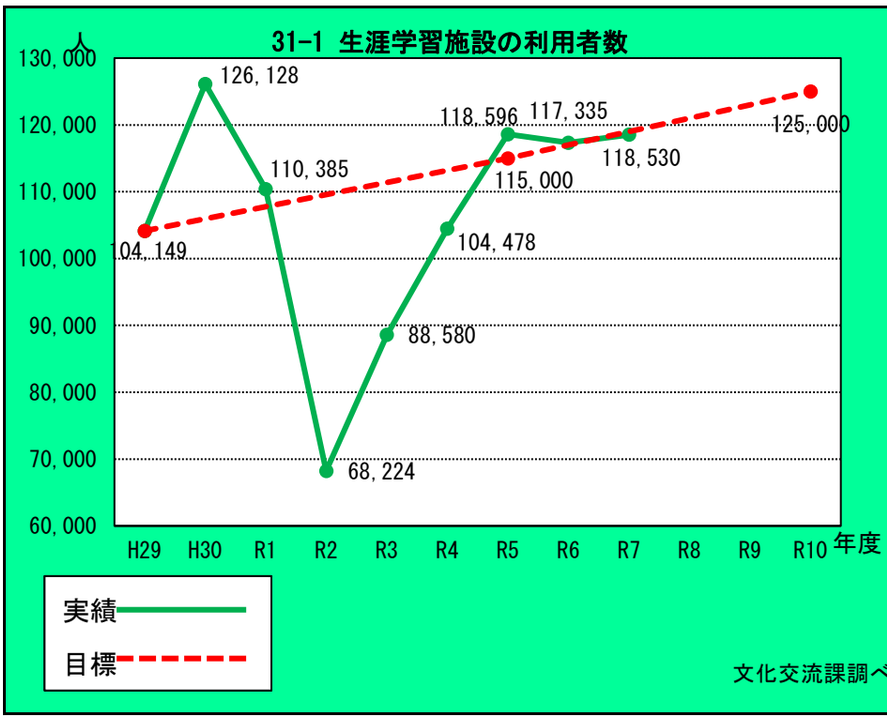
保健体育の専科教員が5･6年の体育授業のサポートに入り、早くから専門性の高い指導等を行うことにより、R7年度は、目標値である全国1位の福井県を約2.5ポイント上回った。

※R2年度については、コロナ禍により、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されなかった。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(31)生涯学習

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　文化交流課 主幹　酒田　悠壱

31-1 生涯学習施設の利用者数



文化交流課調べ

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
104,149	↗	118,530	69.0%	125,000
H29年度(2017)	14,381人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

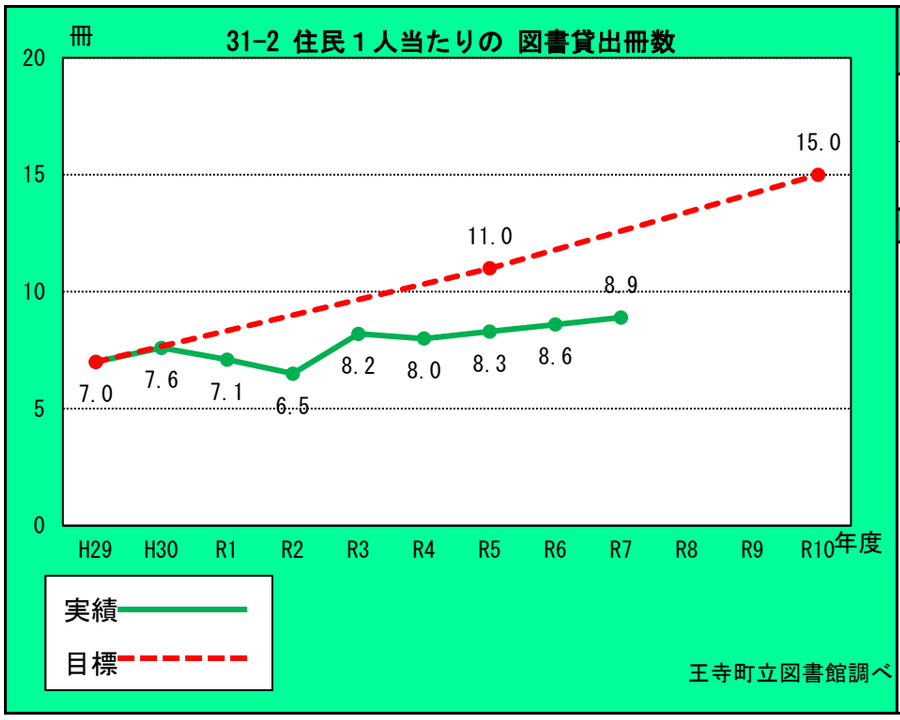
R7年度は、100周年のイベント開催などにより、昨年度より施設の利用者数が約1,200人増加した。

R8年度に実施する照明のLED化やコミュニティスペースの創出により、明るく住民が集いたくなる魅力的な施設づくりを進めるとともに、自治会などの各種団体や事業所へのアプローチ、SNSを活用した情報発信により施設の認知度を高めていく。

◎R7年度（R6年度）利用者数内訳
- ○やわらぎ会館　34,348人（35,982人）
- ○いずみスクエア　29,921人（29,088人）
- ○南公民館　54,194人（52,182人）
- ○地域交流センター【公民館教室のみ】68人（83人）

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(31)生涯学習

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　文化交流課 主幹　酒田　悠壱



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
7.0	↗	8.9	23.8%	15.0
H29年度(2017)	1.9冊	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

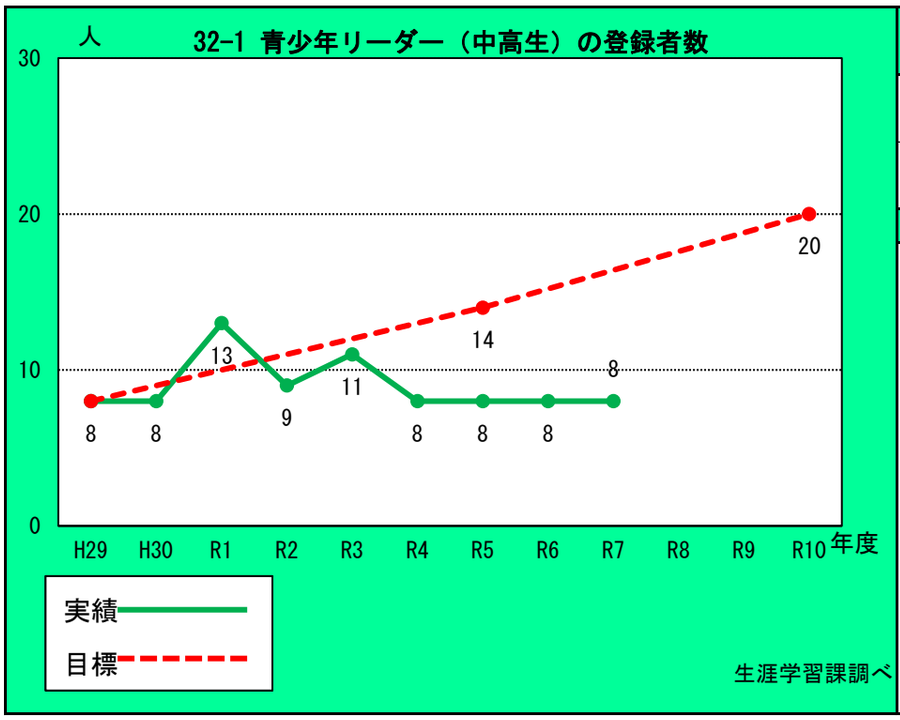
R8年3月公表の社会教育統計(文部科学省)によると、R5年度の国民1人当たりの貸出冊数が4.8冊であり、本町の貸出冊数が高水準で推移していることが分かる。

今後も読書習慣を醸成するため、子ども・保護者向けの魅力あるイベントを継続するとともに積極的なPRを行っていく。また、高齢化が進む図書館ボランティアの会員募集を支援するとともに、青少年の居場所としての図書館活用など、先進地研究により本町の図書館のあり方を見直し、施設の活性化を推進していく。

◎参考：図書貸出冊数
- ○R7年度:209,588冊(内 電子図書2,400冊)
- ○R6年度:199,758冊(内 電子図書3,290冊)
- ○R5年度:197,037冊(内 電子図書2,792冊)

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
8	→	8	0.0%	20
H29年度(2017)	0人	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

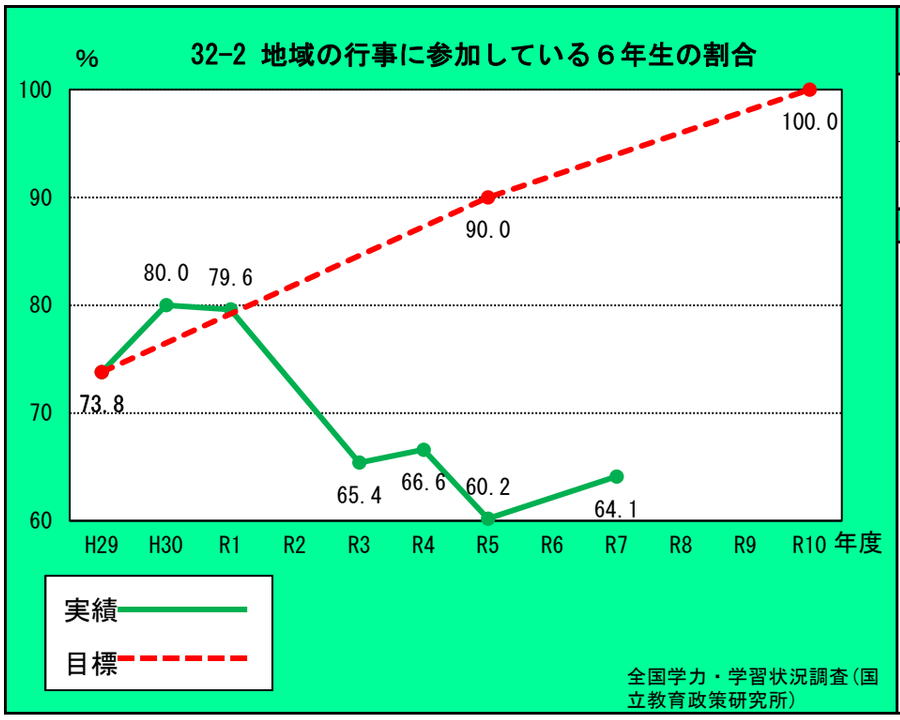
進捗状況

集団の中で自主的、指導的な行動ができる青少年リーダーを確保するため、児童文化協会と連携してジュニアリーダーの養成を図っていく。

また、中高生だけでなく大学生に対しても学生ボランティアとして、野外活動などのイベントに参画を促し、青少年リーダーとして活動していく人材の確保に努めていく。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
73.8	↘	64.1	-37.0%	100
H29年度(2017)	-9.7%	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

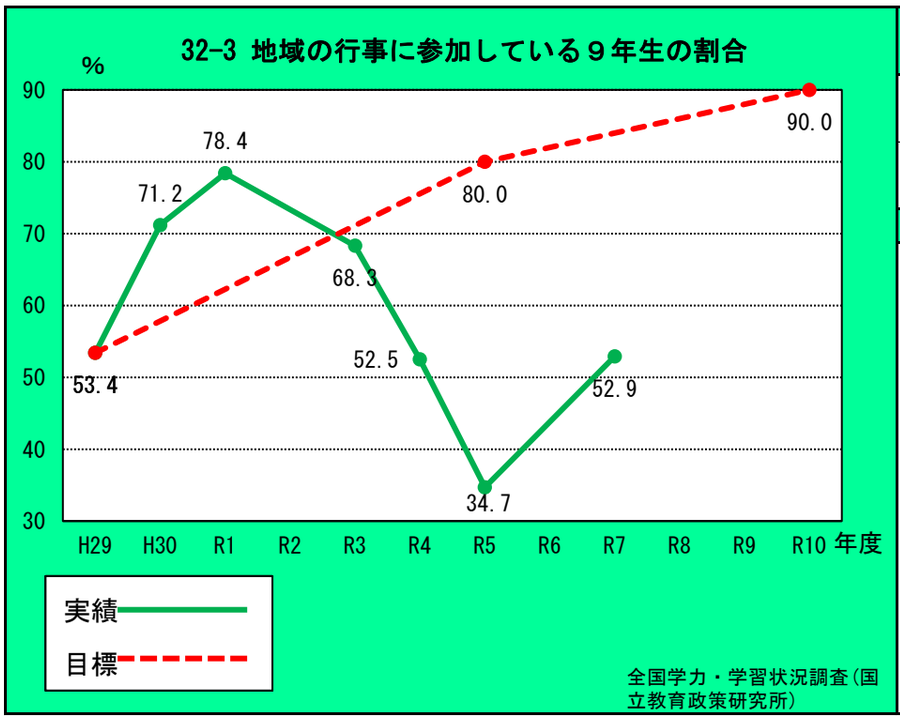
進捗状況

「地域の行事に参加している6年生の割合」は、コロナの影響によりR3年度から低い水準で推移しており、地域行事はコロナ以前の状況に戻っているものの、地域行事への参加意識は低い状況が続いている。学校・家庭・地域がより一層の連携を深め、地域行事への参画・参加を促進する取組を進める。

※R2年度は、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。
※R6年度は、全国学力・学習状況調査の質問項目から削除されたためデータ無し。R7年度から学校が実施する学校評価アンケートの質問項目に追加。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(16)生涯学習の充実
具体的施策	(32)青少年健全育成

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
53.4	↘	52.9	-1.4%	90
H29年度(2017)	-0.5%	R7年度(2025)	7/10 年目	R10年度(2028)

進捗状況

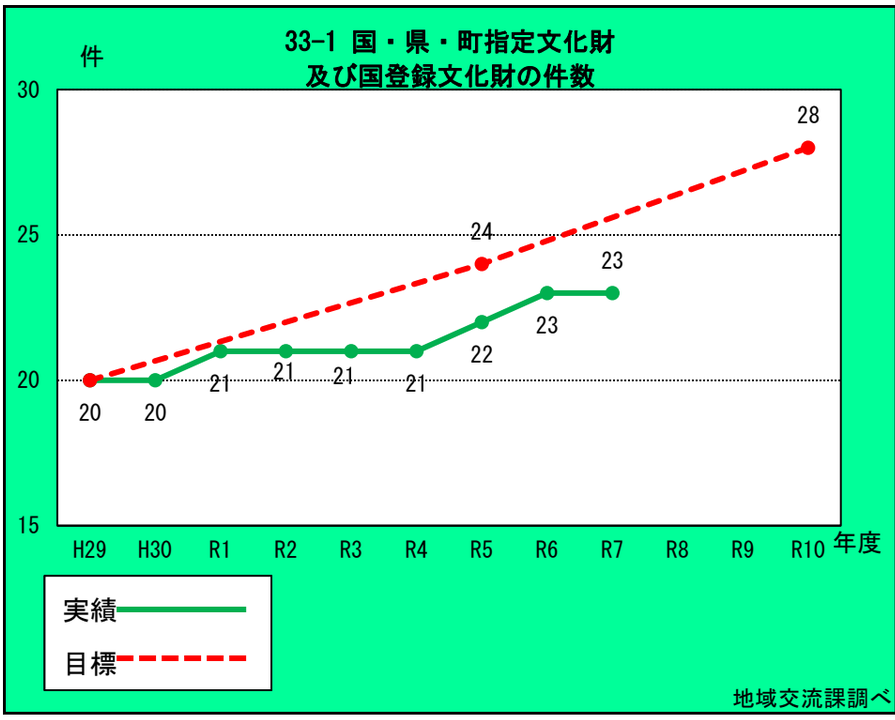
「地域の行事に参加している9年生の割合」は、コロナの影響によりR1年度に対して25.5ポイント減少しており、地域行事はコロナ以前の状況に戻っているものの、地域行事への参加意識は低い状況が続いている。学校・家庭・地域がより一層の連携を深め、地域行事への参画・参加を促進する取組を進める。

※R2年度は、コロナ禍により全国学力・学習状況調査が実施されなかった。
※R6年度は、全国学力・学習状況調査の質問項目から削除されたためデータ無し。R7年度から学校が実施する学校評価アンケートの質問項目に追加。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(33)文化財

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

33-1 国・県・町指定文化財及び国登録文化財の件数



地域交流課調べ

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
20	↗	23	37.5%	28
H29年度(2017)	3件	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

R5年度にD51形蒸気機関車895号機を王寺町指定文化財に指定し、R6年度に「明神山（送迎山）」が国登録記念物（名勝地関係）に登録され、指定及び登録件数は23件に増加した。

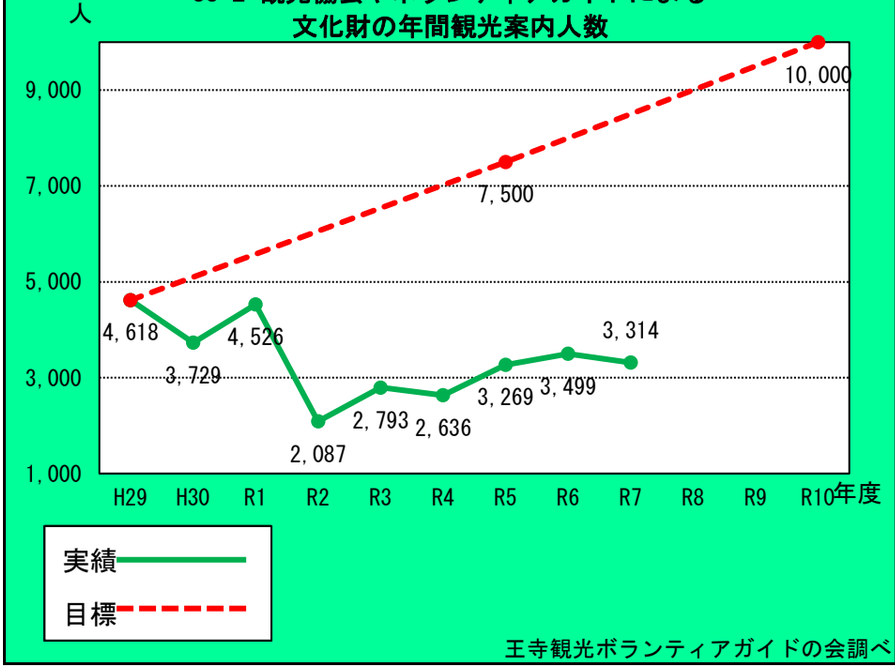
同じくR10年度を目標に「西安寺跡」国史跡指定にむけて事務を進めており、この他にも、寺院の全容の解明を目指し、R7・R8年度の期間で「片岡王寺跡」の発掘調査を進めている。

計画的に事務を進め、文化財の保存と活用を図っていく。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(33)文化財

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

33-2 観光協会やボランティアガイドによる文化財の年間観光案内人数



王寺観光ボランティアガイドの会調べ

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
4,618	↘	3,314	-24.2%	10,000
H29年度(2017)	-1,304人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

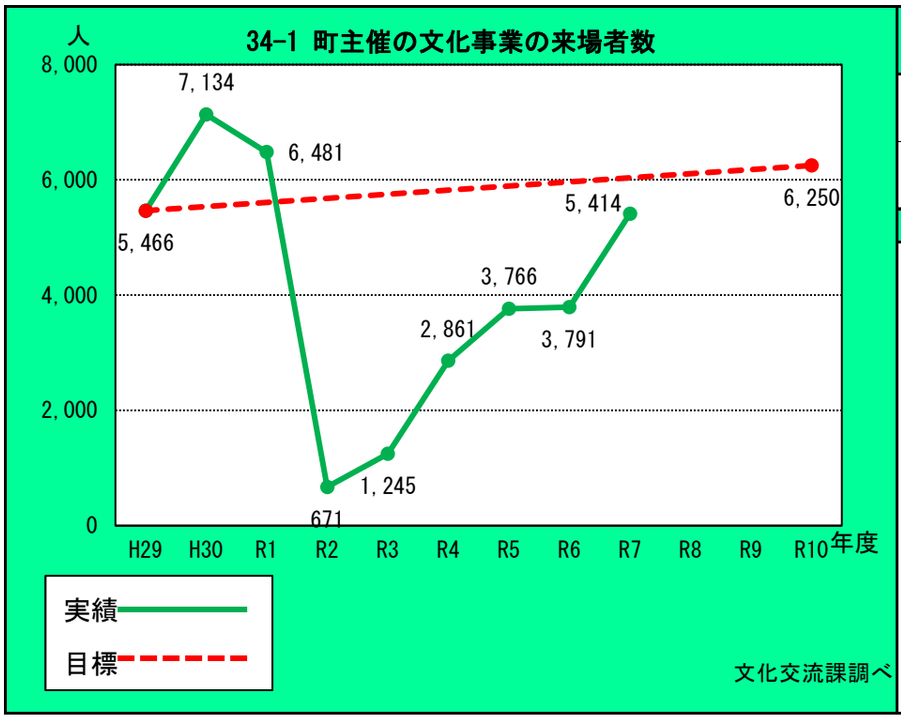
R2年度にはコロナ禍により観光が控えられ目標値から大きく離れてしまったが、R3年度からは徐々に回復傾向で推移している。

コロナ禍前の水準を目指し、R5年度に王寺町のSLを町指定文化財に指定し、「鉄道のまち王寺」を、R6年度に明神山(送迎山)を国登録記念物に登録し、歴史眺望の価値をPRした。R7年度に町制施行100周年を機に、王寺町の魅力発信に力を入れている。

王寺観光ボランティアガイドの会についても、R7年度も研修や勉強会を重ね、より良い観光案内を目指すとともに、町内義務教の生徒に対しても郷土学習を実施するなど、日々活動している。

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(34)文化・芸術活動

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　文化交流課 主幹　酒田　悠壱



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
5,466	↘	5,414	-6.6%	6,250
H29年度(2017)	-52人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

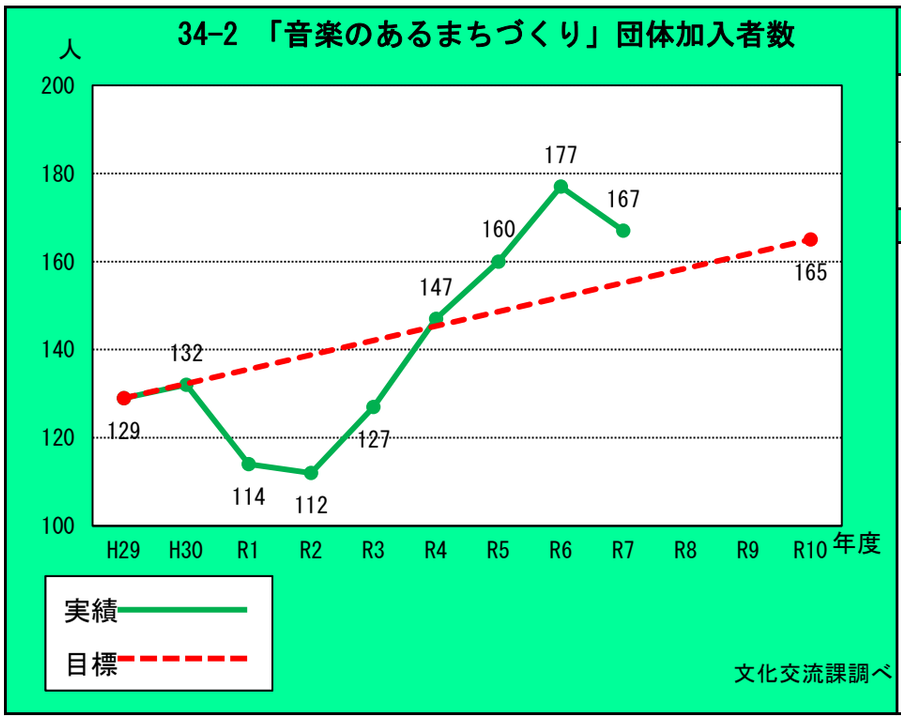
進捗状況

R7年度は、やわらぎ会館30周年記念イベント等の開催で前年より大幅に来場者数が増加した。
文化芸術基本計画と一体的に策定された第2期王寺町教育振興ビジョン(R8年3月)に基づく取組を実施するとともに、経済的・社会的・身体的・時間的な制約のある方が身近に文化・芸術に触れる機会を提供していく必要がある。
ニーズの高い事業を深化させていくとともに、民生委員や自治会長の協力を得ながらこれまで文化に触れられなかった方々へのアプローチを強化するなど両面からの取組を進めていく。

◎R7年度実施回数及び来場者数(前年度比較)
自主事業：39回　4,809人(＋17回　+1,759人)
ﾑｼﾞｰｸﾌｪｽﾄ：6回　605人(±0回　-136人)

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(34)文化・芸術活動

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　文化交流課 主幹　酒田　悠壱



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
129	↗	167	105.6%	165
H29年度(2017)	38人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

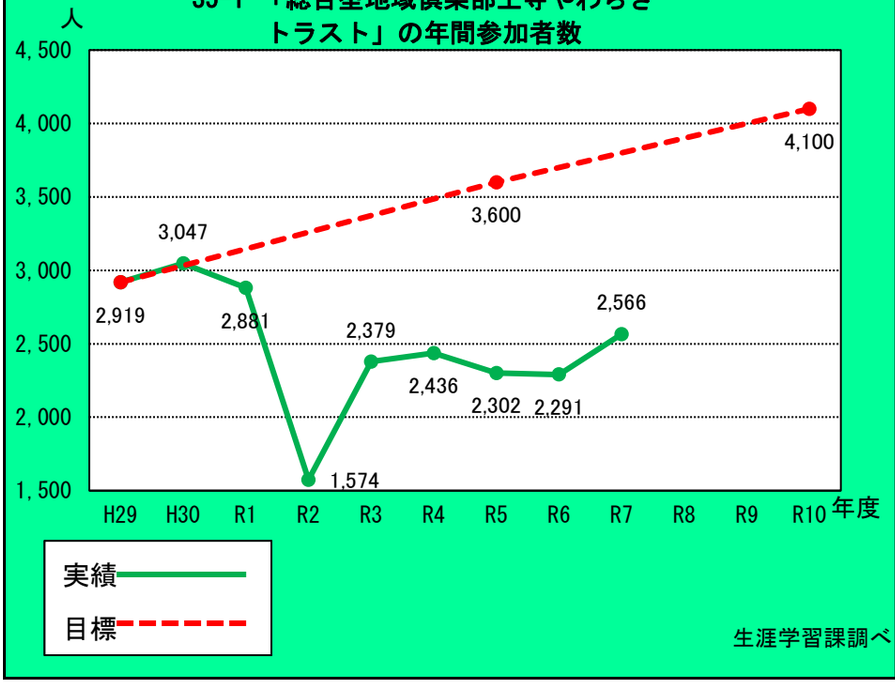
ジュニア団体の加入者数減少が影響し前年度と比べて10人マイナスとなった。
少子化時代に対応した団体のあり方検討や積極的広報により加入者増を目指す。
また、各団体による体験会実施など、主体的な勧誘活動を促し、町全体の音楽・芸術への関心を高めていく。

◎R7年度末時点加入者数(前年度比)
○ジュニア団体
・吹奏楽　24人(-3)
・ハンドベル　7人(-1)
・コーラス　8人(-1)
○吹奏楽団　70人(-3)
○ハンドベル　47人(-1)
○コーラス　11人(-1)

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(35)スポーツ・レクリエーション

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人

35-1 「総合型地域倶楽部王寺やわらぎトラスト」の年間参加者数



生涯学習課調べ

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
2,919	↘	2,566	-29.9%	4,100
H29年度(2017)	-353人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

R7年度は、町広報紙やHP、町公式LINEなど、多様な媒体による情報発信により、会員数・参加者数の確保に向け取り組んだ。また、第２回となる王寺町スポーツフェスティバルにおいて、体験ブースの設置やダンス教室等の発表会などにより、やわらぎトラストの周知を図った事などにより、年間参加者数はR6年度より増加した。

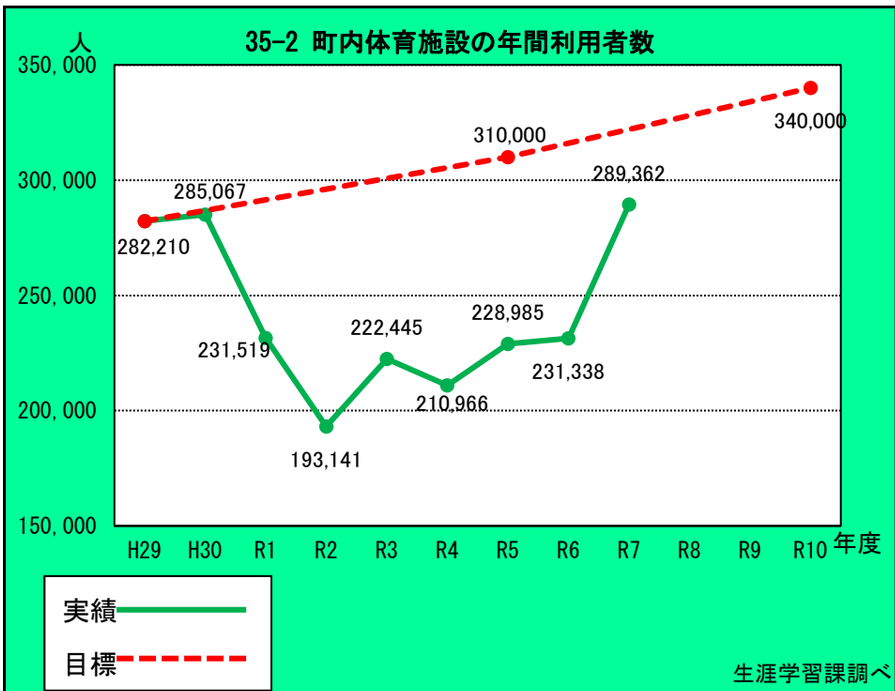
今後は、トラスト事務委託業者と連携し、教室数の確保と年間参加者数の増加を目標に、積極的にPRに取り組むとともに安定した事業運営ができるよう、R9年度の法人化を目指す。

【参考】やわらぎトラスト会員数
R3年度:829人　R4年度:830人
R5年度:813人　R6年度:776人
R7年度:838人

基本目標	5　人を育みみんなが学べるまちづくり
基本的方向	(17)歴史文化・スポーツ活動の振興
具体的施策	(35)スポーツ・レクリエーション

担当部署・指標管理責任者
教育総務部　生涯学習課 課長　海原　崇人

35-2 町内体育施設の年間利用者数



生涯学習課調べ

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
282,210	↘	289,362	12.4%	340,000
H29年度(2017)	7,152人	R7年度(2025)	7/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

R6年度まではコロナの影響により減少傾向が続いていたが、R7年度は4月からは整備が完了した北義務教育学校の外部利用を開始した事もあり、ようやくコロナ前の利用実績まで回復した。

今後については、R8年4月オープンした王寺テニスパークの周知を図るとともに、他の施設についても施設情報や利用方法などの情報発信に取り組んでいく。

６ 活力とにぎわいのあるまちづくり

数値目標

６(1)　王寺町内での新規起業件数（累計）

６(2)　人口の社会増（転入者数－転出者数）【再掲】

６(3)　町の観光入込客数

６(4)　王寺町周辺宿泊者数

ＫＰＩ

具体的施策３６　産業・雇用

36-1　町内の事業所数

36-1 補助指標　開業届提出件数[累計]

36-2　町内の事業所の従業員数

36-2 補助指標　町内で行われる「就職説明会」の参加者数

具体的施策３７　定住促進

37-1　王寺町に住み続けたいと思う人の割合

37-1 補助指標①　三世代ファミリー定住支援補助金利用件数[累計]

37-1 補助指標②　移住支援金利用件数[累計]

具体的施策３８　観光・交流

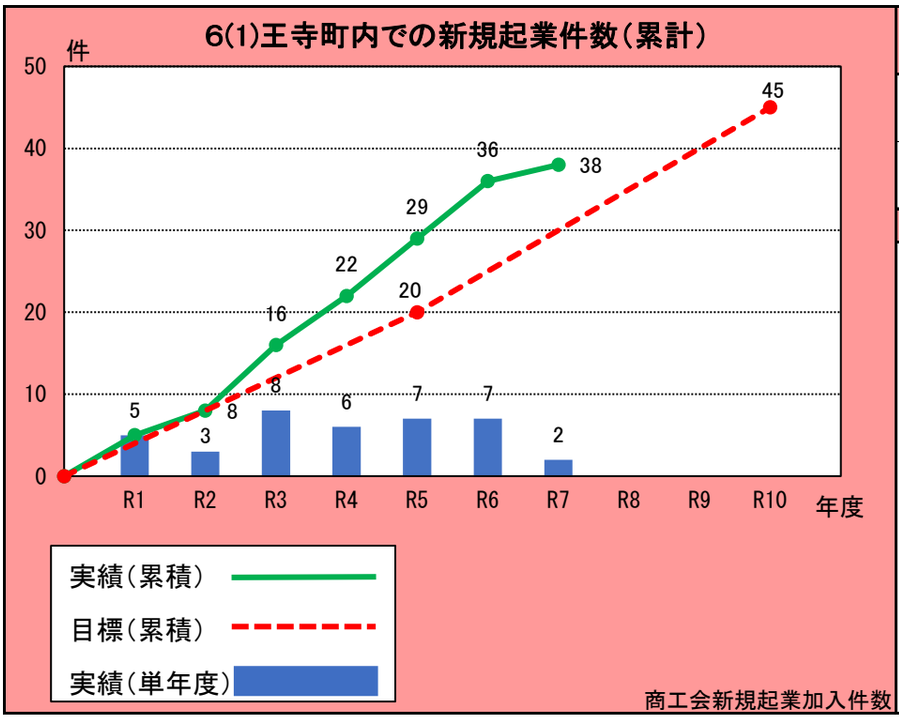
38-1　明神山の来訪者数

38-2　達磨寺来訪者数

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事　前田　日出高

6(1)王寺町内での新規起業件数（累計）



商工会新規起業加入件数

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
0	↗	38	84.4%	45
H30年度（2018）	38.0件	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積しているので、王寺駅を中心にした「集客」と「消費」を喚起する取組を行っている。

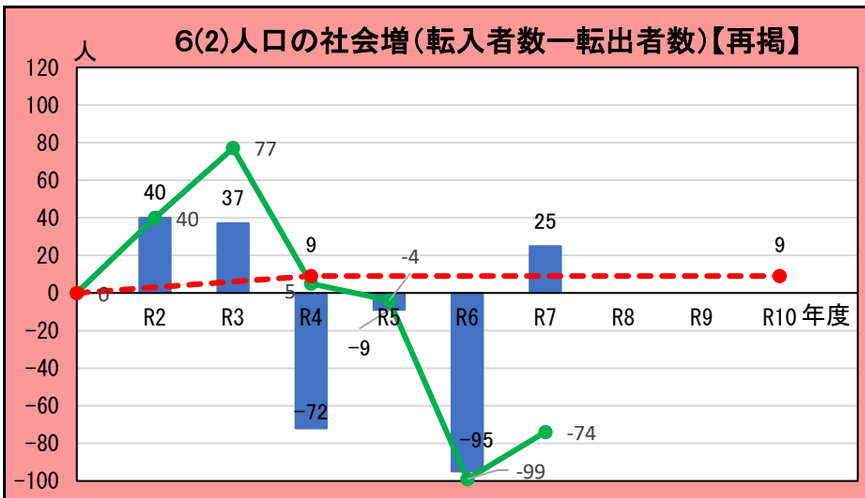
飲食業の新規起業が多く、観光振興による王寺駅前での賑わい創出が第3次産業の活性化に効果的であると考えている。

近年では、駅前の都市空間と大和川の水辺空間を活用して、飲食業を主体とした集客力のあるマルシェが定期的に開催されており、R7年度には大阪・関西万博や町制100周年事業などでさらに観光振興が促進される等、今後も第3次産業の活性化を推進していく。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

担当部署・指標管理責任者
王寺町理事 坂上　高志

6(2)人口の社会増（転入者数ー転出者数）【再掲】



(2026.7)
R7～県の公表データの変更により実績値を訂正（R2～R7）
（各年4月～3月の実績値を10月～9月の実績値に訂正）
奈良県推計人口調査より

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
0	↘	-74	-822.2%	9
H30年度（2018）	-74人	R7年度（2025）	6/9 年目	R10年度（2028）

進捗状況

都市基盤の整備について、王寺駅周辺への都市機能の集積及び生活サービス機能の充実を図るため、R4年度に策定した「王寺駅周辺地区（駅北エリア）まちづくり基本計画」に基づいたまちづくりを進めている。

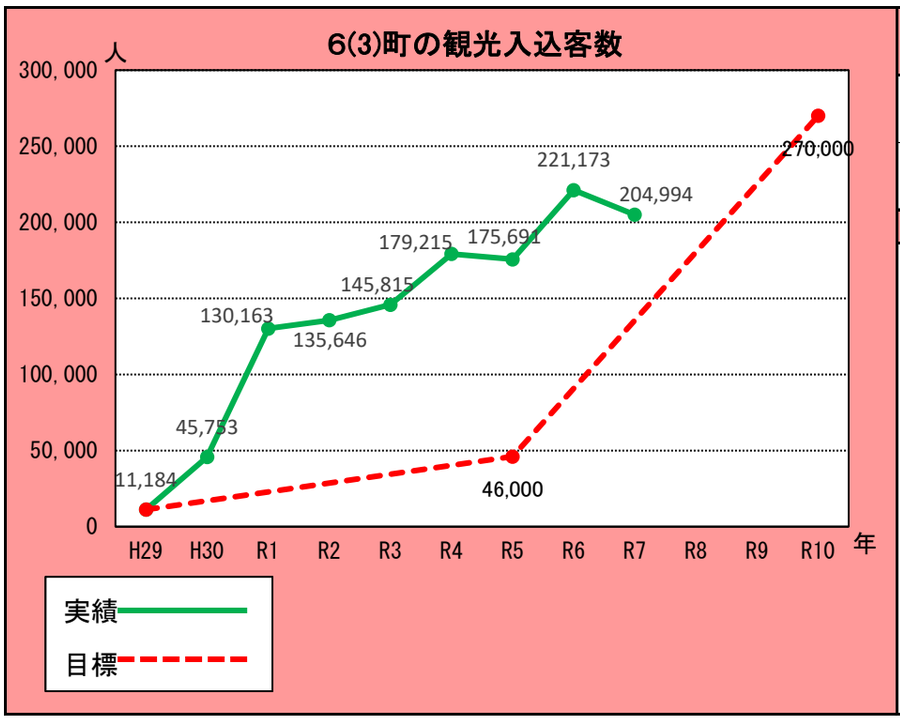
王寺駅南エリアについては、自治会と継続した意見交換を実施し、駅南エリアのまちづくり計画の策定に向けた方向性を検討中である。

交通ネットワークの整備については、国道168号の4車線化（無電柱化）、畠田駅駅前広場の整備に向けた用地取得などを進めている。元町畠田線整備事業については用地取得が完了し、県により工事が進められている。

その他、環境や景観にも配慮し、快適に暮らし続けられるまちづくりに向けた事業を進め、早期のストック効果発現を目指し、人口の社会減に歯止めをかけるよう努めていく。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事　前田　日出高



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
11,184	↗	204,994	74.9%	270,000
H29年（2017）	193,810人	R7年（2025）	7/10年目	R10年（2028）

進捗状況

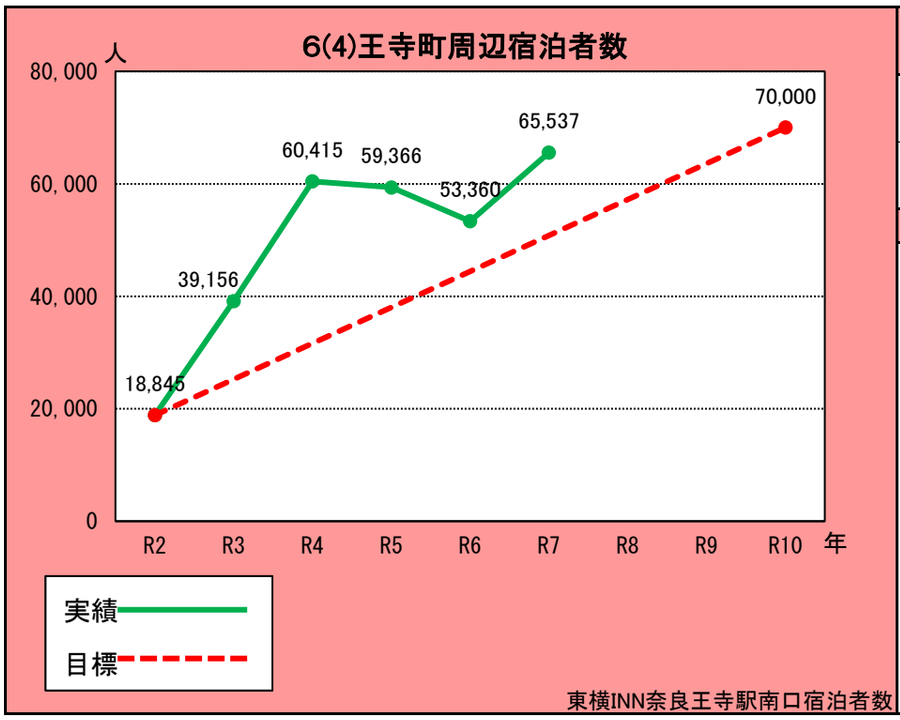
町内の観光拠点である明神山は、歴史的眺望の価値が認められ、R7年に奈良県初の「国登録記念物（名勝地関係）」に登録された。また、達磨寺で開催している「全国だるまさんが転んだ選手権大会」もふるさとイベント大賞で入賞した。

また、「鉄道イベント」や「久度マルシェ」の高い集客力を「消費」につなげるなど、WEST NARA広域観光推進協議会（大和郡山市・生駒郡4町、北葛城郡4町で構成）と連携した誘客により、聖徳大使のゆかりの里の周遊観光の起点となる王寺駅周辺の賑わい創出を図っていく。

さらに、都市近郊の里山「陽楽の森」の整備が進んできており、R8年夏にはカフェがオープンする等、新たな観光スポットとして期待を寄せているところである。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
	歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部 理事　前田　日出高



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
18,998	↗	65,537	91.2%	70,000
R2年（2020）	46,539人	R7年（2025）	6/9年目	R10年（2028）

進捗状況

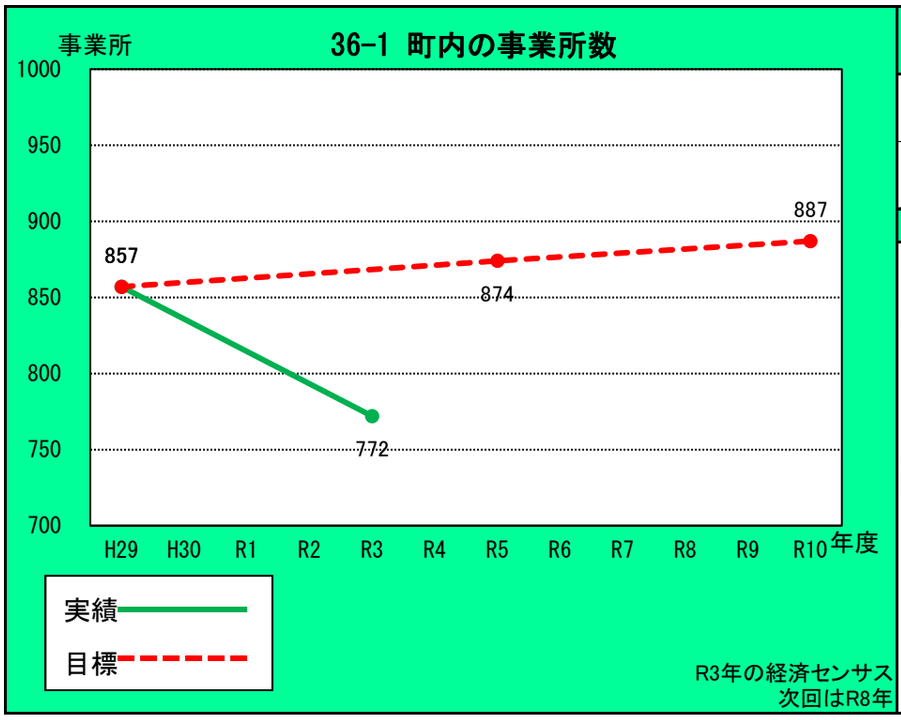
R2年8月に開業したホテル東横INN奈良王寺駅南口は、R7年の平均稼働率が83%、宿泊者数も65,000人以上と開業時から高い稼働率が維持されており、ホテルと駅周辺の飲食業との連携による地域経済の活性化にもつながっている。

また、町観光協会との連携による東横INNとして全国初のコンセプトルーム「雪丸の部屋」も人気を博しており、R6年度にはホテルにシェアサイクルステーションが設置され、WEST NARA広域観光推進協議会エリアの周遊観光に活用されている。

R7年は大阪・関西万博開催の影響もあり、外国人宿泊客数も前年に比べ2倍増加している。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(36)産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
857	↘	772	-283.3%	887
H29年度(2017)	-85事業所	R3年度(2021)	3/10年目	R10年度(2028)

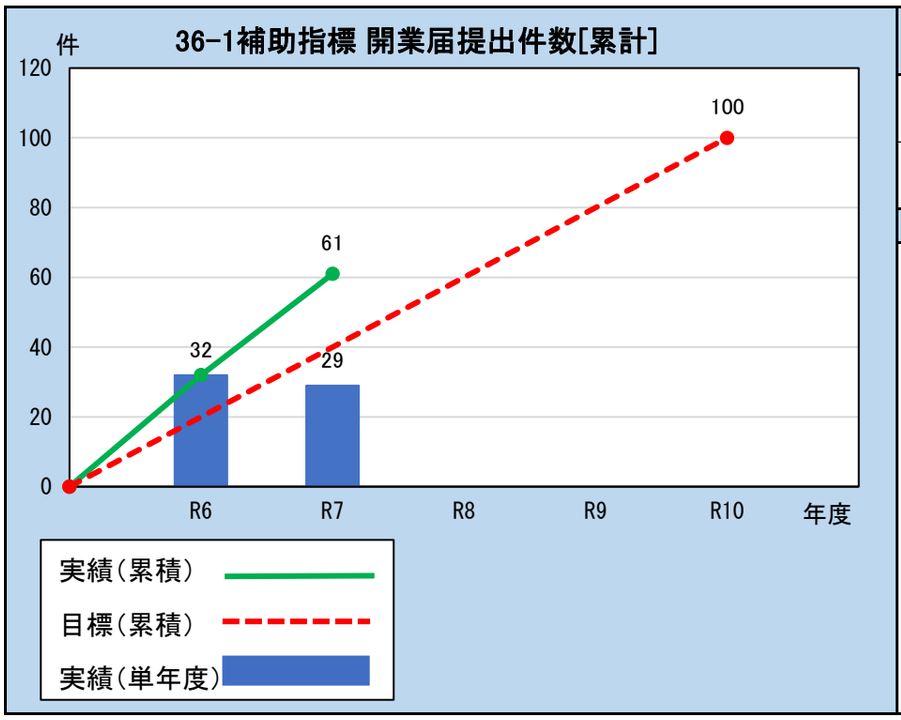
進捗状況

王寺町では第3次産業の事業者が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集中しているため、駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。

事業者への支援については、国の事業者支援策を周知していくほか、商工会に事業継承や事業者育成に関する支援体制の強化を働きかけていく。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(36)産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↗	61	32.0%	100
―	61件	R7年度(2025)	2/5年目	R10年度(2028)

進捗状況

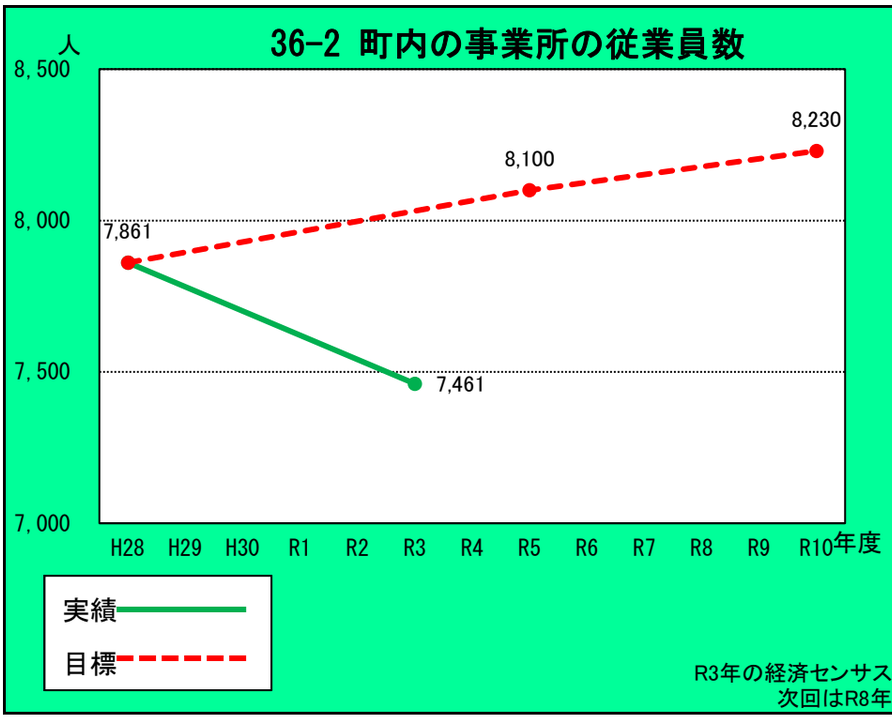
王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集中しているので、駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。

R7年に開催された大阪・関西万博を契機に商業・観光が活性化してきていることから、商工会にさらなる支援体制の強化を働きかけていくなど、観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者に必要とされる事業者の育成を図る。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(36)産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

36-2 町内の事業所の従業員数



R3年の経済センサス
次回はR8年

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
7,861	↘	7,461	-108.4%	8,230
H28年度(2016)	-400人	R3年度(2021)	3/10年目	R10年度(2028)

進捗状況

王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集中していることから、駅を中心とした「集客」と「消費」を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく。

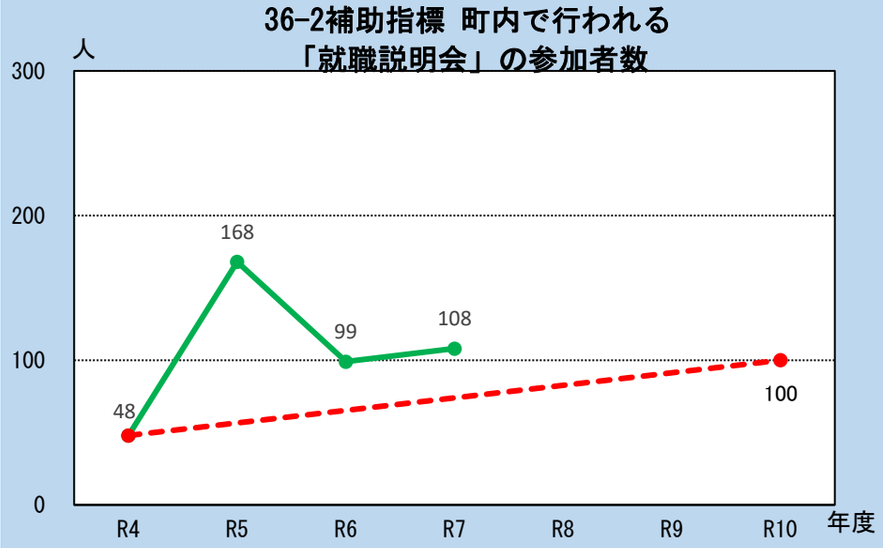
R7年に開催された大阪・関西万博を契機に商業・観光が活性化してきていることから、さらなる観光産業の育成と周辺居住者、駅利用者に必要とされる事業者を育成していく。

従業員数の確保については、商工会と協力しイベントを開催していくことにより、商店を盛り上げ、従業員増につなげることができるよう取り組んでいく。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(36)産業・雇用

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

36-2補助指標 町内で行われる「就職説明会」の参加者数



ならジョブカフェ主催「わかもの応援フェア合同企業説明会」参加人数
奈良労働局主催「就職面接会」参加人数

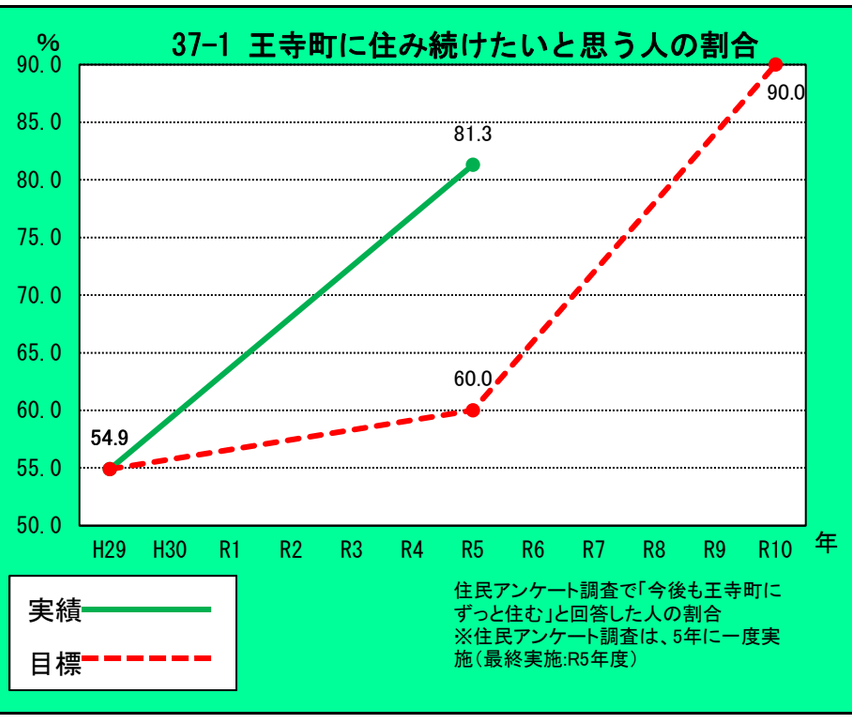
基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
48	↗	108	115.4%	100
R4年度(2022)	60人	R7年度(2025)	2/5年目	R10年度(2028)

進捗状況

国、県と連携し、地域交流センターにおいて「就職面接会」を開催している。多くの方に参加いただけるよう、広報誌等でPRを行っていくほか、町事業参加者に紹介していくなど、積極的に広報していく。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(37)定住促進

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史



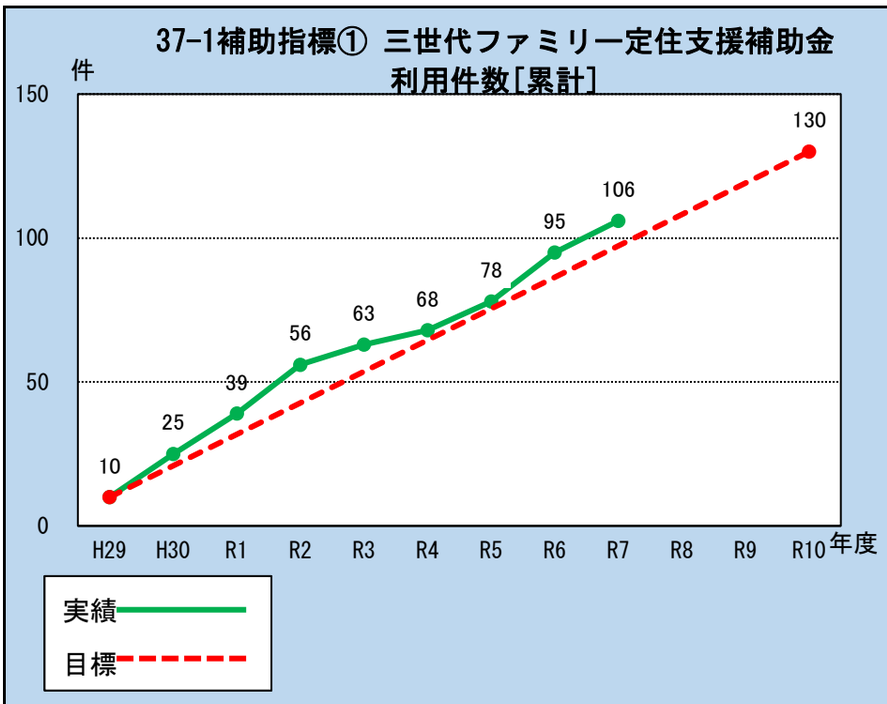
基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
54.9	↗	81.3	75.2%	90.0
H29年（2017）	26.4 %	R5年（2021）	5/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

地域の魅力発信を目的とし北葛4町での「御墳印帳プロジェクト」を実施するなど北葛城のプロモーションを進めている。
R7年度は「ほっかつ御墳印帖プロジェクト」を4町で広域展開し、万博と併せて奈良を観光する方向けに、10月にプロモーションイベントを実施した。
また、町独自の定住促進事業として三世代世帯向けの住宅取得・リフォーム補助を実施することで王寺町への定住を促進している。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(37)定住促進

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史



基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
10	↗	106	80.0%	130
H29年度（2017）	96 件	R7年度（2025）	7/10 年目	R10年度（2028）

進捗状況

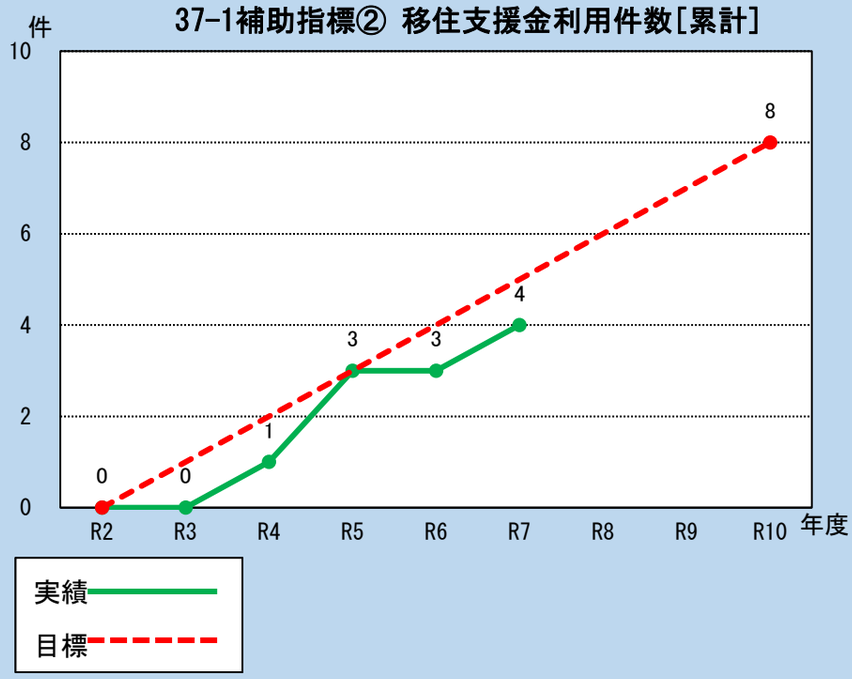
本補助金は、本町への定住人口の増加、バランスのとれた人口構成の実現及び地域社会の活性化を目的とした町独自の定住支援策として、創設年度から毎年多くの利用実績がある。
R7年度までの総申請件数は106件で、年平均12件という実績である。

・R7年度：11件

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(18)活力の創出
具体的施策	(37)定住促進

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　まちづくり推進課 課長　植村　哲史

37-1補助指標②　移住支援金利用件数[累計]



基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
0	↗	4	50.0%	8
R2年度(2020)	4件	R7年度(2025)	2/5 年目	R10年度(2028)

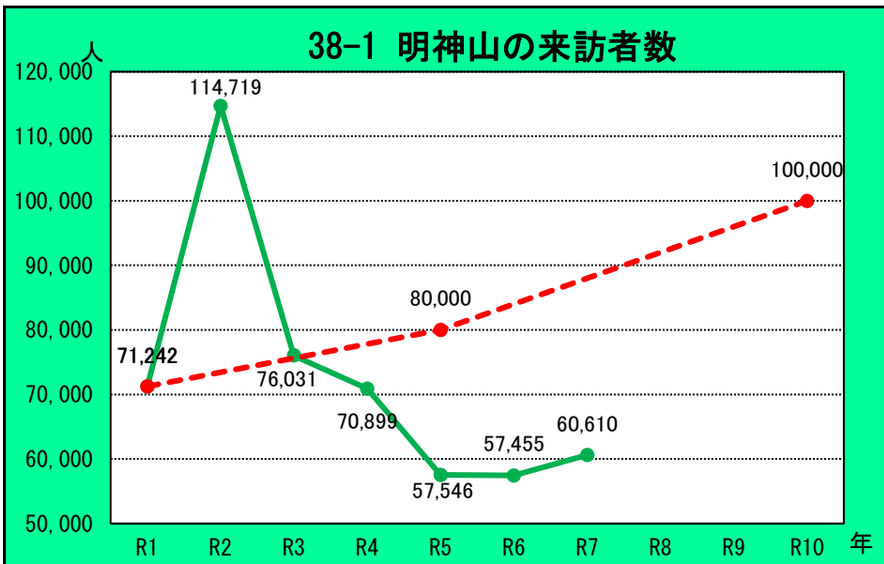
進捗状況

【事業費：国1/2、県1/4、町1/4】
　この「移住支援金制度」は、国が東京一極化を抑制するために全国的に展開している事業である。
R7年度までに、この移住支援金制度を利用し、東京圏から本町へ4件の家族が移住された。
　この支援金制度には、各市町村で独自の要件を設定することが認められており、本町では「王寺町ふるさと寄付金の寄付実績」及び「自治会への加入」を要件としている。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(19)交流の促進
具体的施策	(38)観光・交流

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

38-1　明神山の来訪者数



明神山カウンター（暦年）

基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
71,242	↘	60,610	-37.0%	100,000
R1年(2019)	-10,632人	R7年(2025)	7/10 年目	R10年(2028)

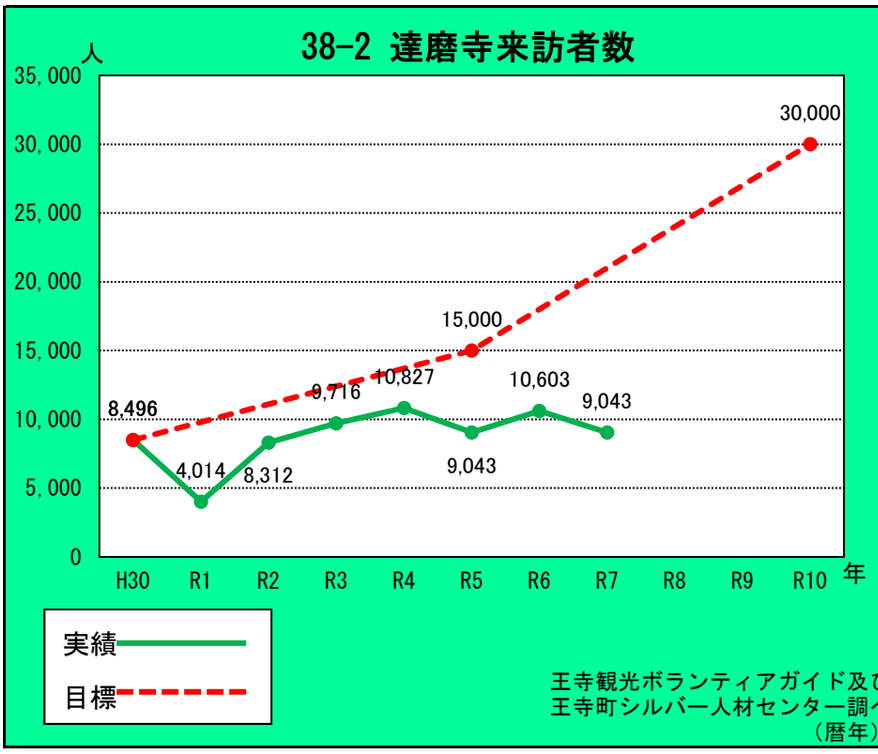
進捗状況

　VRゴーグルやライブカメラ等を駆使した明神山の魅力発信の他、明神山山頂での新たな魅力づくりとして、日本遺産「葛城修験」のフォトコンテスト入賞作品展やオリーブ収穫祭(山頂マルシェ)を開催し、ハイカー以外の方が訪れる機会を創出している。
　また、大阪府松原市、奈良県葛城市、明日香村と連携して明神山山頂で「烽火」の実証実験を行った。令和7年3月に明神山が名勝地関係として、奈良県初の国登録記念物に登録された。
　R8年度に「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録が実現すれば明神山山頂から6つの世界遺産が見渡せることとなる。このような明神山にまつわる話題を適時効果的に発信し、登山者数の増加を図っていく。

基本目標	6　活力とにぎわいのあるまちづくり
基本的方向	(19)交流の促進
具体的施策	(38)観光・交流

担当部署・指標管理責任者
未来都市創造部　地域交流課 課長　田中　宏佳

38-2 達磨寺来訪者数



王寺観光ボランティアガイド及び
王寺町シルバー人材センター調べ
（暦年）

基準値		実績値	進捗率（傾向）	目標値
8,496	↗	9,043	2.5%	30,000
H30年（2018）	547人	R7年（2025）	7/10 年目	R10年（2028）

進捗状況

達磨寺行事（達磨会式、除夜の鐘、節分豆まき）の充実と全国だるまさんがころんだ選手権大会、合格だるまストリート、王寺マルシェなど集客力の高い事業を行う。

また、達磨寺を訪れる観光客の対応として王寺観光ボランティアガイドの会の定点観光ガイドや一般社団法人王寺まちづくり事業による定期的な「だるまマーケット」を開催し、観光客の満足度を高める。